

基礎分野

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	論理学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期
科目責任者	金子 満			
科目概要	論理的に考え、推論し、書く能力は学問の基礎であるとともに社会生活の基盤である。本講義は、言葉を正確に使う正しく伝える(理解する)技術を習得し、クリティカルシンキング等の批判的思考力を養成することにより、論理的にものごとを捉えレポート・論文に書くことができるようにすることを目的とする。			
到達目標	1. 物事を論理的に思考し客観的に評価できる。			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉</p> <p>第1回 : 論理学とは何か、論理学が扱う推論</p> <p>第2回 : 命題とは、命題論理の形式、否定について</p> <p>第3回 : 「かつ」の論理法則「または」の論理法則「ド・モルガンの法則」</p> <p>第4回 : 「ならばの構造」「対偶をとる」「ならばの連鎖」</p> <p>第5回 : 「ならばの構造」「命題論理の方法」</p> <p>第6回 : 「ならばの連鎖の問題」「命題論理の方法」「基本的な心理関数」</p> <p>第7回 : 「基本的な真理関数」「三段論法の型」</p> <p>第8回 : 「三段論法の型」</p> <p>第9回 : 「推論の型」「述語論理」</p> <p>第10回 : 述語論理(「すべて」の論理構造、「存在する」の論理構造)</p> <p>第11回 : 論理の応用 1. 接続の論理</p> <p>第12回 : 論証について(推論と推理、演繹法と帰納法)</p> <p>第13回 : テキストを読む技術</p> <p>第14回 : レポートを書く技術</p> <p>第15回 : 終講試験・まとめ</p>		<p>〈担当教員名〉</p> <p>金子 満</p> <p>金子 満</p> <p>金子 満</p> <p>金子 満</p> <p>金子 満</p> <p>金子 満</p> <p>金子 満</p> <p>金子 満</p> <p>金子 満</p> <p>金子 満</p> <p>金子 満</p> <p>金子 満</p> <p>金子 満</p> <p>金子 満</p> <p>金子 満</p>	
評価方法	筆記試験(レポート)100%			
指定図書	1. 看護学生のためのレポート論文の書き方 第6版 金芳堂			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	論理的な力は知識ではなく練習問題(トレーニング)を通じて向上します。講義内で出される課題に意欲的に取り組んでください。			

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	情報科学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期
科目責任者	青山 究			
科目概要	コンピューターシステムの構成やコンピューターネットワークの概要について学習し、合わせてインターネットでの情報収集機能や基本的ソフトウェア(ワープロ・表計算・プレゼンテーション)の活用など、実用的な情報処理術の習得を目指す。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピューターシステムの構成や概要を理解できる。 2. インターネットの機能や基本的なソフトウェアの活用について理解できる。 3. 各ソフトウェアの実用を学ぶ。 			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉</p> <p>第1回:情報科学の基礎</p> <p>第2回:コンピューターの歴史、コンピューターの機能</p> <p>第3回:情報科学と看護</p> <p>第4回:コンピューターの基本操作</p> <p>第5回:ワープロソフト Word1</p> <p>第6回:ワープロソフト Word2</p> <p>第7回:情報処理</p> <p>第8回:ハードウェアとソフトウェア</p> <p>第9回:表計算ソフトExcel1</p> <p>第10回:表計算ソフトExcel2</p> <p>第11回:表計算ソフトExcel3</p> <p>第12回:インターネットでの情報検索</p> <p>第13回:統計的データ処理</p> <p>第14回:プレゼンテーションソフト Power Point 1</p> <p>第15回:プレゼンテーションソフト Power Point 2</p>		<p>〈担当教員名〉</p> <p>青山 究</p> <p>青山 究</p> <p>青山 究</p> <p>青山 究</p> <p>青山 究</p> <p>青山 究</p> <p>青山 究</p> <p>青山 究</p> <p>青山 究</p> <p>青山 究</p> <p>青山 究</p> <p>青山 究</p> <p>青山 究</p> <p>青山 究</p> <p>青山 究</p> <p>青山 究</p>	
評価方法	授業内容に伴う課題提出 100%で評価			
指定図書	1, 30 時間でマスターOffice2019(Windows10 対応) 実教出版			
参考書	学校や自宅にインターネットにつながった PC があれば自習できます。欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。			
事前・事後学修	出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。また個人のUSBに毎回の課題を納めるため管理を行う。			

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	心理学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 通年
科目責任者	清原 浩			
科目概要	看護学生という視点にたったうえで、看護師として必要な心理学の基礎的な視点について理解、看護の対象となる人間を捉え、把握することを目指す。			
到達目標	1. 人間の心理を理解する。 2. 健康の心理と人間を理解する。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回: 感覚、知覚の心理 第2回: 記憶の心理 第3回: 感情、動機の心理 第4回: 知能・人格の心理 第5回: 発達の心理(1) 第6回: 発達の心理(2) 第7回: 集団・社会の心理、医療場面での人間理解の展開 第8回: 心理アセスメントと面接(その1) 第9回: 心理アセスメントと面接(その2) 第10回: カウンセリングと心理療法 第11回: カウンセリングと心理療法 第12回: 行動する人間の理解 第13回: 行動する人間の理解 第14回: 行動する人間の理解 第15回: 終講試験・まとめ			〈担当教員名〉 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩
評価方法	筆記試験 100%			
指定図書	1. 系統看護学講座 基礎分野 心理学 医学書院			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	授業の中で新たな用語や専門用語に対して質問や資料、教科書で確認する。心理学の基礎的な学習は、説明や演習に積極的に参加し経験を重ねる。			

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	人間工学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 前期																																
科目責任者	湯ノロ 万友																																			
科目概要	人間が生活するために必要な物・空間環境を作り上げていくための科学である人間工学に関する技術や知識を習得する。看護者が人間を援助するときの障害(腰痛など)から自分自身を守り、安全な看護を提供できることを目指す。																																			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間工学とは何か理解する。 2. 人間の感覚器を理解し、感覚器の特性が工学に関連するか理解する。 3. 人間の機能を考え能率よく看護に生かす方法を学ぶ。 																																			
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉</th> <th style="text-align: center;">〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 : 人間工学とは(講義の目的と進め方)</td> <td>湯ノロ 万友</td> </tr> <tr> <td>第2回 : 人間工学の歴史と看護との関わり、人間機械系</td> <td>湯ノロ 万友</td> </tr> <tr> <td>第3回 : 人間の感覚器官Ⅰ</td> <td>湯ノロ 万友</td> </tr> <tr> <td>第4回 : 人間の感覚器官Ⅱ</td> <td>湯ノロ 万友</td> </tr> <tr> <td>第5回 : 人間の感覚器官Ⅲ</td> <td>湯ノロ 万友</td> </tr> <tr> <td>第6回 : 人間の諸特性と姿勢・動作</td> <td>湯ノロ 万友</td> </tr> <tr> <td>第7回 : 人間工学とボディメカニクスⅠ</td> <td>湯ノロ 万友</td> </tr> <tr> <td>第8回 : 人間工学とボディメカニクスⅡ</td> <td>湯ノロ 万友</td> </tr> <tr> <td>第9回 : 人間工学とボディメカニクスⅢ(中間試験)</td> <td>湯ノロ 万友</td> </tr> <tr> <td>第10回 : 人間工学の応用(仕事と人間工学)</td> <td>湯ノロ 万友</td> </tr> <tr> <td>第11回 : 環境と人間工学</td> <td>湯ノロ 万友</td> </tr> <tr> <td>第12回 : 環境と人間工学および骨と筋肉のビデオ観賞</td> <td>湯ノロ 万友</td> </tr> <tr> <td>第13回 : 看護と情報とコントロール</td> <td>湯ノロ 万友</td> </tr> <tr> <td>第14回 : 看護の安全と人間工学</td> <td>湯ノロ 万友</td> </tr> <tr> <td>第15回 : 終講試験・まとめ</td> <td>湯ノロ 万友</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : 人間工学とは(講義の目的と進め方)	湯ノロ 万友	第2回 : 人間工学の歴史と看護との関わり、人間機械系	湯ノロ 万友	第3回 : 人間の感覚器官Ⅰ	湯ノロ 万友	第4回 : 人間の感覚器官Ⅱ	湯ノロ 万友	第5回 : 人間の感覚器官Ⅲ	湯ノロ 万友	第6回 : 人間の諸特性と姿勢・動作	湯ノロ 万友	第7回 : 人間工学とボディメカニクスⅠ	湯ノロ 万友	第8回 : 人間工学とボディメカニクスⅡ	湯ノロ 万友	第9回 : 人間工学とボディメカニクスⅢ(中間試験)	湯ノロ 万友	第10回 : 人間工学の応用(仕事と人間工学)	湯ノロ 万友	第11回 : 環境と人間工学	湯ノロ 万友	第12回 : 環境と人間工学および骨と筋肉のビデオ観賞	湯ノロ 万友	第13回 : 看護と情報とコントロール	湯ノロ 万友	第14回 : 看護の安全と人間工学	湯ノロ 万友	第15回 : 終講試験・まとめ	湯ノロ 万友
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回 : 人間工学とは(講義の目的と進め方)	湯ノロ 万友																																			
第2回 : 人間工学の歴史と看護との関わり、人間機械系	湯ノロ 万友																																			
第3回 : 人間の感覚器官Ⅰ	湯ノロ 万友																																			
第4回 : 人間の感覚器官Ⅱ	湯ノロ 万友																																			
第5回 : 人間の感覚器官Ⅲ	湯ノロ 万友																																			
第6回 : 人間の諸特性と姿勢・動作	湯ノロ 万友																																			
第7回 : 人間工学とボディメカニクスⅠ	湯ノロ 万友																																			
第8回 : 人間工学とボディメカニクスⅡ	湯ノロ 万友																																			
第9回 : 人間工学とボディメカニクスⅢ(中間試験)	湯ノロ 万友																																			
第10回 : 人間工学の応用(仕事と人間工学)	湯ノロ 万友																																			
第11回 : 環境と人間工学	湯ノロ 万友																																			
第12回 : 環境と人間工学および骨と筋肉のビデオ観賞	湯ノロ 万友																																			
第13回 : 看護と情報とコントロール	湯ノロ 万友																																			
第14回 : 看護の安全と人間工学	湯ノロ 万友																																			
第15回 : 終講試験・まとめ	湯ノロ 万友																																			
評価方法	筆記試験(中間・最終)100%																																			
指定図書	1. イラストで学ぶ看護人間工学 東京電機大学出版局																																			
参考書	プリント配布																																			
事前・事後学修	人間が行動を起こし、動作する場合に安全・安楽を追求する。人間工学の基礎をとおして、看護に生かすボディメカニクスを科学的(数式)に理解する必要がある。質問を積極的に行い学ぶ。																																			

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	教育学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 前期
科目責任者	金子 満			
科目概要	看護及び医療という営みの相手は人間であり、「健康」に繋げる教育こそが看護師たちに求められている社会的責任だといえる。看護教育水準を高めるための養成に役立つ学習を目指す。			
到達目標	1. 知識、モラル、成長、援助（ケア）など、教育の含み持つ複合的な性格を理解することで、看護と並ぶ人間関係を基礎とした教育的態度について学ぶ。			
授業計画	<p style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉</p> 第1回 :オリエンテーションー視点の多数性を得るために。 第2回 :教育の目的ー教育とは何か 第3回 :教育を受ける権利を考える 第4回 :歴史の中の教育① 第5回 :歴史の中の教育② 第6回 :歴史の中の教育③ 第7回 :ロジカルシンキングから教育を考える 第8回 :教育問題を考える。～ディベートから学ぶ～ 第9回 :教育に関するディベート実践① 第10回 :教育に関するディベート実践② 第11回 :地域と子どもの遊びについて 第12回 :現代のいじめについて考える 第13回 :子ども若者における自殺について 第14回 :関係の重要性を学ぶ～ソーシャルキャピタル～ 第15回 :終講試験・まとめ		<p style="text-align: center;">〈担当教員名〉</p> 金子 満 金子 満 金子 満 金子 満 金子 満 金子 満 金子 満 金子 満 金子 満 金子 満 金子 満 金子 満 金子 満 金子 満 金子 満	
評価方法	授業内小レポート、授業の取り組み状況、筆記試験から総合的に評価する。			
指定図書	特にない			
参考書	講義を中心として進め、講義時間中に必要な参考書や文献を紹介する。			
事前・事後学修	授業内容は原則を示したものであり、クラスの実態に応じて順序を変えたり、内容に変更を加えたりすることがあるので、その点了解してもらい積極的な発言を求めたい。			

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	集団力学	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 前期																																
科目責任者	野上 真																																			
科目概要	集団力学の基本的な理論を理解し、それらを手がかりに日常生活における集団と個人の相互作用の中で生まれる心の動きについて論理的に考察できるようになる。																																			
到達目標	1. 集団の力動的諸機能がわかる。 2. リーダーシップについて理解を深める。 3. チームワークについての示唆を得る。																																			
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉</th> <th style="text-align: center;">〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 : 集団力学の特色</td> <td style="text-align: right;">野上 真</td> </tr> <tr> <td>第2回 : 集団への参加と社会化</td> <td style="text-align: right;">野上 真</td> </tr> <tr> <td>第3回 : 多数派の影響と少数派の影響</td> <td style="text-align: right;">野上 真</td> </tr> <tr> <td>第4回 : 集団の意思決定</td> <td style="text-align: right;">野上 真</td> </tr> <tr> <td>第5回 : チームワークと生産性</td> <td style="text-align: right;">野上 真</td> </tr> <tr> <td>第6回 : チームワークと安全</td> <td style="text-align: right;">野上 真</td> </tr> <tr> <td>第7回 : リーダーシップ①(リーダー行動の特色)</td> <td style="text-align: right;">野上 真</td> </tr> <tr> <td>第8回 : リーダーシップ②(状況に応じたリーダー行動)</td> <td style="text-align: right;">野上 真</td> </tr> <tr> <td>第9回 : リーダーシップ③(リーダーに対する部下の働きかけ)</td> <td style="text-align: right;">野上 真</td> </tr> <tr> <td>第10回 : リーダーシップ④(リーダーシップトレーニング)</td> <td style="text-align: right;">野上 真</td> </tr> <tr> <td>第11回 : リーダーシップ⑤(リーダーシップトレーニング)</td> <td style="text-align: right;">野上 真</td> </tr> <tr> <td>第12回 : 偏見といじめ</td> <td style="text-align: right;">野上 真</td> </tr> <tr> <td>第13回 : 葛藤解決</td> <td style="text-align: right;">野上 真</td> </tr> <tr> <td>第14回 : 総まとめ</td> <td style="text-align: right;">野上 真</td> </tr> <tr> <td>第15回 : 終講試験・まとめ</td> <td style="text-align: right;">野上 真</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : 集団力学の特色	野上 真	第2回 : 集団への参加と社会化	野上 真	第3回 : 多数派の影響と少数派の影響	野上 真	第4回 : 集団の意思決定	野上 真	第5回 : チームワークと生産性	野上 真	第6回 : チームワークと安全	野上 真	第7回 : リーダーシップ①(リーダー行動の特色)	野上 真	第8回 : リーダーシップ②(状況に応じたリーダー行動)	野上 真	第9回 : リーダーシップ③(リーダーに対する部下の働きかけ)	野上 真	第10回 : リーダーシップ④(リーダーシップトレーニング)	野上 真	第11回 : リーダーシップ⑤(リーダーシップトレーニング)	野上 真	第12回 : 偏見といじめ	野上 真	第13回 : 葛藤解決	野上 真	第14回 : 総まとめ	野上 真	第15回 : 終講試験・まとめ	野上 真
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回 : 集団力学の特色	野上 真																																			
第2回 : 集団への参加と社会化	野上 真																																			
第3回 : 多数派の影響と少数派の影響	野上 真																																			
第4回 : 集団の意思決定	野上 真																																			
第5回 : チームワークと生産性	野上 真																																			
第6回 : チームワークと安全	野上 真																																			
第7回 : リーダーシップ①(リーダー行動の特色)	野上 真																																			
第8回 : リーダーシップ②(状況に応じたリーダー行動)	野上 真																																			
第9回 : リーダーシップ③(リーダーに対する部下の働きかけ)	野上 真																																			
第10回 : リーダーシップ④(リーダーシップトレーニング)	野上 真																																			
第11回 : リーダーシップ⑤(リーダーシップトレーニング)	野上 真																																			
第12回 : 偏見といじめ	野上 真																																			
第13回 : 葛藤解決	野上 真																																			
第14回 : 総まとめ	野上 真																																			
第15回 : 終講試験・まとめ	野上 真																																			
評価方法	本講で解説した理論の理解およびグループワークへの主体的な取り組みを評価する。 (出席態度 45%、試験 55%)																																			
指定図書	プリント配布																																			
参考書	適宜「おすすめの本」を紹介しますので読んで下さい。																																			
事前・事後学修	理論が日常生活とどう関連しているか考えながら聞くことが理解の助けになります。																																			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	倫理学	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 後期
科目責任者	永谷 敏之			
科目概要	人間の行為や道徳について理解し、人間の存在や価値について考えることができる。			
到達目標	1. 人間の存在や価値について考えることができる。			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉</p> <p>第1回 : 「倫理学とは」とは何か</p> <p>第2回 : 人を傷つけなければ何をしてもよいかーリベラリズムの倫理</p> <p>第3回 : 人を助けるために嘘をつくことは許されるか</p> <p>第4回 : 「命の選別」について(生命倫理について①)</p> <p>第5回 : 「命の選別」について(生命倫理について②)</p> <p>第6回 : 「命の選別」について</p> <p>第7回 : 「意志カード」と「～である」と「～すべし」</p> <p>第8回 : 偽善の倫理 ～エゴに基づく行為は善いことか</p> <p>第9回 : 偽善の倫理/事例</p> <p>第10回 : 偽善の倫理-目的と手段</p> <p>第11回 : 功利主義について</p> <p>第12回 : 生命倫理と環境倫理(環境倫理①)</p> <p>第13回 : 自然の価値について(環境倫理②)</p> <p>第14回 : 技術で環境問題を解決できるか(環境倫理③)</p> <p>第15回 : まとめ</p>			<p>〈担当教員名〉</p> <p>永谷 敏之</p> <p>永谷 敏之</p> <p>永谷 敏之</p> <p>永谷 敏之</p> <p>永谷 敏之</p> <p>永谷 敏之</p> <p>永谷 敏之</p> <p>永谷 敏之</p> <p>永谷 敏之</p> <p>永谷 敏之</p> <p>永谷 敏之</p> <p>永谷 敏之</p> <p>永谷 敏之</p> <p>永谷 敏之</p> <p>永谷 敏之</p>
評価方法	筆記試験(レポート)100%			
指定図書	1. 品川哲彦著 倫理学入門 アリストテレスから生殖技術、AIまで 中公新書			
参考書	適宜「おすすめの本」の紹介、プリント配布をしますので読んで下さい。			
事前・事後学修	テキストを読み予習をする。授業の内容について振り返りまとめる。			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	カウンセリング論	単位 1	時間 15	開校年次 1年次 前期
科目責任者	山下 みどり			
科目概要	カウンセリングの理論ならびに技法を学ぶことを通して、人の心を理解する力、傾聴力、そして自らの考えを表現する力を養うことを目指す。			
到達目標	1. カウンセリングの理論技法を学び、人を理解すること、自己を表現する能力を養う。			
授業計画	<p>(授業内容・テーマ等)</p> <p>第1回 : 自分を知ること、他者を知ること</p> <p>第2回 : カウンセリングとは</p> <p>第3回 : 共感と純粋性</p> <p>第4回 : 沈黙とリード 繰り返し</p> <p>第5回 : 明確化</p> <p>第6回 : 対決と直面</p> <p>第7回 : 支持</p> <p>第8回 : 終講試験・まとめ</p>		<p>(担当教員名)</p> <p>山下 みどり</p> <p>山下 みどり</p> <p>山下 みどり</p> <p>山下 みどり</p> <p>山下 みどり</p> <p>山下 みどり</p> <p>山下 みどり</p> <p>山下 みどり</p>	
評価方法	筆記試験(演習内容とあわせて総合的に判断する)			
指定図書	1. やさしく学ぶカウンセリング26のレッスン 金子書房			
参考書	適宜プリントを配布			
事前・事後学修	授業内容に従って進めます。参加型の演習が多く五感を活用し積極的に参加してほしい。参加後はアンケートの記入をお願いします。			
実務経験のある教員による実践的授業	臨床心理士としてスクールカウンセラーの業務に携わり、豊富な経験をふまえ基礎的知識を講義・演習を行う。			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	人間関係論	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期	
科目責任者	西原 誠司				
科目概要	人間関係を円滑に保つ必要性と方法について学び、人間を人との関係で生き成長する存在として捉えることができる。				
到達目標	1. 人間とは何かについて理解する。 2. 現代社会における人間関係とその歴史について理解する。				
授業計画	<p style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉</p> 第1回 :はじめに 先送りされた自我の形成と「第2の誕生」 第2回 : 人類の誕生-人間とは何か- ~ひとりみんなのために、みんなはひとりのために~ 第3回 : 人間関係の歴史① 第4回 : 人間関係の歴史② 第5回 : 人間関係の歴史③ 第6回 : 人間関係の歴史④ 近代的人間関係形成 第7回 : 現代の人間関係を理解するために~理解度チェック~ 第8回 : 現代における看護と人間関係-過労死認定 第9回 : 現代における看護と人間関係 赤ちゃんの誕生と母性看護学 第10回 : 現代における看護と人間関係 終末期看護 キューブラーロスと死のレッスン① 第11回 : 現代における看護と人間関係 キューブラーロスと死のレッスン② 第12回 : 現代における看護と人間関係 脳梗塞からの再生 免疫学者多田富雄の闘い 第13回 : ノーマライゼーション 障害者を支える人々 第14回 : 現代における看護と人間関係-過労死にならないために 第15回 : 終講試験・まとめ			<p style="text-align: center;">〈担当教員名〉</p> 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司	
評価方法	筆記試験(演習内容とあわせて総合的に判断する)				
指定図書	特になし				
参考書	プリント配布				
事前・事後学修	授業内容に応じてDVD視聴や資料を用いて授業を行う。授業最後に人間関係を円滑に行う方法について気づきをまとめてもらいます。				

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	社会学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 前期																																
科目責任者	山田 晋																																			
科目概要	人間の生活の基盤である社会の構造やその中における人間行動・家族の機能、構造を理解し、社会と人間との関係について学び、多様な社会での幅広いものの見方ができる。																																			
到達目標	1. 人間社会と社会学の関係が理解できる。 2. 保健医療と社会学との関係が理解できる。 3. 社会における人権について考えることができる。																																			
授業計画	<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 70%;">〈授業内容・テーマ等〉</th> <th style="text-align: center; width: 30%;">〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 : 社会学を学ぶ—開講にあたって</td> <td style="text-align: center;">山田 晋</td> </tr> <tr> <td>第2回 : 社会学とは何か? 何を学ぶか?</td> <td style="text-align: center;">山田 晋</td> </tr> <tr> <td>第3回 : 現代世界の現状と課題—いま、世界は—</td> <td style="text-align: center;">山田 晋</td> </tr> <tr> <td>第4回 : 命は地球より重い(1)—生命・戦争・平和について考える</td> <td style="text-align: center;">山田 晋</td> </tr> <tr> <td>第5回 : 国際医療保健福祉の現状と日本の国際支援</td> <td style="text-align: center;">山田 晋</td> </tr> <tr> <td>第6回 : 現代日本の現状考察</td> <td style="text-align: center;">山田 晋</td> </tr> <tr> <td>第7回 : 日本の社会・生活問題と社会病理</td> <td style="text-align: center;">山田 晋</td> </tr> <tr> <td>第8回 : 日本の格差と貧困問題</td> <td style="text-align: center;">山田 晋</td> </tr> <tr> <td>第9回 : 戦後の総括 —外交・政治・憲法—</td> <td style="text-align: center;">山田 晋</td> </tr> <tr> <td>第10回 : 超高齢社会と高齢者の暮らし</td> <td style="text-align: center;">山田 晋</td> </tr> <tr> <td>第11回 : 障害者の現状と福祉 —障害理解を—</td> <td style="text-align: center;">山田 晋</td> </tr> <tr> <td>第12回 : 子ども・若者たちをめぐる現状と課題</td> <td style="text-align: center;">山田 晋</td> </tr> <tr> <td>第13回 : ジェンダーと女性問題 —性差別について考える—</td> <td style="text-align: center;">山田 晋</td> </tr> <tr> <td>第14回 : 女性問題・男性問題と男女共同参画社会</td> <td style="text-align: center;">山田 晋</td> </tr> <tr> <td>第15回 : 世界と日本の将来展望 —みんな愛と幸せいっぱいの社会を—</td> <td style="text-align: center;">山田 晋</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : 社会学を学ぶ—開講にあたって	山田 晋	第2回 : 社会学とは何か? 何を学ぶか?	山田 晋	第3回 : 現代世界の現状と課題—いま、世界は—	山田 晋	第4回 : 命は地球より重い(1)—生命・戦争・平和について考える	山田 晋	第5回 : 国際医療保健福祉の現状と日本の国際支援	山田 晋	第6回 : 現代日本の現状考察	山田 晋	第7回 : 日本の社会・生活問題と社会病理	山田 晋	第8回 : 日本の格差と貧困問題	山田 晋	第9回 : 戦後の総括 —外交・政治・憲法—	山田 晋	第10回 : 超高齢社会と高齢者の暮らし	山田 晋	第11回 : 障害者の現状と福祉 —障害理解を—	山田 晋	第12回 : 子ども・若者たちをめぐる現状と課題	山田 晋	第13回 : ジェンダーと女性問題 —性差別について考える—	山田 晋	第14回 : 女性問題・男性問題と男女共同参画社会	山田 晋	第15回 : 世界と日本の将来展望 —みんな愛と幸せいっぱいの社会を—	山田 晋
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回 : 社会学を学ぶ—開講にあたって	山田 晋																																			
第2回 : 社会学とは何か? 何を学ぶか?	山田 晋																																			
第3回 : 現代世界の現状と課題—いま、世界は—	山田 晋																																			
第4回 : 命は地球より重い(1)—生命・戦争・平和について考える	山田 晋																																			
第5回 : 国際医療保健福祉の現状と日本の国際支援	山田 晋																																			
第6回 : 現代日本の現状考察	山田 晋																																			
第7回 : 日本の社会・生活問題と社会病理	山田 晋																																			
第8回 : 日本の格差と貧困問題	山田 晋																																			
第9回 : 戦後の総括 —外交・政治・憲法—	山田 晋																																			
第10回 : 超高齢社会と高齢者の暮らし	山田 晋																																			
第11回 : 障害者の現状と福祉 —障害理解を—	山田 晋																																			
第12回 : 子ども・若者たちをめぐる現状と課題	山田 晋																																			
第13回 : ジェンダーと女性問題 —性差別について考える—	山田 晋																																			
第14回 : 女性問題・男性問題と男女共同参画社会	山田 晋																																			
第15回 : 世界と日本の将来展望 —みんな愛と幸せいっぱいの社会を—	山田 晋																																			
評価方法	レポート内容・提出状況を総合的に評価する																																			
指定図書	特になし																																			
参考書	プリント配布																																			
事前・事後学修	授業内容に応じてDVD視聴や資料を用いて授業を行う。授業毎のテーマに従って考えた内容をレポートにまとめ提出してもらいます。																																			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	外国語	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 前期
科目責任者	西原 薫			
科目概要	国際化時代、言語を学ぶと同時に「文化」の学習を行い発信型コミュニケーションの基礎力を身につける。また、看護を行う上で、必要となる医療英語の基礎的知識を習得する。			
到達目標	1. 授業内容を通してコミュニケーション能力を高める。 2. 看護を行ううえで必要な医療英語の基礎的知識を高める。			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉</p> <p>第1回 : 課の説明する第1課 第2回 : 第1課 会話、語法、CD 第3回 : 第2課 会話、語法、DVD 第4回 : 第3課 会話、語法 第5回 : 第4課 会話、語法、DVD 第6回 : 第5課 練習、会話、語法、DVD 第7回 : 練習、語法、DVD 第8回 : 第6課 会話、語法、DVD 第9回 : 第7課 語法、練習、DVD 第10回 : 第8課 語法、VIDEO 第11回 : 第9課 語法、VIDEO 第12回 : 第10課 語法、VIDEO 第13回 : 第11課 語法、練習 第14回 : 練習、語法、会話 第15回 : 終講試験・まとめ</p>		<p>〈担当教員名〉</p> <p>西原 薫 西原 薫 西原 薫 西原 薫 西原 薫 西原 薫 西原 薫 西原 薫 西原 薫 西原 薫 西原 薫 西原 薫 西原 薫 西原 薫 西原 薫</p>	
評価方法	筆記試験			
指定図書	Talking with Your Patients in English アニメで学ぶ看護英語 成美堂			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	テキスト、プリント、DVD視聴を通して、コミュニケーション能力を高める。 授業毎に振り返りの小テストを行います。			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	国際文化論	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 前期																																
科目責任者	森 孝晴																																			
科目概要	21 世紀のいま、誰にとっても国際的視野は国際人として必要である。文化比較を中心にして広く世界文化を読み解く力を養う。																																			
到達目標	1. アメリカの歴史、文化を知り、日本の文化と比較することができる。 2. 多様な価値観に触れ、視野を広げることができる。 3. グローバルなものを見方を身につけることができる。																																			
授業計画	<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 70%;">〈授業内容・テーマ等〉</th> <th style="text-align: center; width: 30%;">〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 : 授業ガイダンス 国際文化(論)とは?</td> <td style="text-align: center;">森 孝晴</td> </tr> <tr> <td>第2回 : アメリカを知る意味 アメリカとは?</td> <td style="text-align: center;">森 孝晴</td> </tr> <tr> <td>第3回 : アメリカの歴史 アメリカの女性</td> <td style="text-align: center;">森 孝晴</td> </tr> <tr> <td>第4回 : アメリカの女性 暴力社会・戦争国家アメリカ</td> <td style="text-align: center;">森 孝晴</td> </tr> <tr> <td>第5回 : 階級社会アメリカ アメリカの冷たさと暖かさ</td> <td style="text-align: center;">森 孝晴</td> </tr> <tr> <td>第6回 : 日本とアメリカの深い闇</td> <td style="text-align: center;">森 孝晴</td> </tr> <tr> <td>第7回 : 鹿児島とアメリカ</td> <td style="text-align: center;">森 孝晴</td> </tr> <tr> <td>第8回 : 鹿児島とアメリカ</td> <td style="text-align: center;">森 孝晴</td> </tr> <tr> <td>第9回 : 鹿児島とアメリカ</td> <td style="text-align: center;">森 孝晴</td> </tr> <tr> <td>第10回 : アメリカとアイデンティティ「アメリカの夢」と「成功の夢」</td> <td style="text-align: center;">森 孝晴</td> </tr> <tr> <td>第11回 : プラグマティズム、車社会アメリカ</td> <td style="text-align: center;">森 孝晴</td> </tr> <tr> <td>第12回 : 多民族国家アメリカ、先住アメリカ人</td> <td style="text-align: center;">森 孝晴</td> </tr> <tr> <td>第13回 : 先住アメリカ人(DVD)</td> <td style="text-align: center;">森 孝晴</td> </tr> <tr> <td>第14回 : 先住アメリカ人(DVD)</td> <td style="text-align: center;">森 孝晴</td> </tr> <tr> <td>第15回 : 終講試験・まとめ</td> <td style="text-align: center;">森 孝晴</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : 授業ガイダンス 国際文化(論)とは?	森 孝晴	第2回 : アメリカを知る意味 アメリカとは?	森 孝晴	第3回 : アメリカの歴史 アメリカの女性	森 孝晴	第4回 : アメリカの女性 暴力社会・戦争国家アメリカ	森 孝晴	第5回 : 階級社会アメリカ アメリカの冷たさと暖かさ	森 孝晴	第6回 : 日本とアメリカの深い闇	森 孝晴	第7回 : 鹿児島とアメリカ	森 孝晴	第8回 : 鹿児島とアメリカ	森 孝晴	第9回 : 鹿児島とアメリカ	森 孝晴	第10回 : アメリカとアイデンティティ「アメリカの夢」と「成功の夢」	森 孝晴	第11回 : プラグマティズム、車社会アメリカ	森 孝晴	第12回 : 多民族国家アメリカ、先住アメリカ人	森 孝晴	第13回 : 先住アメリカ人(DVD)	森 孝晴	第14回 : 先住アメリカ人(DVD)	森 孝晴	第15回 : 終講試験・まとめ	森 孝晴
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回 : 授業ガイダンス 国際文化(論)とは?	森 孝晴																																			
第2回 : アメリカを知る意味 アメリカとは?	森 孝晴																																			
第3回 : アメリカの歴史 アメリカの女性	森 孝晴																																			
第4回 : アメリカの女性 暴力社会・戦争国家アメリカ	森 孝晴																																			
第5回 : 階級社会アメリカ アメリカの冷たさと暖かさ	森 孝晴																																			
第6回 : 日本とアメリカの深い闇	森 孝晴																																			
第7回 : 鹿児島とアメリカ	森 孝晴																																			
第8回 : 鹿児島とアメリカ	森 孝晴																																			
第9回 : 鹿児島とアメリカ	森 孝晴																																			
第10回 : アメリカとアイデンティティ「アメリカの夢」と「成功の夢」	森 孝晴																																			
第11回 : プラグマティズム、車社会アメリカ	森 孝晴																																			
第12回 : 多民族国家アメリカ、先住アメリカ人	森 孝晴																																			
第13回 : 先住アメリカ人(DVD)	森 孝晴																																			
第14回 : 先住アメリカ人(DVD)	森 孝晴																																			
第15回 : 終講試験・まとめ	森 孝晴																																			
評価方法	筆記試験 100%																																			
指定図書	特になし。																																			
参考書	プリント配布																																			
事前・事後学修	プリント、DVD視聴を通して、国際文化を知り多様な価値観について考え理解を高めてほしい。																																			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	健康とスポーツ	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 前期																																
科目責任者	高岡 綾子																																			
科目概要	余暇時間にスポーツに親しみ、豊かな人生を送ることができる基礎的知識を身につけ、医療従事者として知っておくべき健康づくりの理論と基礎を習得する。																																			
到達目標	1. 健康づくりの基本を知る。 2. 各トレーニングを通して、体づくり・健康づくりの基礎を学ぶ。																																			
授業計画	<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉</th> <th style="text-align: center;">〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 : オリエンテーション, コミュニケーションシート提出, 正しい姿勢について</td> <td style="text-align: right;">高岡 綾子</td> </tr> <tr> <td>第2回 : ストレッチの基本① 正しい立ち姿勢① リズム運動①</td> <td style="text-align: right;">高岡 綾子</td> </tr> <tr> <td>第3回 : ストレッチの基本② 正しい立ち姿勢② リズム運動②</td> <td style="text-align: right;">高岡 綾子</td> </tr> <tr> <td>第4回 : アフターマッスルトレーニング 基本の4つ エアロビック① グループパイン, Vステップ Aステップ他</td> <td style="text-align: right;">高岡 綾子</td> </tr> <tr> <td>第5回 : 幼児向けレク 線路は続くよどこまでも(宿題) 発表会に向けて エアロビック(ワンツートビート)①, 班分け</td> <td style="text-align: right;">高岡 綾子</td> </tr> <tr> <td>第6回 : ストレッチの基本(就寝前) コアの筋肉4つの説明 エアロビック発表会に向けて②</td> <td style="text-align: right;">高岡 綾子</td> </tr> <tr> <td>第7回 : ストレッチの基本(目覚め) エアロビック発表会に向けて③</td> <td style="text-align: right;">高岡 綾子</td> </tr> <tr> <td>第8回 : コアトレーニング エアロビック発表会に向けて④</td> <td style="text-align: right;">高岡 綾子</td> </tr> <tr> <td>第9回 : 妊娠期における運動療法(マタニティビクス)について①</td> <td style="text-align: right;">高岡 綾子</td> </tr> <tr> <td>第10回 : 妊娠期における運動療法(マタニティビクス)について②</td> <td style="text-align: right;">高岡 綾子</td> </tr> <tr> <td>第11回 : 妊娠期における運動療法(マタニティビクス)について実技①</td> <td style="text-align: right;">高岡 綾子</td> </tr> <tr> <td>第12回 : 発表会に向けてエアロビック④ グループ練習・まとめ</td> <td style="text-align: right;">高岡 綾子</td> </tr> <tr> <td>第13回 : 発表会に向けてエアロビック⑤</td> <td style="text-align: right;">高岡 綾子</td> </tr> <tr> <td>第14回 : 実技試験</td> <td style="text-align: right;">高岡 綾子</td> </tr> <tr> <td>第15回 : 終講試験・まとめ</td> <td style="text-align: right;">高岡 綾子</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : オリエンテーション, コミュニケーションシート提出, 正しい姿勢について	高岡 綾子	第2回 : ストレッチの基本① 正しい立ち姿勢① リズム運動①	高岡 綾子	第3回 : ストレッチの基本② 正しい立ち姿勢② リズム運動②	高岡 綾子	第4回 : アフターマッスルトレーニング 基本の4つ エアロビック① グループパイン, Vステップ Aステップ他	高岡 綾子	第5回 : 幼児向けレク 線路は続くよどこまでも(宿題) 発表会に向けて エアロビック(ワンツートビート)①, 班分け	高岡 綾子	第6回 : ストレッチの基本(就寝前) コアの筋肉4つの説明 エアロビック発表会に向けて②	高岡 綾子	第7回 : ストレッチの基本(目覚め) エアロビック発表会に向けて③	高岡 綾子	第8回 : コアトレーニング エアロビック発表会に向けて④	高岡 綾子	第9回 : 妊娠期における運動療法(マタニティビクス)について①	高岡 綾子	第10回 : 妊娠期における運動療法(マタニティビクス)について②	高岡 綾子	第11回 : 妊娠期における運動療法(マタニティビクス)について実技①	高岡 綾子	第12回 : 発表会に向けてエアロビック④ グループ練習・まとめ	高岡 綾子	第13回 : 発表会に向けてエアロビック⑤	高岡 綾子	第14回 : 実技試験	高岡 綾子	第15回 : 終講試験・まとめ	高岡 綾子
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回 : オリエンテーション, コミュニケーションシート提出, 正しい姿勢について	高岡 綾子																																			
第2回 : ストレッチの基本① 正しい立ち姿勢① リズム運動①	高岡 綾子																																			
第3回 : ストレッチの基本② 正しい立ち姿勢② リズム運動②	高岡 綾子																																			
第4回 : アフターマッスルトレーニング 基本の4つ エアロビック① グループパイン, Vステップ Aステップ他	高岡 綾子																																			
第5回 : 幼児向けレク 線路は続くよどこまでも(宿題) 発表会に向けて エアロビック(ワンツートビート)①, 班分け	高岡 綾子																																			
第6回 : ストレッチの基本(就寝前) コアの筋肉4つの説明 エアロビック発表会に向けて②	高岡 綾子																																			
第7回 : ストレッチの基本(目覚め) エアロビック発表会に向けて③	高岡 綾子																																			
第8回 : コアトレーニング エアロビック発表会に向けて④	高岡 綾子																																			
第9回 : 妊娠期における運動療法(マタニティビクス)について①	高岡 綾子																																			
第10回 : 妊娠期における運動療法(マタニティビクス)について②	高岡 綾子																																			
第11回 : 妊娠期における運動療法(マタニティビクス)について実技①	高岡 綾子																																			
第12回 : 発表会に向けてエアロビック④ グループ練習・まとめ	高岡 綾子																																			
第13回 : 発表会に向けてエアロビック⑤	高岡 綾子																																			
第14回 : 実技試験	高岡 綾子																																			
第15回 : 終講試験・まとめ	高岡 綾子																																			
評価方法	筆記試験・実技試験(総合的に評価する)																																			
指定図書	正しい体幹トレーニング																																			
参考書	特になし。																																			
事前・事後学修	安全に運動できる場所の確保、動きやすい体操服に更衣するなど準備して臨んでほしい。また授業時に行ったストレッチや筋力トレーニングを日常行い、その効果を感じてほしい。																																			

專門基礎分野

専門基礎分野 人体の構造と機能

科目名	解剖生理学 I	単位 1	時間 30	開校年次 1 年次 前期
科目責任者	後藤 哲哉 有川 幸宏 木下 勝平			
科目概要	解剖生理学は、医学系のなかで最も基礎となる学問領域である。人体の形態・構造と役割・機能を知ることにより、病気の成り立ちが理解できるようになりこれからの知識に基づいて病気の予防・診断・治療的行為がなされる。看護の土台となる解剖生理学について修得し、より質の高い看護の実践を目指す。			
到達目標	人体の基本構造, 呼吸, 循環, 体液の調整, 尿の生成における構造と機能について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉	
	第 1 回;解剖生理学のための基礎知識;形からみた人体		後藤 哲哉	
	第 2 回;解剖生理学のための基礎知識;形からみた人体		有川 幸宏	
	第 3 回;解剖生理学のための基礎知識;素材からみた人体, 機能からみた人体		後藤 哲哉	
	第 4 回;解剖生理学のための基礎知識;素材からみた人体, 機能からみた人体		有川 幸宏	
	第 5 回;栄養の消化と吸収;口・咽頭・食道の構造と機能 腹部消化管の構造と機能		後藤 哲哉	
	第 6 回;栄養の消化と吸収;口・咽頭・食道の構造と機能 腹部消化管の構造と機能		有川 幸宏	
	第 7 回;栄養の消化と吸収;膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能, 腹膜 呼吸と血液のはたらき;呼吸器の構造, 呼吸		後藤 哲哉	
	第 8 回;栄養の消化と吸収;膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能, 腹膜 呼吸と血液のはたらき;呼吸器の構造, 呼吸		有川 幸宏	
	第 9 回;呼吸と血液のはたらき;呼吸, 血液		後藤 哲哉	
	第 10 回;呼吸の血液のはたらき;呼吸, 血液		有川 幸宏	
	第 11 回;血液の循環とその調節;循環器系の構造, 心臓の構造 心臓の拍出状態		後藤 哲哉	
	第 12 回;血液の循環とその調節;循環器系の構造, 心臓の構造 心臓の拍出状態		有川 幸宏	
	第 13 回;血液の循環とその調節;末梢循環系の構造, 血液の循環の調節 リンパとリンパ管		後藤 哲哉	
	第 14 回;体液の調節と尿の生成;腎臓, 排尿路, 体液の調整		後藤 哲哉	
	第 15 回;終講試験		後藤 哲哉	
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学人体の構造と機能① 医学書院			
参考書	『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック 医学書院 解剖生理学の指定図書と合わせて授業時活用します。			
事前・事後学修	授業進度と併せて、参考書を活用し振り返りを繰り返し行い人体の形態・構造と役割・機能の知識の定着を進めてほしい。			

専門基礎分野 人体の構造と機能

科目名	解剖生理学Ⅱ	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 前期
科目責任者	後藤 哲哉 有川 幸宏 木下 勝平			
科目概要	解剖生理学は、医学系のなかで最も基礎となる学問領域である。人体の形態・構造と役割・機能を知ることで、病気の成り立ちが理解できるようになりこれからの知識に基づいて病気の予防・診断・治療的行為がなされる。看護の土台となる解剖生理学について修得し、より質の高い看護の実践を目指す。			
到達目標	内部機能の調節, 身体の支持と運動, 神経の受容と処理, 身体機能の防御と適応, 生殖・発生と老化のしくみについて理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉	
	第1回:内臓機能の調節		後藤 哲哉	
	第2回:内部機能の調整		有川 幸宏	
	第3回:身体の支持と運動		後藤 哲哉	
	第4回:身体の支持と運動		有川 幸宏	
	第5回:身体の支持と運動		後藤 哲哉	
	第6回:身体の支持と運動		有川 幸宏	
	第7回:神経の受容と処理		後藤 哲哉	
	第8回:神経の受容と処理		有川 幸宏	
	第9回:神経の受容と処理		後藤 哲哉	
	第10回:神経の受容と処理		木下勝平	
	第11回:身体機能の防御と適応		後藤 哲哉	
	第12回:身体機能の防御と適応		木下 勝平	
	第13回:生殖・発生と老化のしくみ		後藤 哲哉	
	第14回:生殖・発生と老化のしくみ		木下 勝平	
	第15回:終講試験・まとめ		後藤 哲也	
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能① 医学書院			
参考書	1. 解いてわかる 解剖生理学 医学教育出版社。 解剖生理学の指定図書と合わせて授業時活用します。			
事前・事後学修	授業進度と併せて、参考書を活用し振り返りを繰り返し行い人体の形態・構造と役割・機能の知識の定着を進めてほしい。			

専門基礎分野 人体の構造と機能

科目名	栄養代謝学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期
科目責任者	福島 洋子 森田 洋子			
科目概要	私たちはどのような物質を摂取し、栄養素はどのように代謝され、どのように体に影響を与えるのか？そして私たちはどのような様な栄養素をどれだけ食べるのが適当なのか？これらの事項について理解し、評価できるように基礎的知識を学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の細胞の構造から栄養について理解する。 2. 糖質・脂質・タンパク質などの種類と代謝、疾病などを理解する。 3. エネルギーの代謝や消費、様々な指数について理解する。 4. 疾病時における栄養管理について理解できる。 			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉</p> <p>第1回: 人体の構成成分</p> <p>第2回: 細胞膜の構造・細胞膜の機能</p> <p>第3回: DNA・RNAについて</p> <p>第4回: mRNA・tRNAについて</p> <p>第5回: ミトコンドリア・etcの働きについて</p> <p>第6回: 栄養について 糖質</p> <p>第7回: 糖質の代謝</p> <p>第8回: 三大栄養素の Energy代謝</p> <p>第9回: 糖質の構造・分類</p> <p>第10回: 糖質を含む食品・糖質の吸収</p> <p>第11回: 脂質の栄養生化学・糖質の代謝異常 (DM)</p> <p>第12回: 脂質の分類と脂肪酸</p> <p>第13回: 脂質と高脂血症・蛋白質の構造・脂肪酸 (n-3 系n6、n-9 系)の構造と食事</p> <p>第14回: 蛋白質の分類・脂溶性ビタミン、これまでの復習</p> <p>第15回: 終講試験・まとめ</p>	<p>〈担当教員名〉</p> <p>福島 洋子</p> <p>福島 洋子</p> <p>福島 洋子</p> <p>福島 洋子</p> <p>福島 洋子</p> <p>福島 洋子</p> <p>福島 洋子</p> <p>福島 洋子</p> <p>福島 洋子</p> <p>福島 洋子</p> <p>福島 洋子</p> <p>福島 洋子</p> <p>福島 洋子</p> <p>福島 洋子</p> <p>福島 洋子</p> <p>福島 洋子</p>		
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新体系看護学全書 2 専門基礎分野 栄養生化学 人体の構造機能 2 メヂカルフレンド社 2. 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂 			
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. ナーシンググラフィカ 2 人体の構造と機能 臨床生化学 適宜プリント配布 			
事前・事後学修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医学、看護学の必須基礎知識と考え、学習に励む。 2. 予習・復習が大切であると日々の学習に心掛ける。 			
実務経験のある教員による実践的授業	管理栄養士・栄養士として病院・クリニック等での栄養指導業務の豊富な経験をふまえ基礎的知識の講義を行う。			

専門基礎分野 人体の構造と機能

科目名	病理病態学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期																																
科目責任者	嶋 香織																																			
科目概要	看護の役割を理解し、看護援助を行うため、疾病の原因や発生病理、形態と機能及び代謝の変化の原理を理解する。																																			
到達目標	1. 病理学の役割について理解する。 2. 疾病の様々な原因と各異常がもたらす原因や影響について理解する。 2. 細胞障害の型と代謝について理解できる。 3. 循環障害、免疫防御、腫瘍の病態について理解できる。																																			
授業計画	<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉</th> <th style="text-align: center;">〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 : 病理学とは、病因論</td> <td style="text-align: right;">嶋 香織</td> </tr> <tr> <td>第2回 : 先天異常(1)</td> <td style="text-align: right;">嶋 香織</td> </tr> <tr> <td>第3回 : 先天異常(2) 遺伝性疾患</td> <td style="text-align: right;">嶋 香織</td> </tr> <tr> <td>第4回 : 代謝異常・退行性疾患</td> <td style="text-align: right;">嶋 香織</td> </tr> <tr> <td>第5回 : 変性・物質沈着</td> <td style="text-align: right;">嶋 香織</td> </tr> <tr> <td>第6回 : 代謝性疾患</td> <td style="text-align: right;">嶋 香織</td> </tr> <tr> <td>第7回 : 循環障害(1)</td> <td style="text-align: right;">嶋 香織</td> </tr> <tr> <td>第8回 : 循環障害(2)</td> <td style="text-align: right;">嶋 香織</td> </tr> <tr> <td>第9回 : 循環障害(3)</td> <td style="text-align: right;">嶋 香織</td> </tr> <tr> <td>第10回 : 炎症(1) 定義と分類</td> <td style="text-align: right;">嶋 香織</td> </tr> <tr> <td>第11回 : 炎症(2) 免疫</td> <td style="text-align: right;">嶋 香織</td> </tr> <tr> <td>第12回 : 炎症(3) 感染症</td> <td style="text-align: right;">嶋 香織</td> </tr> <tr> <td>第13回 : 腫瘍(1)</td> <td style="text-align: right;">嶋 香織</td> </tr> <tr> <td>第14回 : 腫瘍(2)</td> <td style="text-align: right;">嶋 香織</td> </tr> <tr> <td>第15回 : 終講試験・まとめ</td> <td style="text-align: right;">嶋 香織</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : 病理学とは、病因論	嶋 香織	第2回 : 先天異常(1)	嶋 香織	第3回 : 先天異常(2) 遺伝性疾患	嶋 香織	第4回 : 代謝異常・退行性疾患	嶋 香織	第5回 : 変性・物質沈着	嶋 香織	第6回 : 代謝性疾患	嶋 香織	第7回 : 循環障害(1)	嶋 香織	第8回 : 循環障害(2)	嶋 香織	第9回 : 循環障害(3)	嶋 香織	第10回 : 炎症(1) 定義と分類	嶋 香織	第11回 : 炎症(2) 免疫	嶋 香織	第12回 : 炎症(3) 感染症	嶋 香織	第13回 : 腫瘍(1)	嶋 香織	第14回 : 腫瘍(2)	嶋 香織	第15回 : 終講試験・まとめ	嶋 香織
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回 : 病理学とは、病因論	嶋 香織																																			
第2回 : 先天異常(1)	嶋 香織																																			
第3回 : 先天異常(2) 遺伝性疾患	嶋 香織																																			
第4回 : 代謝異常・退行性疾患	嶋 香織																																			
第5回 : 変性・物質沈着	嶋 香織																																			
第6回 : 代謝性疾患	嶋 香織																																			
第7回 : 循環障害(1)	嶋 香織																																			
第8回 : 循環障害(2)	嶋 香織																																			
第9回 : 循環障害(3)	嶋 香織																																			
第10回 : 炎症(1) 定義と分類	嶋 香織																																			
第11回 : 炎症(2) 免疫	嶋 香織																																			
第12回 : 炎症(3) 感染症	嶋 香織																																			
第13回 : 腫瘍(1)	嶋 香織																																			
第14回 : 腫瘍(2)	嶋 香織																																			
第15回 : 終講試験・まとめ	嶋 香織																																			
評価方法	筆記試験(100%)																																			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書院																																			
参考書	適宜プリント配布																																			
事前・事後学修	1. 医学、看護学の必須基礎知識と考え、学習に励む。 2. 予習・復習が大切であると日々の学習に心掛ける。																																			

専門基礎分野 人体の構造と機能

科目名	微生物学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 前期
科目責任者	東 友太郎			
科目概要	感染症の原因となる病原微生物の分類や特徴、感染予防と滅菌・消毒、感染防御に関わる生体反応として疫学等について学習する。			
到達目標	1. 主要な病原微生物の特徴がわかる。 2. 感染と感染経路について理解できる。 3. 感染予防について理解できる。 4. 病原体と疾患との関係が理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 : 微生物学の歴史 第2回 : 細菌の構造、代謝 第3回 : 培地、真菌・原虫総論 第4回 : ウィルス総論、感染症(Ⅰ) 第5回 : 感染症(Ⅱ)、疫学(Ⅰ) 第6回 : 疫学(Ⅱ) 第7回 : 疫学(Ⅲ)滅菌消毒(Ⅰ) 第8回 : 滅菌・消毒(Ⅱ) 第9回 : 科学療法、滅菌各論 第10回 : グラム陰性桿菌、復習テスト(1)解説 第11回 : グラム陰性桿菌、復習テスト(2)解説 第12回 : リケッチア、クラミジア、マイコプラズム 復習テスト(3)解説 第13回 : DNAウィルス・RNAウィルス(Ⅰ)復習テスト(4)解説 第14回 : RNAウィルス(Ⅱ)、原虫、真菌各論 第15回 : 終講試験・まとめ	〈担当教員名〉 東 友太郎 東 友太郎 東 友太郎 東 友太郎 東 友太郎 東 友太郎 東 友太郎 東 友太郎 東 友太郎 東 友太郎 東 友太郎 東 友太郎 東 友太郎 東 友太郎 東 友太郎		
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 6 微生物学 医学書院			
参考書	適宜プリント配布			
事前・事後学修	1. 医学、看護学の必須基礎知識と考え、学習に励む。 2. 予習・復習が大切であると日々の学習に心掛ける。			
実務経験のある教員による実践的授業	歯科医師として医業に携わり、豊富な経験をふまえ基礎的知識を講義・演習を行う。			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論 I (呼吸・循環機能障害)	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期
科目責任者	富宿明子 原田香織 徳留京子 白坂望 川畑 晶子 木下勝平			
科目概要	呼吸器系および循環器系の機能障害による症状と病態生理、疾患、検査と治療の基礎的知識を理解する。			
到達目標	1. 呼吸器系の疾患病態生理、疾患にける検査・治療・処置について理解できる。 2. 循環器系の疾患病態生理、疾患にける検査・治療・処置について理解できる。			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉 〈担当教員名〉</p> <p>【呼吸機能障害:15時間】</p> <p>第1回 :呼吸機能系障害の症状と病態生理 木下勝平</p> <p>第2回 :疾患の理解(上気道・気管支の疾患、肺の疾患) 富宿明子</p> <p>第3回 :疾患の理解(胸膜疾患、縦膜疾患) 富宿明子</p> <p>第4回 :疾患の理解(胸部外傷、肺移植 伝染性疾患) 富宿明子</p> <p>第5回 :各疾患に共通する治療・処置(吸入療法、放射線療法) 原田香織</p> <p>第6回 :各疾患に共通する治療・処置(リハビリテーション、手術療法) 原田香織</p> <p>第7回 :呼吸機能系障害の理解 まとめ 木下勝平</p> <p>第8回 :終講試験 富宿明子 原田香織 木下勝平</p> <p>【循環機能障害:15時間】</p> <p>第1回 :循環器の解剖と症状 川畑晶子</p> <p>第2回 :虚血性心疾患 徳留京子</p> <p>第3回 :心不全、高血圧 徳留京子</p> <p>第4回 :不整脈、弁膜症、心膜炎、心筋疾患等 徳留京子</p> <p>第5回 :不整脈、弁膜症循環器の診察、検査① 白坂望</p> <p>第6回 :不整脈、弁膜症循環器の診察、検査② 白坂望</p> <p>第7回 :循環機能系障害の理解、まとめ 川畑晶子</p> <p>第8回 :終講試験・まとめ 徳留京子 白坂望 川畑晶子</p>			
評価方法	筆記試験 100% 呼吸機能障害 50% (疾病 30% + 診察・検査 20%) 循環機能障害 50% (疾病 30% + 診察・検査 20%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 2 呼吸器 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 3 循環器 医学書院			
参考書	適宜プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	本科目は、医師、慢性呼吸器疾患認定看護師、慢性心不全認定看護師として実務経験のある教員による授業である。			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅱ(栄養代謝機能障害)	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期
科目責任者	富宿明子 中村彰 川島清美			
科目概要	人間は、生まれてから死ぬまで体外から物質を摂取し、それを消化・吸収、合成・分解し生活力の維持や成長に必要なエネルギーの産生蓄積身体の構成成分の合成、排泄のための変換を絶えず繰り返す。この生命維持に不可欠な栄養の摂取と代謝をつかさどる器官の正常な構造と機能を理解した上で、栄養代謝機能の障害を起こす疾患を学ぶことにより、看護する上での身体的側面のアセスメント能力を養うことをねらいとする。			
到達目標	1. 栄養代謝疾患の病態生理・検査・治療について理解できる。 2. 消化器疾患の病態生理・検査・治療について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉	
	【栄養代謝機能障害:10 時間】			
	第1回 : 糖尿病の分類			富宿明子
	第2回 : 糖尿病の検査			富宿明子
	第3回 : 糖尿病の治療			富宿明子
	第4回 : 糖尿病の病態生理			富宿明子
	第5回 : 糖尿病性ケトアシドーシス			富宿明子
	第6回 : 終講試験・まとめ			富宿明子
	【消化吸収障害:15 時間】			
	第 1 回 : 消化器 構造と機能 症状			中村 彰
	第 2 回 : 検査・処置・治療			中村 彰
	第 3 回 : 手術 消化管 1			中村 彰
	第 4 回 : 消化管 2 肝臓、胆嚢、膵臓 1			中村 彰
	第 5 回 : 肝臓、胆嚢、膵臓 2			中村 彰
	第 6 回 : 患者の看護①			中村 彰
	第 7 回 : 患者の看護②			中村 彰
	第 8 回 : 終講試験・まとめ			中村 彰
	【口腔内障害:5 時間】			
	第 1 回 : 歯科学概論① 口腔ケアの定義について			川島清美
	第 2 回 : 歯科学概論② 歯科疾患の看護の特殊性			川島清美
	第 3 回 : 終講試験・まとめ			川島清美
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 14 歯・口腔 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 6 内分泌・代謝 医学書院 3. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 5 消化器 医学書院			
参考書	適宜プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	医師、歯科医師として医業に携わり、豊富な実務経験をふまえ講義を行う。			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅲ(生体防御機能障害)	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期
科目責任者	後山和彦 三ツ野佐代子 水枝谷渉 武田 浩一郎			
科目概要	人間には、異物から人体を守るための生体防御機能が備わっている。また、これによって人間は健康な生活を送ることができる。この人間の生命維持に重要な役割を持つ生体防御機能について理解し、それに障害が生じた際に生じる様々な健康問題とそれに対する検査・治療を学ぶことにより、患者に生じている苦痛と、必要な看護を理解することをねらいとする。			
到達目標	1.生体防御機能障害について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉	
	【血液・造血機能障害:12時間】			
	第1回 : 血液の基本～血液疾患の症状		三ツ野佐代子	
	第2回 : 血液の検査・治療法		三ツ野佐代子	
	第3回 : 赤血球の疾患		後山 和彦	
	第4回 : 白血球の疾患		後山 和彦	
	第5回 : リンパ球・異常蛋白・血小板・凝固因子の疾患		後山 和彦	
	第6回 : 血液・造血器疾患の理解・振り返り		三ツ野佐代子	
	第7回 : 終講試験・まとめ		後山 和彦	三ツ野佐代子
	【アレルギー・膠原病機能障害:12時間】			
	第1回 : 免疫のしくみ(非特異的、特異的)		水枝谷 渉	
	第2回 : アレルギーについて		水枝谷 渉	
	第3回 : 膠原病(自己免疫疾患)総論①		水枝谷 渉	
	第4回 : 膠原病(自己免疫疾患)総論②		水枝谷 渉	
	第5回 : 感染症について		水枝谷 渉	
	第6回 : 血小板・凝固因子の疾患		水枝谷 渉	
	第7回 : 終講試験・まとめ		水枝谷 渉	
	【皮膚機能障害:6時間】			
	第1回 : 皮膚疾患 総論		武田 浩一郎	
	第2回 : 皮膚疾患 各論		武田 浩一郎	
	第3回 : 皮膚疾患 各論		武田 浩一郎	
	第4回 : 終講試験・まとめ		武田 浩一郎	
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学4 血液・造血器 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学11 アレルギー/膠原病/感染症 医学書院 3. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学12 皮膚 医学書院			
参考書	適宜プリントを配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	本科目は、医師、看護師として豊富な実務経験のある教員が授業を行う。			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅳ(脳神経・運動機能障害)	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期
科目責任者	富宿明子 西山啓介 有川幸宏 下鶴哲郎 後藤哲哉			
科目概要	脳神経領域は人間の生存・生活が個体の内外からの刺激に応答する機能をもって営まれる。これらの機能の疾病の成立の成り立ちを理解し、それに対する検査・治療を学ぶことにより、疾病を予防し、回復を促進する視点で看護を見出していくことをならいとする。運動機能は日常生活行動を支える役割をもつ。疾患や症状、治療によってどのような影響を受けるか関連づけて学習していくことをねらいとする。			
到達目標	1. 運動機能障害の病態・検査・治療について理解できる。 2. 脳神経・感覚機能障害の病態・検査・治療について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉	
	【運動機能障害:15 時間】			
	第1回 : 運動器の構造と機能、病状とその病態生理		有川幸宏	
	第2回 : 診断・検査と治療、処置		西山啓介	
	第3回 : 疾患の理解(外傷性の運動器疾患)		有川幸宏	
	第4回 : 疾患の理解(外傷性、内因性の運動器疾患)		有川幸宏	
	第5回 : 疾患の理解(内因性の運動器疾患)		富宿明子	
	第6回 : 疾患の理解(内因性の運動器疾患)		富宿明子	
	第7回 : 疾患の理解(内因性の運動器疾患)		富宿明子	
	第8回 : 終講試験・まとめ	富宿明子	西山啓介 有川幸宏	
	【脳神経・感覚機能障害:15時間】		〈1組〉 〈2組〉	
	第1回 : 神経系総論と解剖生理		有川幸宏 後藤哲哉	
	第2回 : 総論 症状と病態生理学		下鶴哲郎 後藤哲哉	
	第3回 : 各論 疾患・認知症・脳梗塞		下鶴哲郎 後藤哲哉	
	第4回 : 各論 脳出血・外傷		下鶴哲郎 後藤哲哉	
	第5回 : 各論 看護ポイント		下鶴哲郎 後藤哲哉	
	第6回 : 各論 脳腫瘍 (レポート)		下鶴哲郎 後藤哲哉	
	第7回 : 看護のポイントまとめ(レポート)		有川幸宏 後藤哲哉	
	第8回 : 終講試験・まとめ		下鶴哲郎 後藤哲哉	
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 10 運動器 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 7 脳・神経 医学書院			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅴ(内部環境調節機能障害)	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 後期
科目責任者	鹿児島大学 糖尿病・内分泌内科医師:松下啓亮他 内田洋介			
科目概要	1. 内分泌機能障害とメカニズムとその検査・治療法について学ぶ。 2. 体液機能障害とその検査・治療法を学ぶ			
到達目標	1. 内分泌機能障害の病態・検査・治療について理解できる。 2. 腎機能障害の病態・検査・治療について理解できる。			
授業計画	<p style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉 〈担当教員名〉</p> <p>【内分泌機能障害:15時間】</p> <p>第1回 : 内分泌総論(内分泌器官の構造と機能) 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師松下啓亮他</p> <p>第2回 : 内分泌器官とホルモン機構 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師松下啓亮他</p> <p>第3回 : 症状と病態生理 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師松下啓亮他</p> <p>第4回 : 内分泌疾患の検査 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師松下啓亮他</p> <p>第5回 : 疾患の理解① 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師松下啓亮他</p> <p>第6回 : 疾患の理解② 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師松下啓亮他</p> <p>第7回 : 疾患の理解③ 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師松下啓亮他</p> <p>第8回 : 終講試験・まとめ 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師松下啓亮他</p> <p>【体液調節機能障害:15時間】</p> <p>第1回 : 腎・泌尿器の解剖生理の復習 内田洋介</p> <p>第2回 : 症状とその病態生理① 内田洋介</p> <p>第3回 : 症状とその病態生理② 内田洋介</p> <p>第4回 : 検査と治療 内田洋介</p> <p>第5回 : 疾患の理解① 内田洋介</p> <p>第6回 : 疾患の理解② 内田洋介</p> <p>第7回 : 疾患の理解③ 内田洋介</p> <p>第8回 : 終講試験・まとめ 内田洋介</p>			
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学6 内分泌・代謝 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学8 腎・泌尿器 医学書院			
参考書	適宜プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	本科目は、医師として医業に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅵ(小児疾患)	単位 1	時間 15	開校年次 2年次 後期																		
科目責任者	後山 和彦																					
科目概要	1. 小児看護で遭遇する看護問題・障害とその治療について学ぶ。 2. 小児とその家族に起こりやすい直面しやすい状況を知り、看護に必要な基本的な知識を学ぶ。																					
到達目標	1. 小児疾患の病態・検査・治療について理解できる。																					
授業計画	<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 70%;">(授業内容・テーマ等)</th> <th style="text-align: center; width: 30%;">(担当教員名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 : 感染症</td> <td style="text-align: right;">後山 和彦</td> </tr> <tr> <td>第2回 : 呼吸器、消化器</td> <td style="text-align: right;">後山 和彦</td> </tr> <tr> <td>第3回 : 消化器、血液、免疫</td> <td style="text-align: right;">後山 和彦</td> </tr> <tr> <td>第4回 : 免疫、循環器</td> <td style="text-align: right;">後山 和彦</td> </tr> <tr> <td>第5回 : 腎泌尿器、内分泌</td> <td style="text-align: right;">後山 和彦</td> </tr> <tr> <td>第6回 : 内分泌、神経・筋疾患</td> <td style="text-align: right;">後山 和彦</td> </tr> <tr> <td>第7回 : 皮膚、救急、障害</td> <td style="text-align: right;">後山 和彦</td> </tr> <tr> <td>第8回 : 終講試験・まとめ</td> <td style="text-align: right;">後山 和彦</td> </tr> </tbody> </table>				(授業内容・テーマ等)	(担当教員名)	第1回 : 感染症	後山 和彦	第2回 : 呼吸器、消化器	後山 和彦	第3回 : 消化器、血液、免疫	後山 和彦	第4回 : 免疫、循環器	後山 和彦	第5回 : 腎泌尿器、内分泌	後山 和彦	第6回 : 内分泌、神経・筋疾患	後山 和彦	第7回 : 皮膚、救急、障害	後山 和彦	第8回 : 終講試験・まとめ	後山 和彦
(授業内容・テーマ等)	(担当教員名)																					
第1回 : 感染症	後山 和彦																					
第2回 : 呼吸器、消化器	後山 和彦																					
第3回 : 消化器、血液、免疫	後山 和彦																					
第4回 : 免疫、循環器	後山 和彦																					
第5回 : 腎泌尿器、内分泌	後山 和彦																					
第6回 : 内分泌、神経・筋疾患	後山 和彦																					
第7回 : 皮膚、救急、障害	後山 和彦																					
第8回 : 終講試験・まとめ	後山 和彦																					
評価方法	筆記試験(100%)																					
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院																					
参考書	プリント配布																					
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。																					
実務経験のある教員による実践的授業	医師として医業に携わり、豊富な経験をふまえて講義を行う。																					

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅶ(性生殖機能障害)	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 前期
科目責任者	久米 浩太			
科目概要	<p>1. 女性生殖器の解剖生理について想起させ、生殖器障害の症状、病態生理、診療検査の種類と方法について理解できる。また、女性の生殖器の障害の原因や疾患および治療について理解を深め看護に活かすことができることを目指す。</p> <p>2. 妊娠中の偶発性器疾患について理解し母性看護学の基礎的知識の習得を目指す。</p>			
到達目標	<p>1. 性・生殖器機能障害の病態生理・検査・治療について理解できる。</p> <p>2. 妊娠・分娩・産褥の異常について理解できる。</p>			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉	
	【性生殖機能障害:13時間】			
	第1回 : 性分泌疾患・外陰・膣の疾患	久米 浩太		
	第2回 : 子宮～筋腫・治療	久米 浩太		
	第3回 : 異所性妊娠	久米 浩太		
	第4回 : 卵巣がん、無月経、更年期	久米 浩太		
	第5回 : STD、月経困難症	久米 浩太		
	第6回 : 不妊症、乳房疾患	久米 浩太		
	第7回 : 終講試験・まとめ	久米 浩太		
	【母性疾患:17時間】			
	第1回 : ハイリスク妊娠～突発性血小板減少症	久米 浩太		
	第2回 : 感染症～PIH	久米 浩太		
	第3回 : PIH～血液型不適合妊娠・多胎・流産	久米 浩太		
	第4回 : 早産・切迫早産～異常分娩の看護	久米 浩太		
	第5回 : 産道の異常～胎向・回旋の異常	久米 浩太		
	第6回 : 常位胎盤早期剥離	久米 浩太		
	第7回 : 臍帯の異常～ST値	久米 浩太		
	第8回 : 産褥の異常～新生児の異常	久米 浩太		
	第9回 : 終講試験・まとめ	久米 浩太		
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 2 母性看護学各論 医学書院			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	<p>1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。</p> <p>2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。</p> <p>3. 授業中は積極的に質問を行う。</p>			
実務経験のある教員による実践的授業	医師として医業に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅷ(精神機能障害)	単位 1	時間 15	開校年次 2年次 前期
科目責任者	渡久地 朝匡			
科目概要	精神科看護に必要な観察力、洞察力を修得するために必要な精神疾患の基礎的な知識を理解できる。			
到達目標	1. 精神機能障害の病態・検査・治療について理解できる。			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉</p> <p>第1回 :精神障害の診断と検査の種類</p> <p>第2回 :精神科の各種治療法 薬物療法</p> <p>第3回 :精神科の各種治療法 精神療法</p> <p>第4回 :精神科の主な疾患 1)症状精神病 2)アルコール依存 3)薬物依存 4)てんかん</p> <p>第5回 :精神科の主な疾患 5)統合失調症</p> <p>第6回 :精神科の主な疾患 6)気分障害 7)神経症 8)人格障害</p> <p>第7回 :精神科の主な疾患 9)発達障害 10)ギャンブル依存, ゲーム障害</p> <p>第8回 :終講試験・まとめ</p>		<p>〈担当教員名〉</p> <p>渡久地 朝匡</p> <p>渡久地 朝匡</p> <p>渡久地 朝匡</p> <p>渡久地 朝匡</p> <p>渡久地 朝匡</p> <p>渡久地 朝匡</p> <p>渡久地 朝匡</p> <p>渡久地 朝匡</p>	
評価方法	筆記試験 100%			
指定図書	1. 看護学テキストNICE 精神看護学Ⅰ 精神保健・多職種つながり改訂第2版 南江堂 2. 看護学テキストNICE 精神看護学Ⅱ 臨床で生かすケア改訂第2版 南江堂			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	医師として医業に携わり、豊富な経験をふまえて講義を行う。			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	臨床薬理学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期																																
科目責任者	清水 隆雄																																			
科目概要	将来看護師として医療に携わる場合、薬物に関する知識は不可欠である。薬理学では薬理作用を理解するための基礎的知識の習得に重点を置くが、さらに医療従事者に関わる薬物関連の多さに鑑み看護業務に必要な薬の知識の習得を目指す。																																			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物の作用と薬理動態について理解できる。 2. 医薬品に関する正しい取り扱いについて理解できる。 3. 薬物療法の基本(薬理作用・副作用)を学ぶ。 4. 各消毒薬の特性と有用性を学ぶ。 																																			
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉</th> <th style="text-align: center;">〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 : 薬理学概論:薬事法・毒劇薬・麻薬取締法</td> <td style="text-align: right;">清水 隆雄</td> </tr> <tr> <td>第2回 : 総論:薬局方・薬理作用・薬理作用の機序・薬物受容体</td> <td style="text-align: right;">清水 隆雄</td> </tr> <tr> <td>第3回 : 薬理作用に影響する因子・年齢・連用・併用・心理効果・心理効果 薬物動態:経口適応・初回通過効果”</td> <td style="text-align: right;">清水 隆雄</td> </tr> <tr> <td>第4回 : 薬物動態:吸収・分布・生体反応・排泄・生物学的半減期</td> <td style="text-align: right;">清水 隆雄</td> </tr> <tr> <td>第5回 : 自律神経作用・コリン作用・抗コリン作用薬</td> <td style="text-align: right;">清水 隆雄</td> </tr> <tr> <td>第6回 : 自律神経作用薬・アドレナリン作用薬・抗アドレナリン薬 ・アドレナリン作用薬・アドレナリン作動性神経遮断薬・自律神経節遮断薬</td> <td style="text-align: right;">清水 隆雄</td> </tr> <tr> <td>第7回 : 骨格筋弛緩薬 (自律神経小テスト)・局所麻酔薬</td> <td style="text-align: right;">清水 隆雄</td> </tr> <tr> <td>第8回 : 全身麻酔薬・睡眠薬・抗けいれん薬</td> <td style="text-align: right;">清水 隆雄</td> </tr> <tr> <td>第9回 : 抗けいれん薬・パーキンソン治療薬・麻薬性鎮痛薬</td> <td style="text-align: right;">清水 隆雄</td> </tr> <tr> <td>第10回 : 向精神薬:抗精神病薬・抗うつ薬・抗不安薬・解熱鎮痛薬</td> <td style="text-align: right;">清水 隆雄</td> </tr> <tr> <td>第11回 : 抗痛風薬・抗ヒスタミン薬・強心薬・抗不整脈薬</td> <td style="text-align: right;">清水 隆雄</td> </tr> <tr> <td>第12回 : 抗不整脈薬(続き)・狭心症治療薬・高血圧治療薬</td> <td style="text-align: right;">清水 隆雄</td> </tr> <tr> <td>第13回 : 貧血治療薬・抗凝血薬・抗潰瘍薬・高血圧症治療薬ホルモン: 糖尿病治療薬・副腎皮質ホルモン剤・消毒薬</td> <td style="text-align: right;">清水 隆雄</td> </tr> <tr> <td>第14回 : 消毒薬(各論) 化学療法:ペニシリン・作用機序”</td> <td style="text-align: right;">清水 隆雄</td> </tr> <tr> <td>第15回 : 終講試験・まとめ</td> <td style="text-align: right;">清水 隆雄</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : 薬理学概論:薬事法・毒劇薬・麻薬取締法	清水 隆雄	第2回 : 総論:薬局方・薬理作用・薬理作用の機序・薬物受容体	清水 隆雄	第3回 : 薬理作用に影響する因子・年齢・連用・併用・心理効果・心理効果 薬物動態:経口適応・初回通過効果”	清水 隆雄	第4回 : 薬物動態:吸収・分布・生体反応・排泄・生物学的半減期	清水 隆雄	第5回 : 自律神経作用・コリン作用・抗コリン作用薬	清水 隆雄	第6回 : 自律神経作用薬・アドレナリン作用薬・抗アドレナリン薬 ・アドレナリン作用薬・アドレナリン作動性神経遮断薬・自律神経節遮断薬	清水 隆雄	第7回 : 骨格筋弛緩薬 (自律神経小テスト)・局所麻酔薬	清水 隆雄	第8回 : 全身麻酔薬・睡眠薬・抗けいれん薬	清水 隆雄	第9回 : 抗けいれん薬・パーキンソン治療薬・麻薬性鎮痛薬	清水 隆雄	第10回 : 向精神薬:抗精神病薬・抗うつ薬・抗不安薬・解熱鎮痛薬	清水 隆雄	第11回 : 抗痛風薬・抗ヒスタミン薬・強心薬・抗不整脈薬	清水 隆雄	第12回 : 抗不整脈薬(続き)・狭心症治療薬・高血圧治療薬	清水 隆雄	第13回 : 貧血治療薬・抗凝血薬・抗潰瘍薬・高血圧症治療薬ホルモン: 糖尿病治療薬・副腎皮質ホルモン剤・消毒薬	清水 隆雄	第14回 : 消毒薬(各論) 化学療法:ペニシリン・作用機序”	清水 隆雄	第15回 : 終講試験・まとめ	清水 隆雄
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回 : 薬理学概論:薬事法・毒劇薬・麻薬取締法	清水 隆雄																																			
第2回 : 総論:薬局方・薬理作用・薬理作用の機序・薬物受容体	清水 隆雄																																			
第3回 : 薬理作用に影響する因子・年齢・連用・併用・心理効果・心理効果 薬物動態:経口適応・初回通過効果”	清水 隆雄																																			
第4回 : 薬物動態:吸収・分布・生体反応・排泄・生物学的半減期	清水 隆雄																																			
第5回 : 自律神経作用・コリン作用・抗コリン作用薬	清水 隆雄																																			
第6回 : 自律神経作用薬・アドレナリン作用薬・抗アドレナリン薬 ・アドレナリン作用薬・アドレナリン作動性神経遮断薬・自律神経節遮断薬	清水 隆雄																																			
第7回 : 骨格筋弛緩薬 (自律神経小テスト)・局所麻酔薬	清水 隆雄																																			
第8回 : 全身麻酔薬・睡眠薬・抗けいれん薬	清水 隆雄																																			
第9回 : 抗けいれん薬・パーキンソン治療薬・麻薬性鎮痛薬	清水 隆雄																																			
第10回 : 向精神薬:抗精神病薬・抗うつ薬・抗不安薬・解熱鎮痛薬	清水 隆雄																																			
第11回 : 抗痛風薬・抗ヒスタミン薬・強心薬・抗不整脈薬	清水 隆雄																																			
第12回 : 抗不整脈薬(続き)・狭心症治療薬・高血圧治療薬	清水 隆雄																																			
第13回 : 貧血治療薬・抗凝血薬・抗潰瘍薬・高血圧症治療薬ホルモン: 糖尿病治療薬・副腎皮質ホルモン剤・消毒薬	清水 隆雄																																			
第14回 : 消毒薬(各論) 化学療法:ペニシリン・作用機序”	清水 隆雄																																			
第15回 : 終講試験・まとめ	清水 隆雄																																			
評価方法	筆記試験(100%)																																			
指定図書	1. わかりやすい薬理学(別冊整理ノート付) ヌーヴェルヒロカワ																																			
参考書	適宜プリント配布																																			
事前・事後学修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。 																																			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	治療法概説(外科・内視鏡・放射線)	単位 1	時間 15	開校年次 1年次 後期
科目責任者	中村 彰			
科目概要	医療において、医師と看護師の果たすべき役割は車の両輪にたとえられる。そのため、疾病回復・治癒・寛解に向けて行われる治療について十分理解し、生体に及ぼす影響や侵襲を理解することで、治療を受ける対象への適切な看護へと発展させることをねらいとした。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 周手術期看護について理解する。 2. 放射線治療について理解する。 3. 内視鏡的治療について理解する。 			
授業計画	<p>(授業内容・テーマ等)</p> <p>第1回 : 外科看護の基礎</p> <p>第2回 : 外科治療の基礎</p> <p>第3回 : 感染対策 救急医療</p> <p>第4回 : 法的環境・周産期看護・外来看護</p> <p>第5回 : 術前看護・術中看護</p> <p>第6回 : 術後管理</p> <p>第7回 : 放射線治療</p> <p>第8回 : 終講試験・まとめ</p>		<p>(担当教員名)</p> <p>中村 彰</p> <p>中村 彰</p> <p>中村 彰</p> <p>中村 彰</p> <p>中村 彰</p> <p>中村 彰</p> <p>中村 彰</p> <p>中村 彰</p>	
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 系統看護学講座 別巻1 臨床外科看護総論 2. 系統看護学講座 別巻7 臨床放射線医学 			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。 			
実務経験のある教員による実践的授業	医師として医業に携わり、豊富な経験をふまえて講義を行う。			

専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

科目名	保健医療論 I (健康支援と制度)	単位 1	時間 15	開校年次 1年次 後期																		
科目責任者	安藤 哲夫																					
科目概要	公衆衛生と保健・医療・福祉を支える制度のしくみについて現在に至る歴史をふまえながら理解することができる。																					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生活動の特徴や健康の概念について正しく理解できる。 2. これからの公衆衛生や各種医療制度について理解する。 3. 地域保健活動の概要について理解する。 2. さまざまなステージにおける健康について理解する。 																					
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉</th> <th style="text-align: center;">〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 : 公衆衛生の理念</td> <td>安藤 哲夫</td> </tr> <tr> <td>第2回 : 健康の概念と主観的健康観</td> <td>安藤 哲夫</td> </tr> <tr> <td>第3回 : プライマリーヘルスケア</td> <td>安藤 哲夫</td> </tr> <tr> <td>第4回 : PHCと生命倫理</td> <td>安藤 哲夫</td> </tr> <tr> <td>第5回 : レベル&クラークからの脱皮</td> <td>安藤 哲夫</td> </tr> <tr> <td>第6回 : PHCにおける公衆衛生の機能</td> <td>安藤 哲夫</td> </tr> <tr> <td>第7回 : 公衆衛生学各論 国試プリントを参考に</td> <td>安藤 哲夫</td> </tr> <tr> <td>第8回 : 終講試験・まとめ</td> <td>安藤 哲夫</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : 公衆衛生の理念	安藤 哲夫	第2回 : 健康の概念と主観的健康観	安藤 哲夫	第3回 : プライマリーヘルスケア	安藤 哲夫	第4回 : PHCと生命倫理	安藤 哲夫	第5回 : レベル&クラークからの脱皮	安藤 哲夫	第6回 : PHCにおける公衆衛生の機能	安藤 哲夫	第7回 : 公衆衛生学各論 国試プリントを参考に	安藤 哲夫	第8回 : 終講試験・まとめ	安藤 哲夫
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																					
第1回 : 公衆衛生の理念	安藤 哲夫																					
第2回 : 健康の概念と主観的健康観	安藤 哲夫																					
第3回 : プライマリーヘルスケア	安藤 哲夫																					
第4回 : PHCと生命倫理	安藤 哲夫																					
第5回 : レベル&クラークからの脱皮	安藤 哲夫																					
第6回 : PHCにおける公衆衛生の機能	安藤 哲夫																					
第7回 : 公衆衛生学各論 国試プリントを参考に	安藤 哲夫																					
第8回 : 終講試験・まとめ	安藤 哲夫																					
評価方法	筆記試験(100%)																					
指定図書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 健康と社会保障制度[2]																					
参考書	プリント配布																					
事前・事後学修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 授業中は積極的に質問を行う。 																					

専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

科目名	保健医療論Ⅱ(医療のあゆみと倫理)	単位 1	時間 15	開校年次 1年次 前期																		
科目責任者	川島 清美																					
科目概要	1. わが国における医療のしくみと概要について理解できる。 2. 医療現場における対象の人権、自己決定権、情報公開という観点から考えることができる。 3. 保健・医療の実践の現場で問われる基本的な問題について考え、倫理観を培うことができる。																					
到達目標	1. 医療観の移り変わりや医療における倫理などについて考える。 2. 医療の従事者としての役割について考える。																					
授業計画	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">(授業内容・テーマ等)</th> <th style="text-align: center;">(担当教員名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 : 社会保障制度の発達の経緯</td> <td style="text-align: right;">川島 清美</td> </tr> <tr> <td>第2回 : 医療と看護の原点</td> <td style="text-align: right;">川島 清美</td> </tr> <tr> <td>第3回 : 医療観の返還</td> <td style="text-align: right;">川島 清美</td> </tr> <tr> <td>第4回 : 現代の医療</td> <td style="text-align: right;">川島 清美</td> </tr> <tr> <td>第5回 : 高度社会の生み出した医療</td> <td style="text-align: right;">川島 清美</td> </tr> <tr> <td>第6回 : 医の論理と倫理</td> <td style="text-align: right;">川島 清美</td> </tr> <tr> <td>第7回 : 保健医療の将来像</td> <td style="text-align: right;">川島 清美</td> </tr> <tr> <td>第8回 : 終講試験・まとめ</td> <td style="text-align: right;">川島 清美</td> </tr> </tbody> </table>				(授業内容・テーマ等)	(担当教員名)	第1回 : 社会保障制度の発達の経緯	川島 清美	第2回 : 医療と看護の原点	川島 清美	第3回 : 医療観の返還	川島 清美	第4回 : 現代の医療	川島 清美	第5回 : 高度社会の生み出した医療	川島 清美	第6回 : 医の論理と倫理	川島 清美	第7回 : 保健医療の将来像	川島 清美	第8回 : 終講試験・まとめ	川島 清美
(授業内容・テーマ等)	(担当教員名)																					
第1回 : 社会保障制度の発達の経緯	川島 清美																					
第2回 : 医療と看護の原点	川島 清美																					
第3回 : 医療観の返還	川島 清美																					
第4回 : 現代の医療	川島 清美																					
第5回 : 高度社会の生み出した医療	川島 清美																					
第6回 : 医の論理と倫理	川島 清美																					
第7回 : 保健医療の将来像	川島 清美																					
第8回 : 終講試験・まとめ	川島 清美																					
評価方法	筆記試験(100%)																					
指定図書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 総合医療論 健康支援と社会保障[1] 医学書院																					
参考書	プリント配布																					
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 授業中は積極的に質問を行う。																					

専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

科目名	社会福祉論 I (社会保障と制度)	単位 1	時間 15	開校年次 2年次 前期																		
科目責任者	重久 晃一																					
科目概要	社会保障制度の目的、機能、機能、体系、内容などについて学習し、社会保険・公的扶助・公衆衛生及び医療・老人保健などについても考察する。																					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保障制度について理解する。 2. 介護保険制度について理解する。 3. これからの社会保障について考える。 																					
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉</th> <th style="text-align: center;">〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 : 現代社会と社会保障の動向</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> <tr> <td>第2回 : 社会保障の概念、目的、機能</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> <tr> <td>第3回 : 社会保障の体系</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> <tr> <td>第4回 : 社会保障の内容－所得保障、医療保障、福祉サービス－</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> <tr> <td>第5回 : 介護保障と介護保険制度</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> <tr> <td>第6回 : 所得保障制度と年金保険制度</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> <tr> <td>第7回 : これからの社会保障制度－課題と展望－</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> <tr> <td>第8階 : 終講試験・まとめ</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : 現代社会と社会保障の動向	重久 晃一	第2回 : 社会保障の概念、目的、機能	重久 晃一	第3回 : 社会保障の体系	重久 晃一	第4回 : 社会保障の内容－所得保障、医療保障、福祉サービス－	重久 晃一	第5回 : 介護保障と介護保険制度	重久 晃一	第6回 : 所得保障制度と年金保険制度	重久 晃一	第7回 : これからの社会保障制度－課題と展望－	重久 晃一	第8階 : 終講試験・まとめ	重久 晃一
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																					
第1回 : 現代社会と社会保障の動向	重久 晃一																					
第2回 : 社会保障の概念、目的、機能	重久 晃一																					
第3回 : 社会保障の体系	重久 晃一																					
第4回 : 社会保障の内容－所得保障、医療保障、福祉サービス－	重久 晃一																					
第5回 : 介護保障と介護保険制度	重久 晃一																					
第6回 : 所得保障制度と年金保険制度	重久 晃一																					
第7回 : これからの社会保障制度－課題と展望－	重久 晃一																					
第8階 : 終講試験・まとめ	重久 晃一																					
評価方法	筆記試験(100%)																					
指定図書	系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度[3]医学書院																					
参考書	プリント配布																					
事前・事後学修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 授業中は積極的に質問を行う。 																					
実務経験のある教員による実践的授業	社会福祉士として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。																					

専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

科目名	社会福祉論Ⅱ(社会福祉活動)	単位 1	時間 15	開校年次 2年次 前期																		
科目責任者	重久 晃一																					
科目概要	社会福祉制度の現状と課題について体系的に学習し、看護の立場から現代の社会福祉の福祉・保健対策の現状を学ぶ。																					
到達目標	1. 社会福祉制度を理解し看護につなげることができる。																					
授業計画	<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 70%;">〈授業内容・テーマ等〉</th> <th style="text-align: center; width: 30%;">〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 : 私たちの暮らしと社会福祉</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> <tr> <td>第2回 : 社会福祉の法制度</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> <tr> <td>第3回 : 生活問題と福祉</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> <tr> <td>第4回 : 高齢者問題と福祉</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> <tr> <td>第5回 : 障害者問題と福祉</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> <tr> <td>第6回 : 児童問題と福祉</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> <tr> <td>第7回 : 女性問題と福祉社会,福祉実践と医療・看護</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> <tr> <td>第8回 : 終講試験・まとめ</td> <td style="text-align: right;">重久 晃一</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : 私たちの暮らしと社会福祉	重久 晃一	第2回 : 社会福祉の法制度	重久 晃一	第3回 : 生活問題と福祉	重久 晃一	第4回 : 高齢者問題と福祉	重久 晃一	第5回 : 障害者問題と福祉	重久 晃一	第6回 : 児童問題と福祉	重久 晃一	第7回 : 女性問題と福祉社会,福祉実践と医療・看護	重久 晃一	第8回 : 終講試験・まとめ	重久 晃一
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																					
第1回 : 私たちの暮らしと社会福祉	重久 晃一																					
第2回 : 社会福祉の法制度	重久 晃一																					
第3回 : 生活問題と福祉	重久 晃一																					
第4回 : 高齢者問題と福祉	重久 晃一																					
第5回 : 障害者問題と福祉	重久 晃一																					
第6回 : 児童問題と福祉	重久 晃一																					
第7回 : 女性問題と福祉社会,福祉実践と医療・看護	重久 晃一																					
第8回 : 終講試験・まとめ	重久 晃一																					
評価方法	筆記試験(100%)																					
指定図書	系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度[3]医学書院																					
参考書	プリント配布																					
事前・事後学修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 授業中は積極的に質問を行う。 																					
実務経験のある教員による実践的授業	社会福祉士として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。																					

専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

科目名	関係法規 I (医療と法律)	単位 1	時間 15	開校年次 3年次 前期																		
科目責任者	安藤 哲夫																					
科目概要	看護に関する主な法律について学び、生活者の健康を守る制度について学習し、医療従事者の職務と役割について理解できる。																					
到達目標	1. 法律の概要と看護に関する主な法規について理解する。																					
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉</th> <th style="text-align: center;">〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 : 保健医療法と法</td> <td style="text-align: right;">安藤 哲夫</td> </tr> <tr> <td>第2回 : 医療法規</td> <td style="text-align: right;">安藤 哲夫</td> </tr> <tr> <td>第3回 : 医師法、歯科医師法</td> <td style="text-align: right;">安藤 哲夫</td> </tr> <tr> <td>第4回 : 保健師助産師看護師法</td> <td style="text-align: right;">安藤 哲夫</td> </tr> <tr> <td>第5回 : 保健衛生法規、社会保険関連法規</td> <td style="text-align: right;">安藤 哲夫</td> </tr> <tr> <td>第6回 : 生活衛生法規、薬事法規</td> <td style="text-align: right;">安藤 哲夫</td> </tr> <tr> <td>第7回 : 社会福祉関連法規、労働関連法規</td> <td style="text-align: right;">安藤 哲夫</td> </tr> <tr> <td>第8回 : 終講試験・まとめ</td> <td style="text-align: right;">安藤 哲夫</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : 保健医療法と法	安藤 哲夫	第2回 : 医療法規	安藤 哲夫	第3回 : 医師法、歯科医師法	安藤 哲夫	第4回 : 保健師助産師看護師法	安藤 哲夫	第5回 : 保健衛生法規、社会保険関連法規	安藤 哲夫	第6回 : 生活衛生法規、薬事法規	安藤 哲夫	第7回 : 社会福祉関連法規、労働関連法規	安藤 哲夫	第8回 : 終講試験・まとめ	安藤 哲夫
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																					
第1回 : 保健医療法と法	安藤 哲夫																					
第2回 : 医療法規	安藤 哲夫																					
第3回 : 医師法、歯科医師法	安藤 哲夫																					
第4回 : 保健師助産師看護師法	安藤 哲夫																					
第5回 : 保健衛生法規、社会保険関連法規	安藤 哲夫																					
第6回 : 生活衛生法規、薬事法規	安藤 哲夫																					
第7回 : 社会福祉関連法規、労働関連法規	安藤 哲夫																					
第8回 : 終講試験・まとめ	安藤 哲夫																					
評価方法	筆記試験(100%)																					
指定図書	系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度[4] 医学書院																					
参考書	プリント配布																					
事前・事後学修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 授業中は積極的に質問を行う。 																					

専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

科目名	関係法規Ⅱ(看護と医療過誤)	単位 1	時間 15	開校年次 2年次 後期
科目責任者	植屋 よしの			
科目概要	1. 医療安全に対する考え方や知識を得て看護の役割を理解できる。 2. 組織としての医療安全のあり方と医療過誤を防ぐ責務について理解できる。			
到達目標	1. 看護活動をするうえで必要な法規を理解し事故防止を考える			
授業計画	<p>(授業内容・テーマ等)</p> <p>第1回 :医療安全を学ぶことの大切さ 事故防止の考え方</p> <p>第2回 :看護師の法的責任</p> <p>第3回 :医療事故・看護事故より法的責任を考える①概論 投与する業務における事故事例</p> <p>第4回 医療事故・看護事故より法的責任を考える② 危険な医行為の観察・管理</p> <p>第5回 :医療事故・看護事故より法的責任を考える③ 療養上の世話における事故防止</p> <p>第6回 :医療事故・看護事故より法的責任を考える④ 業務領域をこえて共通する間違い 医療安全とコミュニケーション”</p> <p>第7回 :我が国の医療安全の展望</p> <p>第8回 :終講試験・まとめ</p>			<p><担当教員名> 植屋 よしの</p> <p>植屋 よしの</p> <p>植屋 よしの</p> <p>植屋 よしの</p> <p>植屋 よしの</p> <p>植屋 よしの</p> <p>植屋 よしの</p> <p>植屋 よしの</p>
評価方法	1. 筆記試験:80 点 2. グループワークへの参加状況、文献検索など学習意欲を含む);20 点			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④ 医学書院 2. 系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践② 医学書院			
参考書	プリント配布			
事前・ 事後学修	1.教科書は必ず事前に読んで、講義に積極的に臨みましょう。 2.参考文献、課題など積極的に読み深められるようにしましょう。 3.基礎看護学、各疾病論等の復習をして臨みましょう。 4.授業中は積極的に質問をしましょう。 5.レポート等は提出期日を遵守しましょう。			

専門分野 I

専門分野 I 基礎看護学

科目名	看護学概論 I	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 前期
科目責任者	植屋 よしの			
科目概要	看護の歴史をふまえ、看護に関する概念を学び「看護とは何か」を考えることにより、看護の機能と役割、看護援助とは何かを学ぶ。 看護理論について、看護理論による看護のとらえ方を学ぶ。また、看護の機能と役割の 1 つである「看護研究」の基礎について学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「看護とは何か」を学ぶことにより看護の目的・看護の対象・看護の方法とは何か理解できる。 2. 看護の基本概念「看護・人間・環境・健康」について理解を深める。 3. 看護の機能と役割を理解する。 4. 看護研究の基本的知識・技術について学び、看護を多角的視点からとらえる姿勢を養う。 			
授業計画	<p>(授業内容・テーマ等)</p> <p>第1回 : 基礎看護学の位置づけ、看護の基本となる概念「看護とは」①</p> <p>第2回 : 看護の基本となる概念「看護とは」② 看護の変遷</p> <p>第3回 : 看護の基本となる概念「看護とは」③ 看護の定義</p> <p>第4回 : 看護の基本となる概念「看護とは」④ 看護の機能と役割</p> <p>第5回 : 看護の基本となる概念「人間とは」① 統合体としての人間</p> <p>第6回 : 看護の基本となる概念「人間とは」② 成長・発達しつづける存在</p> <p>第7回 : 看護の基本となる概念「人間とは」③ 生活者としての人間の理解</p> <p>第8回 : 看護の基本となる概念「人間とは」④ 看護の対象としての家族・集団・地域</p> <p>第9回 : 看護の基本となる概念「健康とは」① 健康の概念、健康のとらえ方</p> <p>第10回 : 看護の基本となる概念「健康とは」② 生活と健康の関係、予防について</p> <p>第11回 : 看護の提供者: 職業としての看護、看護職のキャリアについて</p> <p>第12回 : 看護の提供の場: サービスとしての看護、チーム医療における協働</p> <p>第13回 : 看護における倫理 職業倫理、看護者の倫理綱領、患者の権利</p> <p>第14回 : 看護における研究 看護研究の目的、文献検索について</p> <p>第15回 : 終講試験・まとめ</p>		<p>(担当教員名)</p> <p>植屋よしの</p> <p>植屋よしの</p> <p>植屋よしの</p> <p>植屋よしの</p> <p>植屋よしの</p> <p>植屋よしの</p> <p>植屋よしの</p> <p>植屋よしの</p> <p>植屋よしの</p> <p>植屋よしの</p> <p>植屋よしの</p> <p>植屋よしの</p> <p>植屋よしの</p> <p>植屋よしの</p>	
評価方法	<p>終講試験 80%</p> <p>毎回の授業感想カードの提出 20% (出席点含む)</p>			
指定図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 基礎看護学① 医学書院 2. 看護覚え書 本当の看護とそうでない看護 日本看護協会出版会 3. 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会 			
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護者の基本的責務 2020年版 定義・概念/基本法/倫理 日本看護協会出版会 2. 系統看護学講座 別巻 看護史 医学書院 			
事前・事後学修	<p>多くの概念を学びます。授業で紹介する参考図書を読む、用語の意味を調べ理解する、積極的に考えることをしてください。</p>			
実務経験のある教員による実践的授業	<p>看護師として豊富な実務経験をふまえ看護の基本概念及び看護の機能と役割について理解が深められるよう授業を行う。</p>			

専門分野 I 基礎看護学

科目名	看護学概論Ⅱ	単位 1	時間 15	開校年次 2年次 前期
科目責任者	植屋 よしの			
科目概要	看護専門職として、対象と向き合うことに伴う役割と責任、倫理観を養う。			
到達目標	看護における倫理についての具体的な内容を知り、倫理的課題について理解する。 また、その倫理的意思決定で事例を用いて、看護実践で遭遇する問題や倫理的ジレンマを秩序立てて検討し、看護者としてのなすべきことを判断し行動に結びつく根拠が理解できる。			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉</p> <p>第1回:看護倫理の基礎知識</p> <p>① 倫理の基礎 ②看護倫理の基礎 ③原則の倫理</p> <p>第2回:看護職に求められる倫理 専門職とは、 看護者の責任(倫理的責任と法的責任)</p> <p>第3回:看護者の責任、看護専門職組織の役割と倫理綱領</p> <p>第4回:看護倫理に関する重要な言葉 ①情報プライバシーと守秘義務 ②ケアリング ③インフォームド・コンセント</p> <p>第5回:患者の権利、アドボカシー、協力と協働</p> <p>第6回:看護の場で生じやすい倫理上の問題① 倫理的意思決定におけるプロセス(がんの告知の事例をもとに検討)</p> <p>第7回:看護の場で生じやすい倫理上の問題② 倫理的意思決定におけるプロセス(尊厳死の事例をもとに検討)</p> <p>第8回:終講試験</p>		<p>〈担当教員名〉</p> <p>植屋 よしの</p> <p>植屋 よしの</p> <p>植屋 よしの</p> <p>植屋 よしの</p> <p>植屋 よしの</p> <p>植屋 よしの</p> <p>植屋 よしの</p> <p>植屋 よしの</p>	
評価方法	筆記試験(80%)演習の取り組み(20%)出席状況も含み総合的に評価する。			
指定図書	<p>1. 看護倫理(よい看護・よい看護師への道しるべ)改訂第3版 南江堂</p> <p>2. 看護の基本的責務 2020年版 日本看護協会出版会</p>			
参考書	1. 事例でまなぶケアの倫理第2版 メディカ出版			
事前・事後学修	看護実践の現場で倫理的問題に遭遇します。重要な言葉の理解をし、原則の倫理に基づき倫理的判断を考え倫理的行動の実践につながるよう予習・復習する。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえて看護における倫理の考え方を深められるよう授業を行う。			

専門分野 I 基礎看護学

科目名	基礎看護技術 I (技術とは・医療安全の考え方・ 環境調整・感染予防)	単位 1	時間 30	開講年次 1 年次前期
科目責任者	金丸 綾子 川畑 晶子			
科目概要	看護実践の基礎として、看護技術のとらえ方を考えるとともに、基本的技術についての知識と技術を 培い、看護の対象状況に応じた看護ケアを根拠に基づいて行うことができるよう看護専門職の行為を 学習する。			
到達目標	1、現代の技術の理論について学び、看護技術の独自性について理解する 2、科学的根拠に基づく看護実践の基盤となる基本的技術を習得する			
授業計画	<p>(授業内容・テーマ等)</p> <p>第 1 回:看護技術とは何か 1、技術とは何か 2、看護技術の特徴・範囲 3、看護技術を適切に実践するための要素 4、看護技術の発展と修得のために</p> <p>第 2 回:環境調整技術 1、援助の基礎知識</p> <p>第 3 回、第 4 回:環境調整技術 病室環境のアセスメントと調整</p> <p>第 5 回:環境調整技術 2、援助の実際</p> <p>第 6 回 :ベッドメイキング(リネン交換)(演習)</p> <p>第 7 回 : 感染予防の定義、感染予防における看護師の責務と役割</p> <p>第 8 回 : 感染予防対策の基本、感染経路別予防策</p> <p>第 9 回 : 医療器具の取り扱い、感染性廃棄物の取り扱い、無菌操作、針刺し事故防止 カテーテル関連血流感染対針刺し事故防止</p> <p>第 10 回、11 回 : 感染予防:手洗い・無菌操作・ガウンテクニック(演習)</p> <p>第 12 回 : 医療事故と医療過誤、看護における安全の意義、安全を守るための基礎知識</p> <p>第 13 回 : 看護事故の内容と原因、看護事故を起こさないための対策</p> <p>第 14 回 : 安全管理にむけての取り組み、看護師に求められる行動、看護師の法的責任</p> <p>第 15 回 : 終講試験・まとめ</p>			<p>(担当教員名)</p> <p>金丸 綾子</p> <p>金丸 綾子</p> <p>金丸 綾子</p> <p>金丸 綾子</p> <p>川畑 晶子</p> <p>川畑 晶子</p> <p>川畑 晶子</p> <p>川畑 晶子</p> <p>川畑 晶子</p> <p>川畑 晶子</p> <p>川畑 晶子</p> <p>川畑 晶子</p> <p>金丸 綾子・川畑 晶子</p>
評価方法	終講試験 知識(筆記試験:金丸 40%・川畑 40%)80%、技術(技術試験:ベッドメイキング)20%を総合的に 評価する。			
指定図書	1、系統別看護学講座 専門 I 基礎看護技術 I・II 医学書院			
参考書	1、看護技術がみえる vol1・2 MEDIC MEDIA 2、看護技術講義・演習ノート上巻・下巻 サイオ出版 3、根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院			
事前・ 事後学修	看護技術は、反復することで修得へ繋がる。学んだことをしっかり復習する。 看護技術を行う中で、根拠を踏まえた学習する。 演習にも積極的に参加し、知識と共に技術を修得するよう吟味的視点を持つ。			
実務経験のあ る教員による 実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ看護実践の基盤となる基本的技術について授業を行う。			

専門分野 I 基礎看護学

科目名	基礎看護技術Ⅱ (コミュニケーション)	単位 1	時間 30	開校年次 1 年次通年
科目責任者	上田平 昌代 三ツ野 佐代子			
科目概要	一般的な人間関係の在り方から看護場面での専門的な援助関係において、コミュニケーションが円滑になるよう様々なコミュニケーション技術を学習する。また、それらのコミュニケーション技法を活かし、患者-看護師関係と看護師の関わりについて学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションの概念について理解できる。 2. コミュニケーションの分類について学習し、コミュニケーションの特性について理解できる。 3. コミュニケーションのプロセスに影響する要因について理解できる。 4. コミュニケーション技術について理解し看護に活用できる。 			
授業計画	(授業内容・テーマ等) 第 1 回 : コミュニケーションの概念 第 2 回 : コミュニケーションの分類 第 3 回 : コミュニケーションのプロセスに影響する要因 第 4 回 : コミュニケーションセンスを磨く技術 (聴く・話す) 第 5 回 : コミュニケーションセンスを磨く技術(共感的理解) 第 6 回 : コミュニケーションセンスを磨く技術(読みとることと表現すること) 第 7 回 : コミュニケーションセンスを磨く技術(アサーション) 第 8 回 : コミュニケーションセンスを磨く技術(相手を知り, 相手を活かす) 第 9 回 ; プロセスレコードの概要 第 10 回 ; プロセスレコードの活用方法 第 11 回 ; 看護におけるカンファレンスの意義 第 12 回 ; 臨地実習後のコミュニケーションの振り返り 第 13 回 ; 臨地実習における事例を通してのコミュニケーション【演習】 第 14 回 ; 臨地実習における事例を通してのコミュニケーション【演習】 第 15 回 ; 終講試験, まとめ		(担当教員名) 上田平 昌代 上田平 昌代 上田平 昌代 上田平 昌代 上田平 昌代 上田平 昌代 上田平 昌代 上田平 昌代 三ツ野 佐代子 三ツ野 佐代子 三ツ野 佐代子 三ツ野 佐代子 上田平 三ツ野 上田平 三ツ野 上田平 三ツ野	
評価方法	評価の基準は、以下のとおりとする。 【筆記試験】 終講試験 80 点(上田平 50 点, 三ツ野 30 点) 【レポート】 授業内レポートおよび課題(臨地実習における事例を通して コミュニケーション演習) 20 点 *未提出、提出遅れ、内容が不足している場合は減点する			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 I 基礎看護学② 医学書院			
参考書	1. 看護実践のための根拠がわかる看護技術 メヂカルフレンド社			
事前・事後学修	基礎看護学実習 I-2 の実習終了後コミュニケーション演習を行うため、日常生活において机上で学習したコミュニケーション技法を意識しながらコミュニケーション能力の向上に努める。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、看護いにおけるコミュニケーションについて基礎的能力を養うことを目指して授業を行う。			

専門分野 I 基礎看護学

科目名	基礎看護技術Ⅲ (ヘルスアセスメント)	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 通年
科目責任者	有川 幸宏 金丸 綾子			
科目概要	看護に必要となる対象者の身体的な情報を収集するため、正しいバイタルサイン測定技術を身に付け、正確な値を基に生命の兆候を捉える。また、フィジカルアセスメントにて五感を活用し、系統別に DVD 視聴やシミュレーターを活用し基本的な身体診査技術を学ぶ。さらに生活者の健康査定には身体面だけでなく精神面、社会面も含め事例演習を通して考えることでアセスメント能力を高める。			
到達目標	1. 対象の健康状態を評価する意義と方法を理解する。 2. 対象の健康状態を把握し、適切な看護を提供するために的確なアセスメント方法を修得する。 3. 看護における記録・方法・報告の意義と方法を理解し実践できる。			
授業計画	(授業内容・テーマ等)		(担当教員名)	
	第1回 :フィジカルアセスメントの実際 バイタルサイン測定の基礎知識① 体温測定		有川 幸宏	
	第2回 :バイタルサイン測定の基礎知識② 脈拍測定、呼吸測定		有川 幸宏	
	第3回 :バイタルサイン測定の基礎知識③ 血圧測定		有川 幸宏	
	第4回 :バイタルサイン測定の基礎知識④ 血圧測定、意識		有川 幸宏	
	第5回 :バイタルサイン測定の技術 DVD 視聴・演習		有川 幸宏	
	第6回 :ヘルスアセスメントの意義と目的 観察・測定・記録・報告		金丸 綾子	
	第7回 :フィジカルアセスメントの基礎知識		金丸 綾子	
	第8回 :フィジカルアセスメントの基本技術 視診、触診、打診、聴診		金丸 綾子	
	第9回 :フィジカルイグザミネーション(系統別)技術① 循環器系		金丸 綾子	
	第10回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術② 呼吸器系		金丸 綾子	
	第11回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術③ 消化器系		金丸 綾子	
	第12回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術④ 神経系		金丸 綾子	
	第13回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術⑤ DVD 視聴・演習		金丸 綾子	
	第14回:ヘルスアセスメントの実践 事例演習(身体計測、シミュレーター)		金丸 綾子	
	第15回:終講試験・まとめ		有川 幸宏 金丸 綾子	
評価方法	終講試験: 知識(筆記試験:有川 40%・金丸 40%)80%、技術(実技試験 バイタルサイン測定)20%を総合的に評価する。			
指定図書	1. 系統別看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[2]基礎看護技術 I 医学書院 2. 実践するヘルスアセスメント 身体の構造と機能からアセスメントを導く 学研			
参考書	1. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院 2. 看護学生のためのヘルス・アセスメントハンドブック 改訂4版 メディカ出版			
事前・事後学修	実践の基礎的知識と基本技術を学習する。講義と演習を繰り返しながら、実践を結び付け理解を深め、バイタルサイン測定技術やフィジカルアセスメント能力を身につけられることができる。 予習・復習、課題の提出期限を遵守し、必要な器具や身だしなみを整えて授業に臨むこと。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、健康状態を評価する意義と方法を理解し実践へ活用できるよう授業を行う。			

専門分野 I 基礎看護学

科目名	基礎看護技術Ⅳ (看護過程・総合演習)	単位 1	時間 30	開校年次 1 年次後期
科目責任者	金丸 綾子 ・ 西田 香織			
科目概要	看護の質向上を図る為、看護過程における概念、構成要素、看護上の問題を明確にする理由・方法を学習し、個別的な看護計画の立案、評価の視点の知識を得る。			
到達目標	1、看護過程の構成要素を理解する。 2、模擬患者の看護過程を展開する			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉</p> <p>第 1 回:看護過程の基になる考え方と理論</p> <p>1. 看護過程とは</p> <p>1) 看護過程とは何か 2) 看護過程と問題解決技法</p> <p>3) 看護過程とクリティカルシンキング 4) 看護過程と看護理論の関係</p> <p>5) リフレクション</p> <p>第 2 回:看護過程の基になる考え方と理論</p> <p>2. ゴードンの 11 の機能的健康パターン</p> <p>第 3 回:看護過程の構成要素</p> <p>1. 情報収集、情報整理</p> <p>第 4 回:看護過程の構成要素</p> <p>2. アセスメント</p> <p>第 5 回:看護過程の構成要素</p> <p>3. 全体関連図</p> <p>第 6 回:看護過程の構成要素</p> <p>4. 看護上の問題の特定(看護診断)</p> <p>第 7 回、第 8 回:看護過程の構成要素</p> <p>5. 看護計画</p> <p>1)看護目標設定(長期目標・短期目標) 2)看護計画の立案</p> <p>第 9 回:看護過程の展開要素</p> <p>6. 実施 1)確認と調整 2)報告と記録</p> <p>第 10 回:看護過程の構成要素</p> <p>7. 評価 1)評価方法 2)評価結果・修正</p> <p>第 11 回:筆記試験</p> <p>第 12 回、第 13 回、第 14 回、第 15 回</p> <p>看護過程事例学習(模擬患者の看護過程)</p>		<p>〈担当教員名〉</p> <p>金丸綾子</p> <p>西田香織</p> <p>金丸綾子 西田香織</p>	
評価方法	終講試験:70 点 事例演習:30%(個人ワーク:20%、グループワーク:10%)総合的に評価する			
指定図書	1.系統別看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[2]基礎看護技術 I 医学書院 2. 患者さんの情報収集ガイドブック メヂカルフレンド社			
事前・事後学修	患者理解における方法の 1 つとして、また全ての看護領域における看護実践の方法論として、学習を積み重ねていけるように自ら取り組むこと。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野 I 基礎看護学

科目名	基礎看護技術V (食事・排泄)	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 前期																																
科目責任者	木下 勝平 西崎 愛美																																			
科目概要	<p>排泄援助の基礎知識として、「排泄の意義」と「排尿・排便のメカニズム」を確認し、対象者の状態に応じた援助を決定するための「アセスメント」「自然排尿・自然排便の援助の方法」を学び、さらに演習を通して、医療上必要な場合に行う「導尿」「浣腸」についても学習していく。</p> <p>日常生活行動援助技術の食事援助の基礎知識を学び、演習を通して「食事介助」の方法を習得する。また、摂食・嚥下機能の低下や経口的に栄養摂取ができない場合の「摂食・嚥下訓練について」や「非経口的栄養摂取の援助」について学ぶ。</p>																																			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 排泄の意義・援助の方法について理解できる。 2. 排尿・排便に対する基本的技術を習得できる。 3. 食事の意義を理解し、安全・安楽を守るための基本的技術を習得できる。 																																			
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉</th> <th style="text-align: center;">〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回：排泄の意義・メカニズムについて理解できる</td> <td style="text-align: right;">木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第2回：排泄の援助を実践するための基礎知識を理解できる</td> <td style="text-align: right;">木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第3回：排尿障害と排尿障害の援助の方法について理解できる</td> <td style="text-align: right;">木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第4回：排便障害と排便障害の援助の方法について理解できる</td> <td style="text-align: right;">木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第5回：排便障害と排便障害の援助の方法について理解できる</td> <td style="text-align: right;">木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第6回：演習:便器・尿器を用いた援助(自然排便・排尿)、浣腸、導尿</td> <td style="text-align: right;">木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第7回：演習:便器・尿器を用いた援助(自然排便・排尿)、浣腸、導尿</td> <td style="text-align: right;">木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第8回：食事における食事生活について理解できる</td> <td style="text-align: right;">西崎 愛美</td> </tr> <tr> <td>第9回：食生活の基本援助についての基礎知識について理解できる</td> <td style="text-align: right;">西崎 愛美</td> </tr> <tr> <td>第10回：疾病時の食事援助について</td> <td style="text-align: right;">西崎 愛美</td> </tr> <tr> <td>第11回：食事介助の方法について</td> <td style="text-align: right;">西崎 愛美</td> </tr> <tr> <td>第12回：非経口栄養法について</td> <td style="text-align: right;">西崎 愛美</td> </tr> <tr> <td>第13回：演習:患者への食事援助について</td> <td style="text-align: right;">西崎 愛美</td> </tr> <tr> <td>第14回：演習:視覚障害や体位が制限される患者の食事援助について</td> <td style="text-align: right;">西崎 愛美</td> </tr> <tr> <td>第15回：終講試験・まとめ</td> <td style="text-align: right;">木下 勝平・西崎 愛美</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回：排泄の意義・メカニズムについて理解できる	木下 勝平	第2回：排泄の援助を実践するための基礎知識を理解できる	木下 勝平	第3回：排尿障害と排尿障害の援助の方法について理解できる	木下 勝平	第4回：排便障害と排便障害の援助の方法について理解できる	木下 勝平	第5回：排便障害と排便障害の援助の方法について理解できる	木下 勝平	第6回：演習:便器・尿器を用いた援助(自然排便・排尿)、浣腸、導尿	木下 勝平	第7回：演習:便器・尿器を用いた援助(自然排便・排尿)、浣腸、導尿	木下 勝平	第8回：食事における食事生活について理解できる	西崎 愛美	第9回：食生活の基本援助についての基礎知識について理解できる	西崎 愛美	第10回：疾病時の食事援助について	西崎 愛美	第11回：食事介助の方法について	西崎 愛美	第12回：非経口栄養法について	西崎 愛美	第13回：演習:患者への食事援助について	西崎 愛美	第14回：演習:視覚障害や体位が制限される患者の食事援助について	西崎 愛美	第15回：終講試験・まとめ	木下 勝平・西崎 愛美
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回：排泄の意義・メカニズムについて理解できる	木下 勝平																																			
第2回：排泄の援助を実践するための基礎知識を理解できる	木下 勝平																																			
第3回：排尿障害と排尿障害の援助の方法について理解できる	木下 勝平																																			
第4回：排便障害と排便障害の援助の方法について理解できる	木下 勝平																																			
第5回：排便障害と排便障害の援助の方法について理解できる	木下 勝平																																			
第6回：演習:便器・尿器を用いた援助(自然排便・排尿)、浣腸、導尿	木下 勝平																																			
第7回：演習:便器・尿器を用いた援助(自然排便・排尿)、浣腸、導尿	木下 勝平																																			
第8回：食事における食事生活について理解できる	西崎 愛美																																			
第9回：食生活の基本援助についての基礎知識について理解できる	西崎 愛美																																			
第10回：疾病時の食事援助について	西崎 愛美																																			
第11回：食事介助の方法について	西崎 愛美																																			
第12回：非経口栄養法について	西崎 愛美																																			
第13回：演習:患者への食事援助について	西崎 愛美																																			
第14回：演習:視覚障害や体位が制限される患者の食事援助について	西崎 愛美																																			
第15回：終講試験・まとめ	木下 勝平・西崎 愛美																																			
評価方法	終講試験 80% (排泄 40%、食事 40%)、技術 10% (演習)、態度 10% (提出物・取り組み)を総合的に評価する。																																			
指定図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 系統別看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[2]基礎看護技術 I 医学書院 2. 系統別看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[3]基礎看護技術 II 医学書院 																																			
参考書	1. 看護技術プラクティス 学研 各専門分野や看護学分野の教科書等を参考に活用します。																																			
事前・事後学修	演習にてグループワークや実際に技術演習を行います。講義での振り返りやグループ間での情報共有を行い、臨みましょう。																																			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、日常生活援助の基礎について授業を行う。																																			

専門分野 I 基礎看護学

科目名	基礎看護技術VI (活動・休息、清潔・衣生活)	単位 1	時間 30	開講年次 1年次前期
科目責任者	石塚 直子・川畑 晶子・西田 香織			
科目概要	<p>活動・休息 看護技術における安全・安楽の意義を理解し効果的な動きのための技術を習得する。活動・運動・休息・睡眠の意義を学ぶ。運動を援助する技術の必要性を学び、体位変換における基本的技術を習得する。休息・睡眠を促す技術を学ぶ。</p> <p>清潔・衣生活 人間にとっての「清潔」「衣生活」の意義を理解し、健康の充足・維持増進のために必要な基本的知識・技術を習得する。また、安全・安楽な援助を提供するための技術を習得する。</p>			
到達目標	<p>1. 活動・休息の意義を理解し、基礎的な技術を習得できる。</p> <p>2. 対象の清潔の意義と衣生活を理解し、基本的な技術を習得する。</p>			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉 〈担当教員名〉</p> <p>活動・休息(15 時間)</p> <p>第1回：活動 1. 安全・安楽で効果的な動きのための技術 1) ボディメカニクス 2) 重心と安定性 3) ボディメカニクスに影響を与える因子 4) 看護行為におけるボディメカニクス 5) 患者のボディメカニクス</p> <p>第2回：活動 2. 人間と運動 1) 運動への援助の意味 2) 運動が人間に与える影響 3) 長期の臥床状態による影響 4) 長期の臥床状態による障害の評価</p> <p>第3回：運動の援助 1) 姿勢・体位の保持 (1) 立位 (2) 座位 (3) 臥位(仰臥位・側臥位・腹臥位) 2) 体位変換と褥瘡予防 (1) 体位変換の目的と留意点</p> <p>第4回：運動の援助 演習 2) 体位変換と褥瘡予防 (2) 水平移動 ① 仰臥位から側臥位 ② 仰臥位から座位 ③ 座位から端座位 (3) 褥瘡予防</p> <p>第5回：運動の援助 演習 3) 移動 (1) 車いす及びストレッチャーの操作方法 (2) ベッドから車椅子への移動 (3) ベッドからストレッチャーへの移動</p> <p>第6回：運動の援助 演習・まとめ</p> <p>第7回：2. 休息 1. 睡眠を促すための技術 1) 休息・睡眠の意義 2) 休息・睡眠の与える影響・意味 3) 休息・睡眠を促す援助</p> <p>第8回：終講試験</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">} 石塚直子</div>			

	<p>清潔・衣生活(15 時間)</p> <p>第 1 回 : 清潔の基礎知識、清潔・衣服の意義、皮膚・粘膜の構造と機能 身体の清潔における看護師の役割</p> <p>第 2 回 : 清潔の構成要素、清潔に関するフィジカルアセスメント 入浴・シャワー浴の援助方法</p> <p>第 3 回 : 洗髪目的・留意点・手順、口腔ケアの目的・留意点・手順</p> <p>第 4 回 : 洗髪技術演習</p> <p>第 5 回 : 全身清拭の目的・留意点・手順、寝衣交換の目的・留意点・手順</p> <p>第 6 回 : 陰部洗浄の目的・留意点・手順、身だしなみ・整容援助の目的・留意点・手順</p> <p>第 7 回 : 手浴・足浴の目的・留意点・手順</p> <p>第 8 回 : 終講試験</p> <p style="text-align: right;">西田香織 川畑晶子 川畑晶子・西田香織</p>
<p>評価方法</p>	<p>終講試験:知識(筆記試験):50% 技術試験:40%(車椅子移乗・移送 20%、清拭・寝衣交換、洗髪 20%) 態度(取り組み、提出物、出席状況):10% を総合的に評価する</p>
<p>指定図書</p>	<p>1. 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[3]基礎看護技術 II 医学書院 2. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第 2 版 医学書院 ※動画で技術の確認もできます。 ① iPad 内の動画の視聴も取り入れ、学習を行ってください ② 副読本はQRコードを読み取り、アクセスしてください</p>
<p>参考書</p>	<p>活動・休息 1. イラストで学ぶ 看護人間工学 東京電機大学出版局 2. 学ぶ・活かす・共有する看護ケアの根拠と技術 第3版 (株)医歯薬出版</p> <p>清潔・衣生活 1. 看護学テキスト Nice 基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する 改定第 2 版 南江堂 2. 看護が見えるvol.1 基礎看護技術 メディックメディア 3. 新改訂 看護技術 講義・演習ノート 第 2 版 下巻 診療に伴う看護技術篇 サイオ出版</p>
<p>事前・事後学修</p>	<p>活動・休息 第3回～第6回の基礎看護技術演習は、事例に沿って、学生各自が移動手順書を作成し事前学習を行う。そのうえで科学的根拠を基に、生活の場に即した日常生活行動援助についてグループワーク演習を行い活発な意見交換を行う。</p> <p>清潔・衣生活 全身清拭・寝衣交換、洗髪は技術試験を行う。健康障害をもつ対象に安全で安楽な技術が提供できるよう、動画の視聴や、練習を重ね技術の習得に努める。</p>
<p>実務経験のある教員による実践的授業</p>	<p>看護師として豊富な実務経験をふまえ、日常生活援助の基礎について授業を行う。</p>

専門分野 I 基礎看護学

科目名	基礎看護技術Ⅶ	1 単位	30 時間	開校年次 2年次後期
科目責任者	有川 幸宏 西崎 愛美			
科目概要	看護師の役割である診療の補助について、治療・処置に伴う危険性、法的責任を理解し、安全・安楽な援助方法を学ぶ。また与薬や輸血における看護援助や副作用を理解する。治療・検査・処置における看護師の役割を学び、演習を通して、看護援助技術を学習する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 正しい与薬、薬剤の管理方法を理解できる。 与薬経路の特徴を理解し援助の実際を学ぶ。 注射の基礎知識を理解し実施方法を学び演習を基に実践できる。 輸血管理の基礎知識を理解し、援助の実際を学ぶ。 包帯法の基礎を理解し、巻軸法、三角巾を用いた方法を学び、実践できる。 治療・検査の種類とその内容を理解し、検査・治療を受ける患者への安全・安楽な看護援助を習得できる。 			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉	
	第1回：薬物療法の意義、目的を理解する。		有川 幸宏	
	第2回：薬物の管理方法や法律について		有川 幸宏	
	第3回：与薬時の看護技術		有川 幸宏	
	第4回：注射の基礎知識や実施方法		有川 幸宏	
	第5回：アンプル・バイアルの準備、滴下計算		有川 幸宏	
	第6回：輸血における看護師の役割		有川 幸宏	
	第7回：与薬に関わる技術演習		有川 幸宏	
	第8回：診療における看護師の役割、診療時の補助を理解する。		西崎 愛美	
	第9回：包帯法の基礎知識について		西崎 愛美	
	第10回：包帯法の技術演習		西崎 愛美	
	第11回：検査場面における看護師の役割・介助のポイント		西崎 愛美	
	第12回：検査の種類について		西崎 愛美	
	第13回：検体検査の種類・内容・採取方法		西崎 愛美	
	第14回：検体検査(血漿・血清)の技術演習		西崎 愛美	
	第15回：終講試験・まとめ		有川幸宏 西崎 愛美	
評価方法	終講試験 80%(与薬 40%・包帯法・検査 40%)、技術 10%(演習)、態度 10%(出席・取り組み)を総合的に評価する。			
指定図書	<ol style="list-style-type: none"> 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 医学書院 			
参考書	1. 看護学テキスト NICE 基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する 南江堂			
事前・事後学修	授業内容に関連した教科書の章を事前によく読んでから参加してください。 事前学修課題の実施、科目内容の把握、演習技術の動画視聴をして演習に臨んでください。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、診療の補助における看護の基礎の授業を行う。			

専門分野 I 基礎看護学

科目名	臨床看護総論	単位 1	時間 30	開講年次 2年次前期
科目責任者	川畑 晶子・西田 香織			
科目概要	経過別の各期にある対象・家族の身体的、心理的、社会的特徴、それに伴う必要な看護を学ぶ。また、健康障害をもつ対象に必要な援助を学び、事例を通して対象に必要な援助を導く能力を養う。			
到達目標	健康障害を持つ対象を理解し、経過、主要症状および治療処置などの状態に応じて、患者の看護に活用できる能力を養う。			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉</p> <p>第1回 : 疾病の経過と看護:急性期</p> <p>第2回 : 疾病の経過と看護:慢性期、回復期、リハビリテーションと看護</p> <p>第3回 : 疾病の経過と看護:終末期</p> <p>第4回 : 主要症状と看護:呼吸困難、呼吸困難を緩和する援助</p> <p>第5回 : 主要症状と看護:呼吸困難、呼吸困難を緩和する援助</p> <p>第6回 : 主要症状と看護:発熱、発熱を緩和する援助</p> <p>第7回 : 主要症状と看護:発熱を緩和する援助、浮腫、浮腫を緩和する援助</p> <p>第8回 : 主要症状と看護:浮腫、浮腫を緩和する援助</p> <p>第9回 : 演習:酸素療法、吸引、罨法</p> <p>第10回 : 健康障害における対象の看護(総合演習):脳梗塞の対象の看護</p> <p>第11回 : 健康障害における対象の看護(総合演習):脳梗塞の対象の看護</p> <p>第12回 : 健康障害における対象の看護(総合演習):脳梗塞の対象の看護</p> <p>第13回 : 健康障害における対象の看護(総合演習):脳梗塞の対象の看護(発表)</p> <p>第14回 : 健康障害における対象の看護(総合演習):脳梗塞の対象の看護(発表)</p> <p>第15回 : 終講試験・まとめ</p>			<p>〈担当教員名〉</p> <p>西田香織</p> <p>川畑晶子</p> <p>川畑晶子 西田香織</p>
評価方法	終講試験 70% 事例演習 30%(個人ワーク:20%、グループワーク:10%)総合的に評価する			
指定図書	<p>1. 新体系 看護学全書 基礎看護学④ 臨床看護総論 メヂカルフレンド社</p> <p>2. 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院</p> <p>3. 看護過程に沿った対症看護 第4版 病態生理と看護のポイント 学研</p> <p>4. 疾患別 看護過程の展開 第5版 学研</p>			
参考書	対象者は、生活背景や個人因子がさまざま状況にあります。各専門分野や看護学分野の教科書、副読本等を参考に学習を行ってください。			
事前・事後学修	第10回～第14回の総合演習は、脳梗塞の患者のシナリオから情報を読み取り、根拠をもとに対象により良い看護を提供するために何が必要か考える。その考えた看護をもとにグループワークを行い、内容を援助案に繋げ、学内でロールプレイを用いた発表を行う。また、ロールプレイで行った援助について活発な意見交換を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえて授業を行う。			

専門分野 I 基礎看護学

科目名	基礎看護学実習 I	単位 1	時間 45	開講年次 基礎看護学実習 I-1 1 年次前期 基礎看護学実習 I-2 1 年次後期
科目責任者	西田 香織他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	<p>基礎看護学実習 I-1</p> <p>1. 入院生活を送っている患者の療養生活や思いを知り、看護活動の体験を通して看護について理解を深める。</p> <p>基礎看護学実習 I-2</p> <p>1. 看護の対象として患者を理解し、療養生活における患者の日常生活行動援助を安全・安楽に実施できる。</p>			
授業方法	<p>1. 実習時間 基礎看護学実習 I-1 7.5時間 基礎看護学実習 I-2 37.5 時間</p> <p>2. 実習施設 済生会川内病院 鹿児島厚生連病院 川内市医師会立市民病院 鹿児島生協病院 いまきいれ総合病院</p> <p>2. 詳細は、実習要領参照のこと</p>			
実習計画	<p>1. 実習期間 基礎看護学実習 I-1 1日間 基礎看護学実習 I-2 5日間</p>			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	<p>1. 各オリエンテーションには実習要綱を持参して出席すること。</p> <p>2. 学内オリエンテーションで、実習に関すること不明点は、質問し理解して実習には臨むこと。</p> <p>3. 記録物などの提出期限は厳守する。</p> <p>4. 実習に関する文献の収集を行う、自己学習をする。</p> <p>5. 実施する看護技術は、学内で十分に練習して臨む。</p> <p>6. 看護技術の実施は指導者のもとで行い、常に患者の安全・安楽を優先する。</p> <p>7. 基礎看護学実習の履修認定を受けていない者は、他の看護学の実習を履修することはできない。</p>			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ実習指導を行う。			

専門分野 I 基礎看護学

科目名	基礎看護学実習Ⅱ	単位 2	時間 90	開講年次 2年次前期
科目責任者	金丸 綾子他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	1. 健康障害をもつ対象を通し、科学的問題解決技法を用いて看護実践する基礎的能力を養う。			
授業方法	1. 実習時間 90 時間 2. 実習施設 済生会川内病院 鹿児島厚生連病院 川内市医師会立市民病院 鹿児島生協病院 いまきいれ総合病院 3. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	1. 実習期間 12 日間(臨地 10 日、学内2日)			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	1. 各オリエンテーションには実習要綱を持参して出席すること。 2. 学内オリエンテーションで、実習に関すること不明点は、質問し理解して実習には臨むこと。 3. 記録物などの提出期限は厳守する。 4. 実習に関する文献の収集を行う、自己学習をする。 5. 実施する看護技術は、学内で十分に練習して臨む。 6. 看護技術の実施は指導者のもとで行い、常に患者の安全・安楽を優先する。 7. 基礎看護学実習の履修認定を受けていない者は、他の看護学の実習を履修することはできない。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ実習指導を行う。			

専門分野Ⅱ

専門分野Ⅱ 成人看護学

科目名	成人看護学概論	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期
科目責任者	辻本 あゆみ			
科目概要	ライフサイクルにおける成人期の特徴を生活や健康に関する最新のデータに着目しながら、身体的・心理的・社会的側面を理解し、健康障害をもつ成人期の看護を考える上で基本的な看護の理論を学び、急性期、回復期、慢性期、終末期の経過にある人の援助について考える。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達段階に沿って成人期の対象とその家族について理解できる 2. 成人期にある対象の発達段階を理解できる。 3. 成人看護の目的と看護の役割について理解できる 			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉</p> <p>第1回:成人の特徴 DVD鑑賞し、配役の発達課題やライフイベントから成人期の特徴を学習する。</p> <p>第2回:自分のライフステージを立てる ワークシート</p> <p>第3回:生活状況からみた成人の特徴 働いて生活を営む</p> <p>第4回:成人期にある人の健康問題</p> <p>第5回:成人期の疾病特徴</p> <p>第6回:成人期にある人の保健行動</p> <p>第7回:成人期における家族の役割機能・影響</p> <p>第8回:成人看護の役割</p> <p>第9回:成人の健康レベルと看護の役割 DVD鑑賞 急性期 慢性期 リハビリ期 終末期 (ワークシート)</p> <p>第10回:グループワーク</p> <p>第11回:グループワーク</p> <p>第12回:グループワーク まとめ</p> <p>第13回:グループワーク発表</p> <p>第14回:成人看護の倫理 1)自己決定権 2)インフォームドコンセント</p> <p>第15回:終講試験</p>		<p>〈担当教員名〉</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p>	
評価方法	終講試験 70% 各疾患課題提出(事前学習 15% 課題提出 15%)			
指定図書	小松浩子:専門分野Ⅱ 成人看護学概論 成人看護学 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働統計協会			
事前・事後学習	各授業前のプリント・課題は進めておいてください			
事前・事後学修	多くの概念を学びます。参考図書を読む、用語の意味を調べ理解する、積極的に考えることをしてください。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野Ⅱ 成人看護学

科目名	成人保健	単位 1	時間 30	開校年次 1 年次後期
科目責任者	辻本 あゆみ 西崎 愛美			
科目概要	健康とは何かを理解し自分自身の健康に関心をもち、かつ適切な健康管理が行えるよう理論と具体的方法を学ぶ。健康への理解を深めるため、健康で豊かな生活を考え、健康の概念、健康の指標、健康に関する影響因子を学習する。さらに、人々の健康の状態、保健の動向と看護の関係性を知り、健康管理の理論とそれに伴う指導方法について学ぶ。			
到達目標	1.成人保健の動向を把握し、成人の健康問題の特徴と健康問題となる諸因子を理解できる。 2.成人期の対象の健康問題の保健対策、保険活動の意義と重要性を理解できる。 3.成人期の理論を考え、健康問題を踏まえた、パンフレット指導が理解できる。			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉</p> <p>第1回 :健康の概念 グループワーク</p> <p>第2回 :うつ病と自殺対策 出生、死亡の状況 グループワーク</p> <p>第3回 :大人の健康の考え方 事例提示</p> <p>第4回 :保健、医療、福祉のシステム 医療に関わる対策 医療保険制度</p> <p>第5回 :ゴールドプラン 21 健康日本 21 グループワーク</p> <p>薩摩川内市・鹿児島市、沖縄市、熊本市、鹿屋市、長崎市</p> <p>第6回 :グループワーク</p> <p>第7回 :グループ発表</p> <p>第8回 :職業性疾病について</p> <p>第9回 :LGBT、更年期についての理解</p> <p>第10回:大人の行動変容 アンドラゴジー</p> <p>第11回:生活習慣病の予防と対策、特定健康診査と特定保健指導</p> <p>第12回:定期健康診断と保健指導(脂質異常症)</p> <p>第13回:定期健康診断と保健指導(脂質異常症)個人ワーク</p> <p>第14回:定期健康診断と保健指導(脂質異常症)個人ワーク発表</p> <p>第15回:終講試験</p>		<p>〈担当教員名〉</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>辻本 あゆみ</p> <p>西崎 愛美</p> <p>西崎 愛美</p> <p>西崎 愛美</p> <p>西崎 愛美</p> <p>西崎 愛美</p> <p>西崎 愛美</p> <p>辻本あゆみ・西崎 愛美</p>	
評価方法	筆記試験(70点)、事前課題(20点)、グループワーク参加状況(10点)により総合的に評価する。			
指定図書	成人看護学概論 医学書院 国民衛生の動向 厚生統計協会			
参考書	WEB から情報収集します。 各専門分野や看護学分野の教科書等を参考に活用してください。			
事前・事後学修	家族から健康観の聴取レポート・私の健康観(原稿用紙 600~800 字) パンフレット製作。(脂質異常症について事前学習しておいてください)			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえて授業を行う。			

専門分野Ⅱ 成人看護学

科目名	成人看護方法論Ⅰ	1単位	時間 30	開校年次 2年次前期
科目責任者	有川 幸宏			
科目概要	クリティカルケア看護について学び、生命の危機的状態にある患者と家族を理解し看護の実際を事例を通して深める。周術期においては手術侵襲による生体反応や術前・術中・術後の看護を行うことで重要となることを学ぶ。手術を受ける患者・家族の看護について事例展開を通して学びを深める。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.生命の危機的状態にある対象の特徴及び看護を理解できる。 2.手術による生体反応と各機能への影響を理解する。 3.周術期にある対象の特徴及び看護について理解し、患者への安全・安楽な看護援助を習得できる。 			
授業計画	<p>(授業内容・テーマ等)</p> <p>第1回：クリティカルケア看護の基本</p> <p>第2回：クリティカルケア看護の基盤になる理論と看護展開</p> <p>第3回：クリティカルケア看護師に必要な能力</p> <p>第4回：クリティカルケア看護における思考プロセス</p> <p>第5回：クリティカルケア看護にある患者の全身管理と日常性支援(人工呼吸器)</p> <p>第6回：臨床判断プロセスの可視化</p> <p>第7回：心筋梗塞(事例を基にした看護展開)</p> <p>第8回：手術療法と周術期看護の基本</p> <p>第9回：周術期看護の基盤となる理論と看護展開</p> <p>第10回：術前の患者・家族の看護</p> <p>第11回：術中の患者・家族の看護</p> <p>第12回：術後の患者・家族の看護</p> <p>第13回：術後回復過程における患者・家族の看護</p> <p>第14回：胃切除術を受ける対象の看護(事例展開・演習)</p> <p>第15回：終講試験・まとめ</p>		<p>(担当教員名)</p> <p>有川 幸宏</p> <p>有川 幸宏</p> <p>有川 幸宏</p> <p>有川 幸宏</p> <p>有川 幸宏</p> <p>有川 幸宏</p> <p>有川 幸宏</p> <p>有川 幸宏</p> <p>有川 幸宏</p> <p>有川 幸宏</p> <p>有川 幸宏</p> <p>有川 幸宏</p> <p>有川 幸宏</p> <p>有川 幸宏</p>	
評価方法	終講試験 70% 事例演習(事前学習 10%・グループワークの取り組み 10%、課題提出 10%)			
指定図書	急性期看護クリティカルケア メヂカルフレンド社 周術期看護 メヂカルフレンド社 基礎看護技術Ⅱ 医学書院			
参考書	各疾患患者の看護を参考にして病態、症状、治療、検査、看護を各自学習してください。			
事前・事後学修	第7回と第14回の事例展開においては授業資料やワークシートに沿って、学生各自が事前学習を行う。そのうえで科学的根拠に基づいた看護援助をグループワークにて意見交換を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野Ⅱ 成人看護学

科目名	成人看護方法論Ⅱ	単位 1	時間 30	開校年次 2年次前期
科目責任者	石塚 直子			
科目概要	成人期の特徴をふまえ、家庭や職場・地域社会でさまざまな役割をもつ人々の生活および健康、障害をもつ人の自然回復力を最大限に引き出し、その回復過程に当事者が適応できる看護の役割、健康障害に対する理解を深め、成人期にある人々を支援する看護について学修する。			
到達目標	1、成人期にある対象の健康問題に応じた看護の方法を理解できる。 2、身体の一部を喪失した人の理解及び看護について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉	
	第1回:身体の一部を喪失した人のある人の看護と理解		石塚 直子	
	第2回:患者家族が社会的資源を有効に活用できるための援助		石塚 直子	
	第3回:人工肛門を増設する人の理解 事例提示(大腸がん)		石塚 直子	
	第4回:個人ワーク アセスメント 関連図 看護計画		石塚 直子	
	2回以上 添削しますので グループごとに提出してください			
	第5回:グループワーク アセスメント 関連図 看護計画 まとめ		石塚 直子	
	第6回:人工肛門 演習(手順書は事前に個人で作成)		石塚 直子	
	第7回:演習 振り返り 看護計画に追加		石塚 直子	
	第8回:グループ発表		石塚 直子	
	第9回:咽頭摘出を受けた人の看護 (咽頭がん)		石塚 直子	
	第10回:四肢切断を受けた人の看護		石塚 直子	
	第11回:女性生殖器を喪失した人の看護(乳がん 事例提示)		石塚 直子	
	第12回:個人ワーク アセスメント 看護計画 パンフレット 指導案作成		石塚 直子	
	第13回:2人ペアでパンフレット指導		石塚 直子	
	第14回:子宮がん 講義		石塚 直子	
	第15回:終講試験		石塚 直子	
評価方法	終講試験 70% 各疾患課題提出 30%(事前学習 15% 課題提出 15%)			
指定図書	経過別成人看護学2 周手術期看護 メヂカルフレンド社 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学9女性生殖器医学書院医学誌 系統看護学講座 専門分徹底野Ⅱ 成人看護学10 運動器 医学書院			
参考書	薬理、症状別看護、など関連した教科書がたくさんありますので参考にしてください			
事前・事後学修	各授業の前までに疾患の事前学習はしておいてください。それをもとに授業をすすめていきます。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野Ⅱ 成人看護学

科目名	成人看護学方法論Ⅲ	単位 1	時間 30	開校年次 2年次前期
科目責任者	三ツ野 佐代子			
科目概要	近年増加している慢性疾患を有する患者が折り返いをつけながら疾病コントロールを行っていく看護を学びます。			
到達目標	1. 成人期にある対象の健康問題に応じた看護の方法を理解できる。 2. 生涯にわたり疾病コントロールを必要とする患者の看護を理解できる			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉	
	第 1 回 : 慢性疾患について概要		三ツ野 佐代子	
	第 2 回 : 慢性疾患の特徴 看護の特徴		三ツ野 佐代子	
	第 3 回 : 糖尿病の患者の看護		三ツ野 佐代子	
	第 4 回 : 特尿病の患者の看護:3側面から理解		三ツ野 佐代子	
	第 5 回 : 糖尿病の患者の看護:教育的アプローチ		三ツ野 佐代子	
	第 6 回 : 自己血糖測定の実際 (指導案の作成)		三ツ野 佐代子	
	第 7 回 : 事例演習:自己血糖測定の実際		三ツ野 佐代子	
	第 8 回 ; 事例演習:自己血糖測定の実際		三ツ野 佐代子	
	第 9 回 : 腎機能障害のある患者の看護		三ツ野 佐代子	
	第 10 回 :事例演習:透析導入の対象の看護		三ツ野 佐代子	
	第 11 回 :事例演習:統制導入の対象の看護		三ツ野 佐代子	
	第 12 回 :肝機能障害のある対象の看護		三ツ野 佐代子	
	第 13 回 :事例演習:肝硬変のある対象の看護		三ツ野 佐代子	
	第 14 回 :事例演習:肝硬変のある対象の看護		三ツ野 佐代子	
	第 15 回 :終講試験, まとめ		三ツ野 佐代子	
評価方法	評価の基準は, 以下のとおりとする。 【筆記試験】 終講試験 70% 【レポート】 授業内レポートおよび課題 30%(未提出, 提出遅れ, 内容が不足している場合は減点する)			
指定図書	1 経過別成人看護学③ 慢性期看護 2 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学6 内分泌・代謝 3 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学5 消化器 4 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学8 腎泌尿器			
参考書	1 看護学テキストNICE 成人看護学 慢性期看護 南江堂			
事前・事後学修	糖尿病・腎不全・肝硬変については既習しているため、自己にて再度疾患学習を行う事で学びを深める。(レポートを提出してもらいます)また看護過程の基礎的知識を見直しておく。実習でも受け持つ事が多い疾患です。興味をもって患者理解に努めて下さい。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野Ⅱ 成人看護学

科目名	成人看護方法論Ⅳ 生活行動の障害がある人の看護	単位 1	時間 30	開校年次 2年次後期																																
科目責任者	辻本 あゆみ																																			
科目概要	一次的、長期的に生活行動の障害がある人の理解と看護を学ぶ。COPD 患者の看護をはじめ、様々な障害をもつ人への看護を学ぶ。																																			
到達目標	1. 成人期にある対象の健康問題に応じた看護の方法を理解できる。 2. 生活行動に障害のある人の看護について理解できる。																																			
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">〈授業内容・テーマ等〉</th> <th style="text-align: right;">〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回：生活行動に障害がある人への看護の定義 生活行動に障害がある疾患の特徴</td> <td style="text-align: right;">辻本 あゆみ</td> </tr> <tr> <td>第2回：一時的に生活行動の障がいがある対象の理解</td> <td style="text-align: right;">辻本 あゆみ</td> </tr> <tr> <td>第3回：一時的に生活行動の障がいがある人の看護・理論</td> <td style="text-align: right;">辻本 あゆみ</td> </tr> <tr> <td>第4回：1. 長期にわたり生活行動に障がいのある人の理解 1) 身体的特徴 2) 心理・社会的特徴 3) 社会保障制度</td> <td style="text-align: right;">辻本 あゆみ</td> </tr> <tr> <td>第5回：2. 長期にわたり生活行動に障がいのある人の看護 1) 急性期・回復期におけるケア</td> <td style="text-align: right;">辻本 あゆみ</td> </tr> <tr> <td>第6回：2. 長期にわたり生活行動に障がいのある人の看護 2) 日常生活方法の維持及び拡大</td> <td style="text-align: right;">辻本 あゆみ</td> </tr> <tr> <td>第7回: 事例提示 ①COPD(慢性閉塞性肺疾患)②クモ膜下出血 ② 脊椎損傷</td> <td style="text-align: right;">辻本 あゆみ</td> </tr> <tr> <td>第8回：1) 身体的特徴 2) 心理・社会的特徴</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第9回：3) 指導・心理支援方法 4) 社会保障制度</td> <td style="text-align: right;">辻本 あゆみ</td> </tr> <tr> <td>第10回：演習準備</td> <td style="text-align: right;">辻本 あゆみ</td> </tr> <tr> <td>第11回：事例演習 ①COPD(慢性閉塞性肺疾患)②クモ膜下出血③脊椎損傷</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第12回：事例演習</td> <td style="text-align: right;">辻本 あゆみ</td> </tr> <tr> <td>第13回：事例演習</td> <td style="text-align: right;">辻本 あゆみ</td> </tr> <tr> <td>第14回：事例演習 事例演習振り返り</td> <td style="text-align: right;">辻本 あゆみ</td> </tr> <tr> <td>第15回：終講試験・まとめ</td> <td style="text-align: right;">辻本 あゆみ</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回：生活行動に障害がある人への看護の定義 生活行動に障害がある疾患の特徴	辻本 あゆみ	第2回：一時的に生活行動の障がいがある対象の理解	辻本 あゆみ	第3回：一時的に生活行動の障がいがある人の看護・理論	辻本 あゆみ	第4回：1. 長期にわたり生活行動に障がいのある人の理解 1) 身体的特徴 2) 心理・社会的特徴 3) 社会保障制度	辻本 あゆみ	第5回：2. 長期にわたり生活行動に障がいのある人の看護 1) 急性期・回復期におけるケア	辻本 あゆみ	第6回：2. 長期にわたり生活行動に障がいのある人の看護 2) 日常生活方法の維持及び拡大	辻本 あゆみ	第7回: 事例提示 ①COPD(慢性閉塞性肺疾患)②クモ膜下出血 ② 脊椎損傷	辻本 あゆみ	第8回：1) 身体的特徴 2) 心理・社会的特徴		第9回：3) 指導・心理支援方法 4) 社会保障制度	辻本 あゆみ	第10回：演習準備	辻本 あゆみ	第11回：事例演習 ①COPD(慢性閉塞性肺疾患)②クモ膜下出血③脊椎損傷		第12回：事例演習	辻本 あゆみ	第13回：事例演習	辻本 あゆみ	第14回：事例演習 事例演習振り返り	辻本 あゆみ	第15回：終講試験・まとめ	辻本 あゆみ
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回：生活行動に障害がある人への看護の定義 生活行動に障害がある疾患の特徴	辻本 あゆみ																																			
第2回：一時的に生活行動の障がいがある対象の理解	辻本 あゆみ																																			
第3回：一時的に生活行動の障がいがある人の看護・理論	辻本 あゆみ																																			
第4回：1. 長期にわたり生活行動に障がいのある人の理解 1) 身体的特徴 2) 心理・社会的特徴 3) 社会保障制度	辻本 あゆみ																																			
第5回：2. 長期にわたり生活行動に障がいのある人の看護 1) 急性期・回復期におけるケア	辻本 あゆみ																																			
第6回：2. 長期にわたり生活行動に障がいのある人の看護 2) 日常生活方法の維持及び拡大	辻本 あゆみ																																			
第7回: 事例提示 ①COPD(慢性閉塞性肺疾患)②クモ膜下出血 ② 脊椎損傷	辻本 あゆみ																																			
第8回：1) 身体的特徴 2) 心理・社会的特徴																																				
第9回：3) 指導・心理支援方法 4) 社会保障制度	辻本 あゆみ																																			
第10回：演習準備	辻本 あゆみ																																			
第11回：事例演習 ①COPD(慢性閉塞性肺疾患)②クモ膜下出血③脊椎損傷																																				
第12回：事例演習	辻本 あゆみ																																			
第13回：事例演習	辻本 あゆみ																																			
第14回：事例演習 事例演習振り返り	辻本 あゆみ																																			
第15回：終講試験・まとめ	辻本 あゆみ																																			
評価方法	終講試験 70% 事例演習 30%(事前学習 10%・グループワーク取り組み 10%・課題提出 10%)																																			
指定図書	1. 経過別看護 慢性期看護 メジカルフレンド社 2. 経過別看護 周術期看護 メジカルフレンド社																																			
参考書	対象者は、生活背景や個人因子がさまざま状況にあります。医療体制や社会保障制度についても各専門分野や看護学分野の教科書、副読本等を参考に活用してください。																																			
事前・事後学修	第12回～第14回的事例演習は、あらかじめ配布されたワークシートに沿って、学生各自が事前学習を行う。そのうえで科学的根拠を基に、生活の場に即した日常生活行動援助についてグループワークを行い活発な意見交換を行う。																																			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。																																			

専門分野Ⅱ 老年看護学

科目名	老年看護学概論	単位 1	時間 15	開校年次 1 年次後期																		
科目責任者	三ツ野 佐代子																					
科目概要	超高齢社会である現代の状況を理解し高齢者についての理解を深めます。 高齢者を理解する事で自己の老年観を構築する																					
到達目標	1. 老年期を生きる人々の健康について理解し老化に伴う高齢者の健康状態の理解を深め、老年看護の役割と機能を理解する。 2. 高齢者の生命と人格を尊重する態度を養い自己の老年観を培う。																					
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">(授業内容・テーマ等)</th> <th style="text-align: center;">(担当教員名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回 : 老年期の対象を理解する</td> <td>三ツ野 佐代子</td> </tr> <tr> <td>第 2 回 : 老年期の対象を理解する: 高齢者の多様性</td> <td>三ツ野 佐代子</td> </tr> <tr> <td>第 3 回 : 加齢に伴う変化の特徴について</td> <td>三ツ野 佐代子</td> </tr> <tr> <td>第 4 回 : 加齢に伴う変化を三側面から理解する</td> <td>三ツ野 佐代子</td> </tr> <tr> <td>第 5 回 : 老年期を生きる人々の健康</td> <td>三ツ野 佐代子</td> </tr> <tr> <td>第 6 回 : 高齢者と QOL</td> <td>三ツ野 佐代子</td> </tr> <tr> <td>第 7 回 : 老年看護における倫理的な課題</td> <td>三ツ野 佐代子</td> </tr> <tr> <td>第 8 回 ; 終講試験, まとめ</td> <td>三ツ野 佐代子</td> </tr> </tbody> </table>				(授業内容・テーマ等)	(担当教員名)	第 1 回 : 老年期の対象を理解する	三ツ野 佐代子	第 2 回 : 老年期の対象を理解する: 高齢者の多様性	三ツ野 佐代子	第 3 回 : 加齢に伴う変化の特徴について	三ツ野 佐代子	第 4 回 : 加齢に伴う変化を三側面から理解する	三ツ野 佐代子	第 5 回 : 老年期を生きる人々の健康	三ツ野 佐代子	第 6 回 : 高齢者と QOL	三ツ野 佐代子	第 7 回 : 老年看護における倫理的な課題	三ツ野 佐代子	第 8 回 ; 終講試験, まとめ	三ツ野 佐代子
(授業内容・テーマ等)	(担当教員名)																					
第 1 回 : 老年期の対象を理解する	三ツ野 佐代子																					
第 2 回 : 老年期の対象を理解する: 高齢者の多様性	三ツ野 佐代子																					
第 3 回 : 加齢に伴う変化の特徴について	三ツ野 佐代子																					
第 4 回 : 加齢に伴う変化を三側面から理解する	三ツ野 佐代子																					
第 5 回 : 老年期を生きる人々の健康	三ツ野 佐代子																					
第 6 回 : 高齢者と QOL	三ツ野 佐代子																					
第 7 回 : 老年看護における倫理的な課題	三ツ野 佐代子																					
第 8 回 ; 終講試験, まとめ	三ツ野 佐代子																					
評価方法	<p>評価の基準は、以下のとおりとする。</p> <p>【筆記試験】 終講試験 70%</p> <p>【レポート】 授業内レポートおよび課題 30%(未提出, 提出遅れ, 内容が不足している場合は減点する)</p>																					
指定図書	<p>1 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院</p> <p>2 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論 医学書院</p>																					
参考書	1. 高齢者の健康と障害 老年看護学① メディカ出版																					
事前・事後学修	<p>社会情勢に目をむけ新聞やインターネットなどから高齢者を取り巻く状況を理解する。 老年保健・老年看護方法論に繋がられるよう学んだことの復習を行う。 また普段から高齢者とコミュニケーションを取り、ボランティアに参加するなど触れ合いを多くもち関心を持つことで学習がスムーズに進むと考えます。</p>																					
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。																					

専門分野Ⅱ 老年看護学

科目名	老年保健	単位 1	時間 15	開校年次 1年次後期
科目責任者	三ツ野 佐代子			
科目概要	保健医療福祉の現状を知り老年看護に与える影響や看護師の役割と看護の特徴を理解する			
到達目標	5. 老年期を理解する 6. 高齢者の医療福祉について理解する 7. 高齢者を介護する家族への介護を理解する。			
授業計画	(授業内容・テーマ等) 第1回：人口学的指標・健康指標からの老年期の理解 第2回：生活の視点からの老年期の理解 第3回：高齢者の医療福祉の関連施設における看護 第4回：高齢者の医療福祉の関連施設における看護 第5回：介護家族の生活と健康 第6回：介護家族への看護 第7回：家族介護の課題 第8回；終講試験,まとめ		(担当教員名) 三ツ野 佐代子 三ツ野 佐代子 三ツ野 佐代子 三ツ野 佐代子 三ツ野 佐代子 三ツ野 佐代子 三ツ野 佐代子 三ツ野 佐代子	
評価方法	評価の基準は、以下のとおりとする。 【筆記試験】 終講試験 80% 【レポート】 授業内レポートおよび課題 20%(未提出,提出遅れ,内容が不足している場合は減点する)			
指定図書	1 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 2 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論 医学書院 3 国民衛生の動向 厚生統計協会			
参考書	1. 高齢者の健康と障害 老年看護学① メディカ出版			
事前・事後学修	老年看護学概論で学んだ事を生かし老年期のイメージをしっかりと持ちながら学習に臨む。 社会情勢に目をむけ新聞やインターネットなどから高齢者を取り巻く状況を理解する。 老年看護学方法論Ⅰ・Ⅱに繋がられるよう学んだことの復習を行う。 また普段から高齢者とコミュニケーションを取り、ボランティアに参加するなどして触れ合いを多くもち関心を持つことで学習がスムーズに進むと考えます。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野Ⅱ 老年看護学

科目名	老年看護方法論Ⅰ	単位 1	時間 30	開校年次 2年次前期																																
科目責任者	木下 勝平																																			
科目概要	1. 老年看護における基本技術について学習する。 2. 老年期の看護において、加齢に伴う身体的・心理的・社会的特徴を学び、障害・疾病もつ高齢者の看護について学習する。																																			
到達目標	1. 老年期にある対象の老化と疾病・障害の程度に応じた看護の方法を理解する。																																			
授業計画	<table border="0"> <thead> <tr> <th>〈授業内容・テーマ等〉</th> <th>〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 「高齢者の観察・コミュニケーション・障害受容への看護」</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第2回 「健康生活の維持」「加齢に伴う身体的特徴と看護」 「事故・災害の予防と救急への対応」</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第3回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「白内障」「老人性難聴」</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第4回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「言語障害」「睡眠障害」</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第5回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「骨粗鬆症」「腰椎圧迫骨折」 「大腿骨頸部骨折・転子部骨折」</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第6回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「排尿障害」「排便障害」</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第7回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「誤嚥性肺炎」「脱水」「感染症」</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第8回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「廃用症候群」「褥瘡」「皮膚疾患」</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第9回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「低栄養状態」「摂食・嚥下障害」</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第10回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「パーキンソン病」</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第11回 事例演習:経管栄養(経鼻胃管チューブの挿入と確認、観察)</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第12回 事例演習:経管栄養(経鼻胃管チューブの挿入と確認、観察)</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第13回 事例演習:排泄支援 (おむつ交換、陰部洗浄、失禁のケア、ポータブルトイレの利用)</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第14回 事例演習:排泄支援 (おむつ交換、陰部洗浄、失禁のケア、ポータブルトイレの利用)</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第15回 終講試験・まとめ</td> <td>木下 勝平</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 「高齢者の観察・コミュニケーション・障害受容への看護」	木下 勝平	第2回 「健康生活の維持」「加齢に伴う身体的特徴と看護」 「事故・災害の予防と救急への対応」	木下 勝平	第3回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「白内障」「老人性難聴」	木下 勝平	第4回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「言語障害」「睡眠障害」	木下 勝平	第5回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「骨粗鬆症」「腰椎圧迫骨折」 「大腿骨頸部骨折・転子部骨折」	木下 勝平	第6回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「排尿障害」「排便障害」	木下 勝平	第7回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「誤嚥性肺炎」「脱水」「感染症」	木下 勝平	第8回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「廃用症候群」「褥瘡」「皮膚疾患」	木下 勝平	第9回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「低栄養状態」「摂食・嚥下障害」	木下 勝平	第10回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「パーキンソン病」	木下 勝平	第11回 事例演習:経管栄養(経鼻胃管チューブの挿入と確認、観察)	木下 勝平	第12回 事例演習:経管栄養(経鼻胃管チューブの挿入と確認、観察)	木下 勝平	第13回 事例演習:排泄支援 (おむつ交換、陰部洗浄、失禁のケア、ポータブルトイレの利用)	木下 勝平	第14回 事例演習:排泄支援 (おむつ交換、陰部洗浄、失禁のケア、ポータブルトイレの利用)	木下 勝平	第15回 終講試験・まとめ	木下 勝平
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回 「高齢者の観察・コミュニケーション・障害受容への看護」	木下 勝平																																			
第2回 「健康生活の維持」「加齢に伴う身体的特徴と看護」 「事故・災害の予防と救急への対応」	木下 勝平																																			
第3回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「白内障」「老人性難聴」	木下 勝平																																			
第4回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「言語障害」「睡眠障害」	木下 勝平																																			
第5回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「骨粗鬆症」「腰椎圧迫骨折」 「大腿骨頸部骨折・転子部骨折」	木下 勝平																																			
第6回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「排尿障害」「排便障害」	木下 勝平																																			
第7回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「誤嚥性肺炎」「脱水」「感染症」	木下 勝平																																			
第8回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「廃用症候群」「褥瘡」「皮膚疾患」	木下 勝平																																			
第9回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「低栄養状態」「摂食・嚥下障害」	木下 勝平																																			
第10回 障害・疾病をもつ高齢者の看護:「パーキンソン病」	木下 勝平																																			
第11回 事例演習:経管栄養(経鼻胃管チューブの挿入と確認、観察)	木下 勝平																																			
第12回 事例演習:経管栄養(経鼻胃管チューブの挿入と確認、観察)	木下 勝平																																			
第13回 事例演習:排泄支援 (おむつ交換、陰部洗浄、失禁のケア、ポータブルトイレの利用)	木下 勝平																																			
第14回 事例演習:排泄支援 (おむつ交換、陰部洗浄、失禁のケア、ポータブルトイレの利用)	木下 勝平																																			
第15回 終講試験・まとめ	木下 勝平																																			
評価方法	筆記試験100%																																			
指定図書	1. 老年看護学技術 最後までその人らしく生きることを支援する(改訂第3版)(株)南江堂 2. 老年看護学概論 「老いを生きる」を支えることとは(改訂第3版)(株)南江堂 3. 国民衛生の動向 厚生統計協会																																			
参考書	・生活機能から見た老年看護過程+病態・生活機能関連図 (株)医学書院 ・老年看護 高齢者の健康生活を支える看護 第2版 医歯薬出版株式会社																																			
事前・事後学修	演習にてグループワークや実際に技術演習を行います。講義での振り返りやグループ間での情報共有を行い、臨みましょう。																																			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。																																			

専門分野Ⅱ 老年看護学

科目名	老年看護方法論Ⅱ	単位 1	時間 30	開校年次 2年次後期																																
科目責任者	木下 勝平																																			
科目概要	<p>1. 既習した薬理学・薬物動態を基に高齢者における薬物動態、服薬管理について学び、高齢者の特徴からそれぞれの場面での看護について学習する。</p> <p>2. 1の学習を基に老年期における終末期について考え、家族を含めた終末期看護、また看取りを終えた家族への看護について学習する。</p> <p>3. 高齢者に多い疾患について事例をもとに看護展開を行う。</p>																																			
到達目標	1. 老年期にある対象の老化と疾病・障害の程度に応じた看護の方法を理解する。																																			
授業計画	<table border="0"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">(授業内容・テーマ等)</th> <th style="text-align: center;">(担当教員名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 治療を受ける高齢者への看護:薬物療法</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第2回 治療を受ける高齢者への看護:手術療法</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第3回 治療を受ける高齢者への看護:受療形態に応じた看護</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第4回 終末期にある高齢者への看護:終末期の定義・特徴・倫理的問題</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第5回 終末期にある高齢者への看護:終末期の看護・看護師の役割</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第6回 看取りを終えた家族への看護:家族の心理と看護・グリーフケア</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第7回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第8回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第9回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第10回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第11回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第12回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第13回 事例演習グループ発表:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第14回 事例演習グループ発表:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護</td> <td>木下 勝平</td> </tr> <tr> <td>第15回 終講試験・まとめ</td> <td>木下 勝平</td> </tr> </tbody> </table>				(授業内容・テーマ等)	(担当教員名)	第1回 治療を受ける高齢者への看護:薬物療法	木下 勝平	第2回 治療を受ける高齢者への看護:手術療法	木下 勝平	第3回 治療を受ける高齢者への看護:受療形態に応じた看護	木下 勝平	第4回 終末期にある高齢者への看護:終末期の定義・特徴・倫理的問題	木下 勝平	第5回 終末期にある高齢者への看護:終末期の看護・看護師の役割	木下 勝平	第6回 看取りを終えた家族への看護:家族の心理と看護・グリーフケア	木下 勝平	第7回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平	第8回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平	第9回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平	第10回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平	第11回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平	第12回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平	第13回 事例演習グループ発表:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平	第14回 事例演習グループ発表:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平	第15回 終講試験・まとめ	木下 勝平
(授業内容・テーマ等)	(担当教員名)																																			
第1回 治療を受ける高齢者への看護:薬物療法	木下 勝平																																			
第2回 治療を受ける高齢者への看護:手術療法	木下 勝平																																			
第3回 治療を受ける高齢者への看護:受療形態に応じた看護	木下 勝平																																			
第4回 終末期にある高齢者への看護:終末期の定義・特徴・倫理的問題	木下 勝平																																			
第5回 終末期にある高齢者への看護:終末期の看護・看護師の役割	木下 勝平																																			
第6回 看取りを終えた家族への看護:家族の心理と看護・グリーフケア	木下 勝平																																			
第7回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平																																			
第8回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平																																			
第9回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平																																			
第10回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平																																			
第11回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平																																			
第12回 看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平																																			
第13回 事例演習グループ発表:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平																																			
第14回 事例演習グループ発表:「大腿骨頸部骨折」「脳梗塞」患者の看護	木下 勝平																																			
第15回 終講試験・まとめ	木下 勝平																																			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験:90% ・グループ演習:10% 																																			
指定図書	<p>1.老年看護学技術 最後までその人らしく生きることを支援する(改訂第3版)(株)南江堂</p> <p>2.老年看護学概論 「老いを生きる」を支えることとは(改訂第3版)(株)南江堂</p>																																			
参考書	各専門分野や看護学分野の教科書、副読本等を参考に活用してください。																																			
事前・事後学修	演習にてグループワークや実際に技術演習を行います。講義での振り返りやグループ間での情報共有を行い、臨みましょう。																																			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。																																			

専門分野Ⅱ 小児看護学

科目名	小児看護学概論	単位 1	時間 15	開校年次 1年次後期
科目責任者	上田平 昌代			
科目概要	看護の対象である小児の特性について学ぶ。また、小児を取り巻く環境が小児にどのような影響を与えているかを理解し、子どもにとってよりよい環境とは何かについて学ぶ。さらに、子どもの権利について学習することで、子どもの最善の利益にかなう医療・看護について学習する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児期の区分と各期における特徴を理解する。 2. 看護の対象である小児と家族の現状とその背景を理解し、小児にとってよりよい家族について考えることができる。 3. 子どもを取り巻く環境について理解し、環境が子どもに与える影響について理解できる。 4. 子どもの権利について学ぶことで、子どもの最善の利益にかなう医療・看護について理解できる。 			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第 1 回 : 発達段階からみた小児の区分 第 2 回 : 小児を取り巻く環境(小児と家族) 第 3 回 : 小児を取り巻く環境(子どもにとってよりよい環境とは) 第 4 回 : 小児看護における倫理 第 5 回 : 小児看護における倫理 第 6 回 : 小児保健の動向と小児保健統計 第 7 回 : 小児観・家族観 第 8 回 : 終講試験・まとめ		〈担当教員名〉 上田平 昌代 上田平 昌代 上田平 昌代 上田平 昌代 上田平 昌代 上田平 昌代 上田平 昌代 上田平 昌代	
評価方法	評価の基準は、以下のとおりとする。 【筆記試験】 終講試験 80% 【レポート】 授業内レポートおよび課題 20%(未提出, 提出遅れ, 内容が不足している場合は減点する)			
指定図書	1. 系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院			
参考書	1. 国民衛生の動向 厚生統計協会			
事前・事後学修	第 2 回, 第 3 回の「小児を取り巻く環境」でグループワークを行う。グループワークを行う際は、事前に個々の意見をまとめた上でグループワークに臨むようにする。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野Ⅱ 小児看護学

科目名	小児保健	単位 1	時間 30	開校年次 2年次前期
科目責任者	上田平 昌代			
科目概要	小児の成長発達を理解し、発達段階に応じた日常生活の支援について学習する。また、現在小児が抱える健康問題にも着目し、健康の保持増進のための支援についても学習する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の成長発達について理解し、成長発達段階に応じた日常生活の援助方法について理解できる。 2. 小児と家族に対する健康保持増進への援助について学ぶ。 			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉	
	第 1回 : 成長・発達の原則と影響因子		上田平 昌代	
	第 2回 : 生活を支える形態的成長, 発達評価と家庭環境アセスメント		上田平 昌代	
	第 3回 : 生命を維持し恒常性を保つ機能の発達		上田平 昌代	
	第 4回 : 生命を維持し恒常性を保つ機能の発達		上田平 昌代	
	第 5回 : 生命を維持し恒常性を保つ機能の発達		上田平 昌代	
	第 6回 : 精神運動機能・心理社会的発達		上田平 昌代	
	第 7回 : 認知・思考の発達		上田平 昌代	
	第 8回 : 遊びの発達, 性の発達		上田平 昌代	
	第 9回 : 発達課題		上田平 昌代	
	第 10回 : 小児の発達段階に応じた世話と健康増進のための看護(食事)		上田平 昌代	
	第 11回 : 小児の発達段階に応じた世話と健康増進のための看護(食事)		上田平 昌代	
	第 12回 : 小児の発達段階に応じた世話と健康増進のための看護(睡眠・排泄)		上田平 昌代	
	第 13回 : 小児の発達段階に応じた世話と健康増進のための看護(清潔)		上田平 昌代	
	第 14回 : 母子保健対策		上田平 昌代	
	第 15回 : 終講試験・まとめ		上田平 昌代	
評価方法	終講試験 100%			
指定図書	1. 新体系 看護学全書 小児看護学① 小児看護学概論/小児保健 メヂカルフレンド社			
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 舟島なおみ:看護のための人間発達学 第2版 医学書院 2. 木口チヨ:イラスト小児の生活援助 文光堂 3. 高橋道子:子どもの発達心理学 新曜社 			
事前・事後学修	毎回授業テーマの教科書の該当箇所を熟読し、事前学習を行ってください。また、毎回授業開始時確認テストを実施します。授業が終了したら各自復習を行い、確認テストに備えましょう。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野Ⅱ 小児看護学

科目名	小児看護方法論Ⅰ	単位 1	時間 30	開校年次 2年次後期																																
科目責任者	上田平 昌代																																			
科目概要	健康問題や入院が小児と家族に与える影響を学習し、健康障害をもつ小児と家族に適切な看護を提供するために必要な知識と技術について学ぶ。																																			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児看護における快適な病院環境について理解できる。 2. 健康問題/障害および入院が小児と家族に及ぼす影響について理解できる。 3. 小児にみられる主な症状と症状の回復に向けた看護の方法について理解できる。 4. 経過別(急性期・慢性期・ターミナル期)の各期の特徴を理解し看護について理解できる。 5. 事例を通して看護過程の展開(情報収集, アセスメント, 問題点の抽出, 看護計画の立案)ができる。 																																			
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉</th> <th style="text-align: center;">〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回 : 小児看護の対象と目標, 快適な病院環境に向けての看護</td> <td>上田平 昌代</td> </tr> <tr> <td>第 2 回 : 快適な病院環境に向けての看護(安全管理)</td> <td>上田平 昌代</td> </tr> <tr> <td>第 3 回 : 小児看護の場と看護の特徴(外来看護)</td> <td>上田平 昌代</td> </tr> <tr> <td>第 4 回 : 小児看護の場と看護の特徴(在宅看護)</td> <td>上田平 昌代</td> </tr> <tr> <td>第 5 回 : 健康問題/障害および入院が小児と家族に及ぼす影響</td> <td>上田平 昌代</td> </tr> <tr> <td>第 6 回 : 健康問題/障害および入院が小児と家族に及ぼす影響</td> <td>上田平 昌代</td> </tr> <tr> <td>第 7 回 : 小児にみられる主な症状と看護</td> <td>上田平 昌代</td> </tr> <tr> <td>第 8 回 : 小児にみられる主な症状と看護</td> <td>上田平 昌代</td> </tr> <tr> <td>第 9 回 ; 小児にみられる主な症状と看護</td> <td>上田平 昌代</td> </tr> <tr> <td>第 10 回 ; 小児にみられる主な症状と看護</td> <td>上田平 昌代</td> </tr> <tr> <td>第 11 回 ; 急性的経過をたどる健康問題/看護</td> <td>上田平 昌代</td> </tr> <tr> <td>第 12 回 ; 慢性的経過をたどる健康問題/看護</td> <td>上田平 昌代</td> </tr> <tr> <td>第 13 回 ; ターミナル期に至る健康問題/障害と看護</td> <td>上田平 昌代</td> </tr> <tr> <td>第 14 回 ; 急性期/慢性期における事例展開</td> <td>上田平 昌代</td> </tr> <tr> <td>第 15 回 ; 終講試験, まとめ</td> <td>上田平 昌代</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第 1 回 : 小児看護の対象と目標, 快適な病院環境に向けての看護	上田平 昌代	第 2 回 : 快適な病院環境に向けての看護(安全管理)	上田平 昌代	第 3 回 : 小児看護の場と看護の特徴(外来看護)	上田平 昌代	第 4 回 : 小児看護の場と看護の特徴(在宅看護)	上田平 昌代	第 5 回 : 健康問題/障害および入院が小児と家族に及ぼす影響	上田平 昌代	第 6 回 : 健康問題/障害および入院が小児と家族に及ぼす影響	上田平 昌代	第 7 回 : 小児にみられる主な症状と看護	上田平 昌代	第 8 回 : 小児にみられる主な症状と看護	上田平 昌代	第 9 回 ; 小児にみられる主な症状と看護	上田平 昌代	第 10 回 ; 小児にみられる主な症状と看護	上田平 昌代	第 11 回 ; 急性的経過をたどる健康問題/看護	上田平 昌代	第 12 回 ; 慢性的経過をたどる健康問題/看護	上田平 昌代	第 13 回 ; ターミナル期に至る健康問題/障害と看護	上田平 昌代	第 14 回 ; 急性期/慢性期における事例展開	上田平 昌代	第 15 回 ; 終講試験, まとめ	上田平 昌代
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第 1 回 : 小児看護の対象と目標, 快適な病院環境に向けての看護	上田平 昌代																																			
第 2 回 : 快適な病院環境に向けての看護(安全管理)	上田平 昌代																																			
第 3 回 : 小児看護の場と看護の特徴(外来看護)	上田平 昌代																																			
第 4 回 : 小児看護の場と看護の特徴(在宅看護)	上田平 昌代																																			
第 5 回 : 健康問題/障害および入院が小児と家族に及ぼす影響	上田平 昌代																																			
第 6 回 : 健康問題/障害および入院が小児と家族に及ぼす影響	上田平 昌代																																			
第 7 回 : 小児にみられる主な症状と看護	上田平 昌代																																			
第 8 回 : 小児にみられる主な症状と看護	上田平 昌代																																			
第 9 回 ; 小児にみられる主な症状と看護	上田平 昌代																																			
第 10 回 ; 小児にみられる主な症状と看護	上田平 昌代																																			
第 11 回 ; 急性的経過をたどる健康問題/看護	上田平 昌代																																			
第 12 回 ; 慢性的経過をたどる健康問題/看護	上田平 昌代																																			
第 13 回 ; ターミナル期に至る健康問題/障害と看護	上田平 昌代																																			
第 14 回 ; 急性期/慢性期における事例展開	上田平 昌代																																			
第 15 回 ; 終講試験, まとめ	上田平 昌代																																			
評価方法	終講試験 100%																																			
指定図書	1. 新体系 看護学全書 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護 メジカルフレンド社																																			
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「新体系看護学28 小児看護学① 「小児看護概論・小児保健」メジカルフレンド社 2. はやく元気になーれ 医学書院 																																			
事前・事後学修	積極的に子どもの書いた手記を読み、健康障害をもつ小児の心理面を理解すること。主要症状の看護や経過別看護については、第 14 回の事例展開や臨地実習で活用できるように小児の解剖学的特徴を踏まえた上で理解するように努める。																																			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。																																			

専門分野Ⅱ 小児看護学方法論Ⅰ

科目名	小児看護学方法論Ⅱ	単位 1	時間 30	開校年次 2年次後期
科目責任者	原園 伸子			
科目概要	小児の発達段階と健康レベルをふまえ、健康障害および発達段階をもつ症に及び家族への看護援助を理解し、基本的な技術と態度を学ぶ。小児看護概論、小児保健、小児看護学方法論Ⅰで学習した知識・技術を、事例展開や演習を活用して実践し、小児と家族のより適切な援助や養護の重要性の理解を深める。			
到達目標	1. 小児期にある対象の健康問題の解決に必要な基礎的知識を理解する。 2. 小児看護の基本的技術を習得する。			
授業計画	<p>(授業内容・テーマ等) (担当教員名)</p> <p>第1回：治療処置、検査を受ける小児と家族 原園 伸子</p> <p>第2回：救急処置を要する小児と家族 原園 伸子</p> <p>第3回：活動制限を必要とする小児と家族 原園 伸子</p> <p>第4回：感染防止の必要がある小児と家族 原園 伸子</p> <p>第5回：痛みのある小児と看護 原園 伸子</p> <p>第6回：被虐待が疑われる小児と家族 原園 伸子</p> <p>第7回：先天的な問題をもつ小児と家族 原園 伸子</p> <p>第8回：障害のある小児と家族 原園 伸子</p> <p>第9回：手術を受ける小児と家族 原園 伸子</p> <p>第10回：災害を受けた小児と家族 原園 伸子</p> <p>第11回：基本となる小児看護技術 原園 伸子</p> <p>1)コミュニケーション技術 2)フィジカルアセスメント</p> <p>3)診療に伴う援助技術</p> <p>(1)輸液管理・与薬 (2)呼吸管理(吸引・体位ドレナージ・吸入・酸素療法)</p> <p>(3)経管栄養法 (4)検体採取(採血・採尿) (5)腰椎穿刺・骨髄穿刺</p> <p>4)指導技術</p> <p>第12回：事例展開 原園 伸子・上田平昌代</p> <p>第13回：事例展開 原園 伸子・上田平昌代</p> <p>第14回：事例展開 原園 伸子・上田平昌代</p> <p>第15回：終講テスト 筆記試験 原園 伸子</p>			
評価方法	筆記試験			
指定図書	1. 新体系看護学29 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護 メヂカルフレンド社 2. 小児看護技術 子どもと家族の力を引き出す技 南江堂			
参考書	適時紹介します。			
事前・事後学修	1. 健康障害をもつ子どもの手記など積極的に読み、健康障害が子ども、その家族に与える影響を理解するようにしましょう。 2. 小児看護技術に関しては、自主的にビデオを視聴しましょう。臨地実習前に積極的に自己演習を行い技術の向上に努めていきましょう。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野Ⅱ 小児看護学方法論Ⅰ

科目名	小児看護学方法論Ⅱ	単位 1	時間 30	開校年次 3年次前期
科目責任者	原園 伸子			
科目概要	小児の発達段階と健康レベルをふまえ、健康障害および発達段階をもつ症に及び家族への看護援助を理解し、基本的な技術と態度を学ぶ。小児看護概論、小児保健、小児看護学方法論Ⅰで学習した知識・技術を、事例展開や演習を活用して実践し、小児と家族のより適切な援助や養護の重要性の理解を深める。			
到達目標	1. 小児期にある対象の健康問題の解決に必要な基礎的知識を理解する。 2. 小児看護の基本的技術を習得する。			
授業計画	<p>(授業内容・テーマ等) (担当教員名)</p> <p>第1回：治療処置、検査を受ける小児と家族 原園 伸子</p> <p>第2回：救急処置を要する小児と家族 原園 伸子</p> <p>第3回：活動制限を必要とする小児と家族 原園 伸子</p> <p>第4回：感染防止の必要がある小児と家族 原園 伸子</p> <p>第5回：痛みのある小児と看護 原園 伸子</p> <p>第6回：被虐待が疑われる小児と家族 原園 伸子</p> <p>第7回：先天的な問題をもつ小児と家族 原園 伸子</p> <p>第8回：障害のある小児と家族 原園 伸子</p> <p>第9回：手術を受ける小児と家族 原園 伸子</p> <p>第10回：災害を受けた小児と家族 原園 伸子</p> <p>第11回：基本となる小児看護技術 原園 伸子</p> <p>1)コミュニケーション技術 2)フィジカルアセスメント</p> <p>3)診療に伴う援助技術</p> <p>(1)輸液管理・与薬 (2)呼吸管理(吸引・体位ドレナージ・吸入・酸素療法)</p> <p>(3)経管栄養法 (4)検体採取(採血・採尿) (5)腰椎穿刺・骨髄穿刺</p> <p>4)指導技術</p> <p>第12回：事例展開 原園 伸子・上田平昌代</p> <p>第13回：事例展開 原園 伸子・上田平昌代</p> <p>第14回：事例展開 原園 伸子・上田平昌代</p> <p>第15回：終講テスト 筆記試験 原園 伸子</p>			
評価方法	筆記試験			
指定図書	1. 新体系看護学29 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護 メヂカルフレンド社 2. 小児看護技術 子どもと家族の力を引き出す技 南江堂			
参考書	適時紹介します。			
事前・事後学修	1. 健康障害をもつ子どもの手記など積極的に読み、健康障害が子ども、その家族に与える影響を理解するようにしましょう。 2. 小児看護技術に関しては、自主的にビデオを視聴しましょう。臨地実習前に積極的に自己演習を行い技術の向上に努めていきましょう。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野Ⅱ 母性看護学

科目名	母性看護学概論	単位 1	時間 15	開校年次 1年次 後期																										
科目責任者	原田 美由紀																													
科目概要	母性の概念と母性看護の役割を理解し性と生殖に関する基礎的知識を基に事例演習を通して性の価値観と看護者としての倫理観を養う。																													
到達目標	<p>1. 母性とはなにか、親になる事の意味を生物学的・発達心理学的・社会文化的に考えることを通して母性について幅広く考えることができる。</p> <p>2. 母性をめぐるさまざまな定義(セクシュアリティの概念・リプロダクティブヘルス/ライツ)を理解することができる。</p> <p>3. 性と生殖に関する権利「生む性・生まない性・産めない性」について考えることができる。</p>																													
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉</td> <td style="text-align: right;">〈担当教員名〉</td> </tr> <tr> <td>第1回：母性の概念(母性とは・母性の発達)</td> <td style="text-align: right;">原田 美由紀</td> </tr> <tr> <td>第2回：母性看護の意義(看護とは課題と展望)</td> <td style="text-align: right;">原田 美由紀</td> </tr> <tr> <td>母性看護の対象理解(女性のライフサイクルにおける形態・機能変化)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>女性のライフサイクルと家族</td> <td></td> </tr> <tr> <td>母性の発達・成熟・継承</td> <td style="text-align: right;">原田 美由紀</td> </tr> <tr> <td>第3回：リプロダクティブヘルス/ライツ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>セクシュアリティ、ジェンダー、父性・親性とは</td> <td style="text-align: right;">原田 美由紀</td> </tr> <tr> <td>第4回：生命倫理(出生前診断・人工妊娠中絶・生殖補助医療)</td> <td style="text-align: right;">原田 美由紀</td> </tr> <tr> <td>第5回：事例演習</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「生む性・産まない性・生めない性」について①グループワークによる事例分析</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第6回：「生む性・産まない性・生めない性」についてディベート</td> <td style="text-align: right;">原田 美由紀</td> </tr> <tr> <td>第7回：終講試験・まとめ</td> <td style="text-align: right;">原田 美由紀</td> </tr> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回：母性の概念(母性とは・母性の発達)	原田 美由紀	第2回：母性看護の意義(看護とは課題と展望)	原田 美由紀	母性看護の対象理解(女性のライフサイクルにおける形態・機能変化)		女性のライフサイクルと家族		母性の発達・成熟・継承	原田 美由紀	第3回：リプロダクティブヘルス/ライツ		セクシュアリティ、ジェンダー、父性・親性とは	原田 美由紀	第4回：生命倫理(出生前診断・人工妊娠中絶・生殖補助医療)	原田 美由紀	第5回：事例演習		「生む性・産まない性・生めない性」について①グループワークによる事例分析		第6回：「生む性・産まない性・生めない性」についてディベート	原田 美由紀	第7回：終講試験・まとめ	原田 美由紀
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																													
第1回：母性の概念(母性とは・母性の発達)	原田 美由紀																													
第2回：母性看護の意義(看護とは課題と展望)	原田 美由紀																													
母性看護の対象理解(女性のライフサイクルにおける形態・機能変化)																														
女性のライフサイクルと家族																														
母性の発達・成熟・継承	原田 美由紀																													
第3回：リプロダクティブヘルス/ライツ																														
セクシュアリティ、ジェンダー、父性・親性とは	原田 美由紀																													
第4回：生命倫理(出生前診断・人工妊娠中絶・生殖補助医療)	原田 美由紀																													
第5回：事例演習																														
「生む性・産まない性・生めない性」について①グループワークによる事例分析																														
第6回：「生む性・産まない性・生めない性」についてディベート	原田 美由紀																													
第7回：終講試験・まとめ	原田 美由紀																													
評価方法	<p>終講試験 80%</p> <p>事例演習 10%(グループワーク取り組 10% ・ ディベート評価 10%)</p>																													
指定図書	1.系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① 医学書院																													
参考書	<p>1.新体系 看護学全書 母性看護学① 母性看護学概論 ウイメンズヘルスと看護</p> <p>2.NICU 母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル 生涯を通じた性と生殖の健康を支える 南江堂</p>																													
事前・事後学修	第5回～第6回的事例演習はあらかじめ配布されたキーワードを基に各自が事前学習を行う。そのうえでグループワークを行い活発な意見交換を行う。																													
実務経験のある教員による実践的授業	助産師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。																													

専門分野Ⅱ 母性看護学

科目名	母性保健	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 前期
科目責任者	原田 美由紀			
科目概要	女性の一生を通じた母性の健康の保持・増進を目指した看護を基盤として、次世代の健全育成を目指す看護について学習する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 母性の健康を維持・増進するための基礎的知識を学ぶ。 母子を取り巻く現状と対策を理解する。 女性のライフサイクルにおける各期の特徴を理解し、母性保健活動の役割を学ぶ。 			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉	
	第1回：母性保健の目的と現状、母性の健康と環境		原田 美由紀	
	第2回：母性看護に関する統計		原田 美由紀	
	第3回：母性を取り巻く組織と法律		原田 美由紀	
	第4回：母性保健の現状と展望、母子を支える社会・組織		原田 美由紀	
	第5回：女性のライフサイクル各期の保健(思春期・成熟期・更年期・老年期)		原田 美由紀	
	第6回：演習①グループワークによる保健指導案作成		原田 美由紀	
	第7回：演習②		原田 美由紀	
	第8回：演習③		原田 美由紀	
	第9回：ライフサイクル各期の保健指導についてグループ発表・講評		原田 美由紀	
	第10回：母性各期の健康問題と看護(思春期・成熟期・更年期・老年期)		原田 美由紀	
	第11回：演習①健康問題と看護についてグループワーク		原田 美由紀	
	第12回：演習②		原田 美由紀	
	第13回：演習③		原田 美由紀	
	第14回：健康問題と看護についてグループ発表・講評		原田 美由紀	
	第15回：終講試験・まとめ		原田 美由紀	
評価方法	終講試験 80% 演習 20%(事前レポート 10%・グループワークに取り組み姿勢 10%)			
指定図書	<ol style="list-style-type: none"> 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① 医学書院 国民衛生の動向 2019/2020 一般財団法人 厚生労働統計協会 			
参考書	1.ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 母性看護実践の基本			
事前・事後学修	第6回～第9回、第11回～第14回の演習は、学生各自が事前学習を行いその上グループワークを行い活発な意見交換を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	助産師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野Ⅱ 母性看護学

科目名	母性看護方法論Ⅰ	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 前期																																
科目責任者	岩元 妙子・山下 百恵																																			
科目概要	正常経過にある妊産婦の看護について学ぶ。また、対象のニーズや対象を取り巻く家族も含めた看護援助について学習する。																																			
到達目標	<p>1.妊娠・分娩の正常な経過を知り、その維持・促進のための看護を学ぶことができる。</p> <p>2.子どもの誕生に伴う家族の役割への援助について学ぶことができる。</p> <p>3.正常からの逸脱を予測してその予防と看護について学ぶことができる。</p>																																			
授業計画	<table border="0"> <thead> <tr> <th>〈授業内容・テーマ等〉</th> <th>〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回：正常妊娠の経過と看護①妊娠の成立と正常な経過</td> <td>岩元 妙子</td> </tr> <tr> <td>第2回：正常妊娠の経過と看護②妊娠の身体的特徴</td> <td>岩元 妙子</td> </tr> <tr> <td>第3回：正常妊娠の経過と看護③妊娠の心理・社会的特徴</td> <td>岩元 妙子</td> </tr> <tr> <td>第4回：正常妊娠の経過と看護④妊婦の健康管理の方法</td> <td>岩元 妙子</td> </tr> <tr> <td>第5回：正常妊娠の経過と看護⑤妊婦の日常生活とセルフケア(妊婦体操)</td> <td>岩元 妙子</td> </tr> <tr> <td>第6回：正常妊娠の経過と看護⑥妊婦の診察とその介助の実際 (腹囲、子宮底測定、レオポルド四段診察法)</td> <td>岩元 妙子</td> </tr> <tr> <td>第7回：産婦の特徴とその状況に応じた看護①分娩の機序と経過</td> <td>山下 百恵</td> </tr> <tr> <td>第8回：産婦の特徴とその状況に応じた看護②産婦の看護(分娩の方法・産痛緩和など)</td> <td>山下 百恵</td> </tr> <tr> <td>第9回：産婦の特徴とその状況に応じた看護③産婦の看護 (産婦の特徴と看護のアセスメント)</td> <td>山下 百恵</td> </tr> <tr> <td>第10回：産婦の特徴とその状況に応じた看護④産婦の看護 (産婦の特徴と看護のアセスメント)</td> <td>山下 百恵</td> </tr> <tr> <td>第11回：産婦の特徴とその状況に応じた看護⑤胎児心音の観察</td> <td>山下 百恵</td> </tr> <tr> <td>第12回：妊娠中に起こりやすい異常の看護①(流産・早産、妊娠高血圧症候群)</td> <td>岩元 妙子</td> </tr> <tr> <td>第13回：妊娠中に起こりやすい異常の看護②(常位胎盤早期剥離、前置胎盤など)</td> <td>岩元 妙子</td> </tr> <tr> <td>第14回：ハイリスク妊娠と看護</td> <td>岩元 妙子</td> </tr> <tr> <td>第15回：終講試験・まとめ</td> <td>岩元 妙子・山下 百恵</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回：正常妊娠の経過と看護①妊娠の成立と正常な経過	岩元 妙子	第2回：正常妊娠の経過と看護②妊娠の身体的特徴	岩元 妙子	第3回：正常妊娠の経過と看護③妊娠の心理・社会的特徴	岩元 妙子	第4回：正常妊娠の経過と看護④妊婦の健康管理の方法	岩元 妙子	第5回：正常妊娠の経過と看護⑤妊婦の日常生活とセルフケア(妊婦体操)	岩元 妙子	第6回：正常妊娠の経過と看護⑥妊婦の診察とその介助の実際 (腹囲、子宮底測定、レオポルド四段診察法)	岩元 妙子	第7回：産婦の特徴とその状況に応じた看護①分娩の機序と経過	山下 百恵	第8回：産婦の特徴とその状況に応じた看護②産婦の看護(分娩の方法・産痛緩和など)	山下 百恵	第9回：産婦の特徴とその状況に応じた看護③産婦の看護 (産婦の特徴と看護のアセスメント)	山下 百恵	第10回：産婦の特徴とその状況に応じた看護④産婦の看護 (産婦の特徴と看護のアセスメント)	山下 百恵	第11回：産婦の特徴とその状況に応じた看護⑤胎児心音の観察	山下 百恵	第12回：妊娠中に起こりやすい異常の看護①(流産・早産、妊娠高血圧症候群)	岩元 妙子	第13回：妊娠中に起こりやすい異常の看護②(常位胎盤早期剥離、前置胎盤など)	岩元 妙子	第14回：ハイリスク妊娠と看護	岩元 妙子	第15回：終講試験・まとめ	岩元 妙子・山下 百恵
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回：正常妊娠の経過と看護①妊娠の成立と正常な経過	岩元 妙子																																			
第2回：正常妊娠の経過と看護②妊娠の身体的特徴	岩元 妙子																																			
第3回：正常妊娠の経過と看護③妊娠の心理・社会的特徴	岩元 妙子																																			
第4回：正常妊娠の経過と看護④妊婦の健康管理の方法	岩元 妙子																																			
第5回：正常妊娠の経過と看護⑤妊婦の日常生活とセルフケア(妊婦体操)	岩元 妙子																																			
第6回：正常妊娠の経過と看護⑥妊婦の診察とその介助の実際 (腹囲、子宮底測定、レオポルド四段診察法)	岩元 妙子																																			
第7回：産婦の特徴とその状況に応じた看護①分娩の機序と経過	山下 百恵																																			
第8回：産婦の特徴とその状況に応じた看護②産婦の看護(分娩の方法・産痛緩和など)	山下 百恵																																			
第9回：産婦の特徴とその状況に応じた看護③産婦の看護 (産婦の特徴と看護のアセスメント)	山下 百恵																																			
第10回：産婦の特徴とその状況に応じた看護④産婦の看護 (産婦の特徴と看護のアセスメント)	山下 百恵																																			
第11回：産婦の特徴とその状況に応じた看護⑤胎児心音の観察	山下 百恵																																			
第12回：妊娠中に起こりやすい異常の看護①(流産・早産、妊娠高血圧症候群)	岩元 妙子																																			
第13回：妊娠中に起こりやすい異常の看護②(常位胎盤早期剥離、前置胎盤など)	岩元 妙子																																			
第14回：ハイリスク妊娠と看護	岩元 妙子																																			
第15回：終講試験・まとめ	岩元 妙子・山下 百恵																																			
評価方法	終講試験 100%(各 50%)																																			
指定図書	1.系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 医学書院																																			
参考書	適宜紹介します。																																			
事前・事後学修	<p>事前学習は、授業の最後に、次回授業までの課題を提示する。</p> <p>事後学修は、授業内容を問うミニテスト出題し振り返りを行う。</p>																																			
実務経験のある教員による実践的授業	助産師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。																																			

専門分野Ⅱ 母性看護学

科目名	母性看護方法論Ⅱ	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 後期
科目責任者	岩元 妙子 山下 百恵 原田美由紀			
科目概要	褥婦および新生児の正常を理解し、対象者のアセスメントを行い看護援助に必要な基礎的な知識・技術を学習する。			
到達目標	1.褥婦の特徴を理解し、その状況に応じた看護を学ぶ。 2.新生児の生理的变化、正常な経過を理解し母子に対する看護を学ぶ。 3.分娩期・産褥期・新生児期の異常における看護を学ぶ。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回：正常産褥の経過と看護①母体の全身の変化・退行性変化・進行性変化 第2回：正常産褥の経過と看護②母乳分泌 第3回：褥婦の看護①褥婦の全体像、特徴と看護のアセスメント 第4回：褥婦の看護②子宮復古現象の促進、保健指導 第5回：褥婦の看護③産褥期に母乳ケア 第6回：新生児の経過と看護①正常な新生児の生理と経過 第7回：新生児の経過と看護②新生児の看護 第8回：分娩期に起こりやすい異常と看護①分娩第3期の異常 第9回：分娩期に起こりやすい異常と看護②胎児ジストレス出現時の看護、帝王切開術の適応と看護 第10回：産褥期に起こりやすい異常と看護 第11回：新生児期に起こりやすい異常と看護 第12回：①産褥の事例看護過程の展開 第13回：②新生児の事例看護過程の展開 第14回：技術演習(新生児のバイタルサイン測定・沐浴・臍処置) 第15回：終講試験・まとめ			〈担当教員名〉 原田 美由紀 山下 百恵 原田 美由紀 原田 美由紀 山下 百恵 原田 美由紀 原田 美由紀 岩元 妙子 山下 百恵 岩元 妙子 岩元 妙子 原田 美由紀 原田 美由紀 岩元 妙子・山下 百恵・原田 美由紀
評価方法	終講試験(外来講師 40%、学内教員 60%)			
指定図書	1.系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 医学書院 2.看護の実践のための根拠がわかる 母性看護技術 メヂカルフレンド社			
参考書	1. ウェルネスからみた 母子看護過程 第2版 医学書院			
事前・事後学修	第12回～第13回の事例展開は各自で事前学習や既習内容を踏まえて行う。また、第14回の演習は事前に技術の手順書を作成し演習に臨む。			
実務経験のある教員による実践的授業	助産師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野Ⅱ 母性看護学

科目名	母性看護方法論Ⅱ	単位 1	時間 30	開校年次 3年次 前期
科目責任者	岩元 妙子 山下 百恵 川畑 晶子			
科目概要	褥婦および新生児の正常を理解し、対象者のアセスメントを行い看護援助に必要な基礎的な知識・技術を学習する。			
到達目標	1.褥婦の特徴を理解し、その状況に応じた看護を学ぶ。 2.新生児の生理的変化、正常な経過を理解し母子に対する看護を学ぶ。 3.分娩期・産褥期・新生児期の異常における看護を学ぶ。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉	
	第1回：正常産褥の経過と看護①母体の全身の変化・退行性変化・進行性変化		川畑 晶子	
	第2回：正常産褥の経過と看護②母乳分泌		山下 百恵	
	第3回：褥婦の看護①褥婦の全体像、特徴と看護のアセスメント		川畑 晶子	
	第4回：褥婦の看護②子宮復古現象の促進、保健指導		川畑 晶子	
	第5回：褥婦の看護③産褥期に母乳ケア		山下 百恵	
	第6回：新生児の経過と看護①正常な新生児の生理と経過		川畑 晶子	
	第7回：新生児の経過と看護②新生児の看護		川畑 晶子	
	第8回：分娩期に起こりやすい異常と看護①分娩第3期の異常		岩元 妙子	
	第9回：分娩期に起こりやすい異常と看護②胎児ジストレス出現時の看護、帝王切開術の適応と看護		山下 百恵	
	第10回：産褥期に起こりやすい異常と看護		岩元 妙子	
	第11回：新生児期に起こりやすい異常と看護		岩元 妙子	
	第12回：①産褥の事例看護過程の展開		川畑 晶子	
	第13回：②新生児の事例看護過程の展開		川畑 晶子	
	第14回：技術演習(新生児のバイタルサイン測定・沐浴・臍処置)			
	第15回：終講試験・まとめ		岩元 妙子・山下 百恵・原田 美由紀	
評価方法	終講試験(外来講師 40%、学内教員 60%)			
指定図書	1.系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 医学書院 2.看護の実践のための根拠がわかる 母性看護技術 メヂカルフレンド社			
参考書	1.ウエルネスからみた 母子看護過程 第2版 医学書院			
事前・事後学修	第12回～第13回の事例展開は各自で事前学習や既習内容を踏まえて行う。また、第14回の演習は事前に技術の手順書を作成し演習に臨む。			
実務経験のある教員による実践的授業	助産師・看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野Ⅱ 精神看護学

科目名	精神看護学概論	単位 1	時間 15	開校年次 1年次後期
科目責任者	川畑 孝美			
科目概要	精神疾患を抱えながら生きる対象者を理解し、当事者の主観的体験をふまえた看護をおこなうための基本的な視座および、知識について学修する。			
到達目標	1. 精神看護の対象及び看護の目的、機能と役割について理解できる。			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉</p> <p>第1回：精神看護学の特徴 1) 精神看護の対象とは 2) 精神看護学の基本的考え方</p> <p>第2回：精神保健医療の歴史の変遷</p> <p>第3回：精神看護学の関連理論 1) 対人関係論</p> <p>第4回：精神看護学の関連理論 2) コミュニケーション論</p> <p>第5回：精神疾患とその症状について 1) 知覚の障害 2) 思考障害 3) 自我意識の障害 4) 感情障害</p> <p>第6回：精神疾患とその症状について 5) 意欲(欲動+意志)・行動の障害 6) 意識の障害 7) 知能の障害</p> <p>第7回：これからの精神看護学 1) リエゾン精神看護患者の権利擁護</p> <p>第8回：終講試験・まとめ</p>		<p>〈担当教員名〉</p> <p>川畑 孝美 川畑 孝美 川畑 孝美 川畑 孝美 川畑 孝美 川畑 孝美 川畑 孝美 川畑 孝美</p>	
評価方法	終講試験 100%			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学〔1〕 精神看護の基礎 医学書院			
参考書	なし			
事前・事後学修	適宜、指定図書内の事前事後の学習範囲を示します。 その指示された部分を学習としてよく読んで授業に出席してください。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野Ⅱ 精神看護学

科目名	精神保健	単位 1	時間 30	開校年次 1年次後期
科目責任者	山下 みどり 福崎 英子			
科目概要	ライフサイクル各期における精神保健の課題および地域で暮らす精神障害者への精神保健指導、生活支援に必要な基本的な知識と方法を学修する。			
到達目標	1. 心の健康についての考え方を学び、心の健康を脅かす様々な環境因子を理解し、その予防法や支援方法を考えることができる。			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉</p> <p>第1回：精神保健とは</p> <p>第2回：心の発達</p> <p>第3回：性の発達</p> <p>第4回：生活の場とクライシス(1)</p> <p>第5回：生活の場とクライシス(2)</p> <p>第6回：生活の場とクライシス(3)</p> <p>第7回：職場・地域とクライシス(4)</p> <p>第8回：医療現場とクライシス(1)</p> <p>第9回：医療現場とクライシス(2)</p> <p>第10回：医療現場とクライシス</p> <p>第11回：がん患者と精神保健(2)</p> <p>第12回：再構成理論①</p> <p>第13回：再構成理論②</p> <p>第14回：再構成理論③</p> <p>第15回：終講試験・まとめ</p>	<p>〈担当教員名〉</p> <p>〈1組〉 〈2組〉</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p> <p>山下 みどり 福崎 英子</p>		
評価方法	<p>終講試験 90%</p> <p>課題提出 10%</p>			
指定図書	<p>1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学〔1〕 精神看護の基礎 医学書院</p> <p>2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学〔2〕 精神看護の展開 医学書院</p>			
参考書	1. 精神看護学精神保健 医歯薬出版			
事前・事後学修	指定図書を活用して毎回の授業内容に関連したページを具体的に指示します。その指示された部分を事前事後学習としてよく読んで授業に出席してください。			

専門分野Ⅱ 精神看護学

科目名	精神看護方法論Ⅰ	単位 1	時間 30	開校年次 2年次前期
科目責任者	川畑 孝美			
科目概要	心を病む人への援助を学ぶ。また精神疾患患者の各治療過程における看護を理解する。			
到達目標	精神の健康に障害をもつ対象の心の理解と、対人関係の成立のための技術について理解する。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉	
	第1回 : 精神看護の特徴		川畑 孝美	
	第2回 : 精神科看護の目的		川畑 孝美	
	第3回 : 精神科看護の役割		川畑 孝美	
	第4回 : 検査を受ける患者の看護		川畑 孝美	
	第5回 : 薬物療法と看護		川畑 孝美	
	第6回 : 身体療法と看護		川畑 孝美	
	第7回 : 精神療法と看護		川畑 孝美	
	第8回 : 生活療法と看護(生活指導・レクリエーション療法・作業療法)		川畑 孝美	
	第9回 : 精神疾患の特徴及び診断や治療と看護		川畑 孝美	
	第10回 : 脳器質性精神病、症状性精神病		川畑 孝美	
	第11回 : アルコール依存と薬物依存、てんかん		川畑 孝美	
	第12回 : 統合失調症、気分障害心身症、人格障害		川畑 孝美	
	第13回 : 児童、思春期の主な精神障害		川畑 孝美	
	第14回 : 神経症と心因精神病		川畑 孝美	
	第15回 : 終講試験・まとめ		川畑 孝美	
評価方法	筆記試験 100%			
指定図書	1.看護学テキスト NiCE 精神看護学Ⅱ 臨床で活かすケア(改訂第2版) (株)南江堂			
参考書	1. 看護学テキストシリーズ NiCE 精神看護学Ⅰ 精神保健・多職種をつながり 2. 精神看護学精神保健 医歯薬出版			
事前・事後学修	指定図書を活用して毎回の授業内容に関連したページを具体的に指示します。その指示された部分を事前事後学習としてよく読んで授業に出席してください。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野Ⅱ 精神看護学

科目名	精神看護方法論Ⅱ	単位 1	時間 30	開校年次 2年次後期
科目責任者	川畑 孝美			
科目概要	心を病む人への援助を学ぶ。また精神疾患患者の各治療過程における看護を理解する。			
到達目標	精神障害者の看護問題の特徴及び治療方法を理解し、精神活動に障害のある対象の看護について理解する。			
授業計画	<p>(授業内容・テーマ等)</p> <p>第1回：精神看護の実際・看護過程</p> <p>第2回：精神看護の実際・看護過程 1)幻覚状態の看護</p> <p>第3回：精神看護の実際・看護過程 2)妄想状態の看護</p> <p>第4回：精神看護の実際・看護過程 3)うつ状態の看護</p> <p>第5回：精神看護の実際・看護過程 4)水中毒状態の看護</p> <p>第6回：精神看護の実際・看護過程 5)自閉・ひきこもり状態の看護</p> <p>第7回：事例演習 統合失調症患者の看護① 個人・グループワークによる事例分析</p> <p>第8回：事例演習 統合失調症患者の看護② グループワークによる事例分析・演習</p> <p>第9回：事例演習 統合失調症患者の看護③ グループワークによる事例発表・講評</p> <p>第10回：社会復帰・社会参加、地域での自立、統合への支援①</p> <p>第11回：社会復帰・社会参加、地域での自立、統合への支援②</p> <p>第12回：再構成理論①</p> <p>第13回：再構成理論②</p> <p>第14回：再構成理論③</p> <p>第15回：終講試験・まとめ</p>		<p>(担当教員名)</p> <p>川畑 孝美</p> <p>川畑 孝美</p> <p>川畑 孝美</p> <p>川畑 孝美</p> <p>川畑 孝美</p> <p>川畑 孝美</p> <p>川畑 孝美</p> <p>川畑 孝美</p> <p>川畑 孝美</p> <p>川畑 孝美</p> <p>川畑 孝美</p> <p>川畑 孝美</p> <p>川畑 孝美</p> <p>川畑 孝美</p> <p>川畑 孝美</p>	
評価方法	<p>終講試験 90%</p> <p>課題提出 10%総合的に判断する。</p>			
指定図書	1.看護学テキスト NiCE 精神看護学Ⅱ 臨床で活かすケア(改訂第2版) (株)南江堂			
参考書	1. 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② (株)医学書院			
事前・事後学修	第7回～第9回的事例演習は、あらかじめ配布されたワークシートに沿って、学生各自が事前学習を行う。そのうえで科学的根拠を基に、看護過程に即した日常生活行動援助についてグループワークを行い活発な意見交換を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ授業を行う。			

専門分野Ⅱ 成人看護学

科目名	成人看護学実習Ⅰ	単位 2	時間 90	開講年次 2年次後期
科目責任者	辻本 あゆみ他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	成人期にある対象を多角的に捉え、問題解決思考に基づく看護を展開するための基礎的知識・技術・態度を学ぶ。			
授業方法	1. 実習時間 90 時間 2. 実習施設 済生会川内病院 鹿児島厚生連病院 川内市医師会立市民病院 鹿児島生協病院 いまきいれ総合病院 4. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	1. 実習期間 12 日間(臨地 10 日、学内2日)			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	1. 目標を明確にして実習に臨むこと。 2. 実習中、経過により変化する対象を受け持つ。 3. 記録物などの提出期限は厳守する。 4. 受持ち対象に関する文献の収集を行い、自己学習をする。 5. 看護過程の各段階で、指導者の指導を受ける。 6. 看護計画はカンファレンスで発表・検討・助言を受ける。 7. 実施する看護技術は、学内で十分に練習して臨む。 8. 看護技術の実施は指導者のもとで行い、常に患者の安全・安楽を優先する。 9. 指導者への質問は、ナースステーションで行う。 10. メモをする時は患者の前で行わない。 11. カルテを閲覧するときは、必ず指導者の許可をもらう。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ実習指導を行う。			

専門分野Ⅱ 成人看護学

科目名	成人看護学実習Ⅱ-1・2	単位 4	時間 180	開講年次 3年次
科目責任者	辻本 あゆみ他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	成人期における対象の看護について全人的な視点から多角的に捉え、専門職業人として共感的態度・倫理に基づいた看護を実践し、その人らしく生活できるような援助が行える。			
授業方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習時間 成人看護学実習Ⅱ-1 90時間 成人看護学実習Ⅱ-2 90時間 2. 実習施設 済生会川内病院 鹿児島厚生連病院 川内市医師会立市民病院 鹿児島生協病院 いまきいれ総合病院 5. 詳細は、実習要領参照のこと 			
実習計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習期間 成人看護学実習Ⅱ-1 12日間(臨地10日、学内2日) 成人看護学実習Ⅱ-2 12日間(臨地10日、学内2日) 			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目標を明確にして実習に臨むこと。 2. 実習中、経過により変化する対象を受け持つ。 3. 記録物などの提出期限は厳守する。 4. 受持ち対象に関する文献の収集を行い、自己学習をする。 5. 看護過程の各段階で、指導者の指導を受ける。 6. 看護計画はカンファレンスで発表・検討・助言を受ける。 7. 実施する看護技術は、学内で十分に練習して臨む。 8. 看護技術の実施は指導者のもとで行い、常に患者の安全・安楽を優先する。 9. 指導者への質問は、ナースステーションで行う。 10. メモをする時は患者の前で行わない。 11. カルテを閲覧するときは、必ず指導者の許可をもらう。 			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ実習指導を行う。			

専門分野Ⅱ 老年看護学

科目名	老年看護学実習Ⅰ	単位 2	時間 90	開講年次 2年次
科目責任者	三ツ野 佐代子他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	1. 老年期にある対象を理解し、健康問題のある対象への看護実践をとおして看護の機能と役割を学ぶ。			
授業方法	1. 実習時間 90 時間 2. 実習施設 川内市医師会立市民病院 鹿児島徳洲会病院 大勝病院 鹿児島生協病院 いまきいれ総合病院 今村総合病院 6. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	1. 実習期間 12 日間(臨地 10 日、学内2日)			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	1. 目標を明確にし、行動する。 2. 対象の安全・安楽を常に考慮して行動する。 3. 言葉遣い、態度には十分注意する。 4. 詳細に関しては、老年看護学実習要項、要領を参照すること。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ実習指導を行う。			

専門分野Ⅱ 老年看護学

科目名	老年看護学実習Ⅱ	単位 2	時間 90	開講年次 3年次
科目責任者	三ツ野 佐代子他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	<p>1. 老年期にある人々の生活の場と健康レベルの多様性を理解し、老年期にある人々のQOLを支えるために必要な保健・医療・福祉に携わる職種との協働・連携と看護の役割を学ぶ。</p> <p>2. 老年期にある対象のこれまでの生活史や価値観を理解し、尊重した態度で接することができる。</p>			
授業方法	<p>1. 実習時間 90 時間</p> <p>1) 地域で安心して暮らすための社会福祉協議会の役割 7.5 時間</p> <p>2) 介護老人福祉施設でクラス高齢者の理解 7.5 時間</p> <p>3) 地域における保健・医療・福祉の中間施設の役割 75 時間</p> <p>2. 実習施設</p> <p>1) 各地域の社会福祉協議会(薩摩川内市/日置市東市来町/いちき串木野市)</p> <p>2) 介護老人福祉施設(潮風園、翠泉苑、秋光園)</p> <p>3) 介護老人保健施設(さるびあ苑、田上苑、ひまわり、アンダンテ伊集院)</p> <p>3. 詳細は、実習要領参照のこと</p>			
実習計画	<p>1. 実習期間 12 日間(臨地 10 日、学内2日)</p> <p>1) 地域で安心して暮らすための社会福祉協議会の役割 (1 日)</p> <p>2) 介護老人福祉施設でクラス高齢者の理解 (1 日)</p> <p>3) 地域における保健・医療・福祉の中間施設の役割 (8 日)</p>			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	<p>1. 目標を明確にし、行動する。</p> <p>2. 対象の安全・安楽を常に考慮して行動する。</p> <p>3. 言葉遣い、態度には十分注意する。</p> <p>4. 詳細に関しては、老年看護学実習要項、要領を参照すること。</p>			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ実習指導を行う。			

専門分野Ⅱ 小児看護学

科目名	小児看護学実習	単位 2	時間 90	開講年次 3年次
科目責任者	上田平昌代他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	<p>【小児看護学実習Ⅰ】 健康な小児の特徴を理解し、成長発達に応じた保育のあり方を学ぶ。</p> <p>【小児看護学実習Ⅱ】 小児期にある対象とその家族を総合的に理解し、発達段階、健康障害および健康段階に応じた看護を実践できる基礎的能力を養う。</p> <p>【小児看護学実習Ⅲ】 在宅で生活している小児とその家族を総合的に理解し、発達段階・健康障害に応じた支援と多職種との連携について学ぶ。</p>			
授業方法	<p>1. 実習時間 90 時間</p> <p>小児看護学実習Ⅰ 30 時間 小児看護学実習Ⅱ 45 時間 小児看護学実習Ⅲ 15 時間</p> <p>2. 実習施設</p> <p>小児看護学実習Ⅰ 神村学園附属幼稚園 小児看護学実習Ⅱ 済生会川内病院 鹿児島生協病院 池田病院 いまきいれ総合病院 小児看護学実習Ⅲ 鹿児島県立串木野養護学校</p> <p>3. 詳細は、実習要領参照のこと</p>			
実習計画	<p>1. 実習期間 12 日間</p> <p>小児看護学実習Ⅰ 4日間 前期 小児看護学実習Ⅱ 6日間 後期 小児看護学実習Ⅲ 2日間 後期</p>			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	<p>1. 実習要綱を熟読し、実習に臨むこと。</p> <p>2. 学内オリエンテーションで、実習に関すること不明点は、質問し理解して実習には臨むこと。</p> <p>3. 記録物などの提出期限は厳守する。</p> <p>4. 実習に関する文献の収集を行う、自己学習をする。</p> <p>5. 実施する看護技術は、学内で十分に練習して臨む。</p> <p>6. 看護技術の実施は指導者のもとで行い、常に患者の安全・安楽を優先する。</p> <p>7. 看護過程の各段階で指導者の指導を受ける。</p> <p>8. カンファレンスは、積極的に参加し学習の共有を図る。</p> <p>9. 実習生の態度が小児の生活習慣獲得等に影響を与えるため慎重に行動すること。</p> <p>10. 小児の自立を妨げないように行動すること。</p>			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ実習指導を行う。			

専門分野Ⅱ 母性看護学

科目名	母性看護学実習	単位 2	時間 90	開講年次 3年次
科目責任者	川畑晶子他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	1. 健康障害をもつ対象を通し、科学的問題解決技法を用いて看護実践する基礎的能力を養う。			
授業方法	1. 実習時間 90 時間 2. 実習施設 済生会川内病院 愛育病院 いまきいれ総合病院 今村総合病院 7. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	1. 実習期間 12 日間 2. 実習内容 NICU 実習 15 時間 病棟実習 } 外来実習 } 60 時間 新生児室実習 } 学内実習 15 時間			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	1. 責任ある行動をとること。 2. 自己学習に励み、疑問点などは図書室を活用し早めに解決するよう心がける。 3. 健康に留意し、遅刻・欠席が内容にする。感染症には十分注意する。 4. 実習の目的を十分理解して、欠席がないようにする。感染症には十分注意する。 5. 新生児に際は、十分に注意し指導者・教員の指示に従う。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ実習指導を行う。			

専門分野Ⅱ 精神看護学

科目名	精神看護学実習	単位 2	時間 90	開講年次 3年次
科目責任者	川畑孝美他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	精神障害を持ち対象を理解し、看護に必要な知識・技術・態度を理解する。			
授業方法	1. 実習時間 90 時間 2. 実習施設 メンタルホスピタル鹿児島 伊敷病院 3. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	1. 実習期間 12 日間(臨地 10 日、学内2日)			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	1. 学内実習では、臨地実習に向けて不明点の内容に学ぶ。 2. 記録物などの提出期限は厳守する。 3. 実習に関する文献の収集や学修を積極的に行う。 4. 自己のコミュニケーションの傾向を知り、対象や病棟スタッフなどとコミュニケーションを十分に図り、想関係を深める。 5. 個人情報保護を厳守する。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ実習指導を行う。			

統合分野

統合分野 在宅看護論

科目名	在宅看護概論	単位 1	時間 15	開校年次 2年次後期
科目責任者	柳田 千草			
科目概要	超高齢社会を迎え病院再編や地域包括ケアシステム構築が進められているなかで、住み慣れた地域や自宅での療養生活を支援する訪問看護は重要な看護活動として期待されている。ここでは、このような背景をもとに、「暮らしのなかのケア」を基本とする在宅看護の目的やその特徴、訪問看護を支える法・制度を学びこれからの在宅看護の在り方を考える。また、訪問看護活動の中心的な活動であるケアマネージメントの重要性・チームケアの重要性と看護の役割を学ぶ。			
到達目標	1. 在宅看護の概念と変遷について理解し在宅看護の活動の場と役割について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉	
	第1回 : 在宅看護の目的と特徴 (1)在宅看護が提供される場 (2)在宅看護の場の広がり		柳田 千草	
	第2回 : 在宅看護の概念 (1)在宅看護に求められていること (2)あらゆる面から QOL を考える		柳田 千草	
	第3回 : 在宅看護の変遷		柳田 千草	
	第4回 : 在宅看護における看護師の役割と機能 (1)超高齢社会の伸展と地域連携システム (2)家族を含めた継続看護について (3)在宅看護における看護師の役割		柳田 千草	
	第5回 : 訪問看護が抱えている課題 (1)在宅看護のしくみ		柳田 千草	
	第6回 : ケアマネジメントと社会資源・他職種連携 (1)介護保険制度 (2)訪問看護制度		柳田 千草	
	第7回 : 在宅看護における看護師の倫理		柳田 千草	
	第8回 : 終講試験・まとめ		柳田 千草	
評価方法	終講試験 100%			
指定図書	1. 系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院			
参考書	1. よくわかる在宅看護 改訂第2版 学研 2. 在宅看護 体験学習ノート 医歯薬出版株式会社 3. 日本看護協会編 平成26年度看護白書 地域包括ケアシステムと看護、日本看護協会出版			
事前・事後学修	次回の授業予定を予習する。また、我が国の医療体制や社会保障制度に大きく関与しているため、学生自ら統計資料や厚生労働省ホームページで情報収集し関心を広めてほしい			
実務経験のある教員による実践的授業	訪問看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえて講義を行う。			

統合分野 在宅看護論

科目名	在宅看護方法論 I	単位 1	時間 30	開校年次 3 年次前期
科目責任者	金丸 綾子			
科目概要	医療管理を必要とする診療の補助について基礎知識を深め在宅で行われる特殊技術内容を学ぶ。また、家庭訪問の基本的技術を学び、事例演習を通して在宅における療養者と家族のニーズを考え、セルフケア機能が発揮される生活の場に即した看護援助の在り方を学習する。			
到達目標	1. 家庭訪問の基礎的技術を習得し、生活の場に即した方法を学ぶ。 2. 地域の医療・保健・福祉の体系と連携について学び、経済性を考慮した日常生活援助方法が実践できる。 3. 医療ニーズに応じた特殊技術の理解ができる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉	
	第 1 回 : 在宅における日常生活援助: 経管栄養の管理		金丸 綾子	
	第 2 回 : 在宅における日常生活行動援助: 留置カテーテルの管理		金丸 綾子	
	第 3 回 : 在宅における日常生活行動援助: 自己導尿		金丸 綾子	
	第 4 回 : 在宅における日常生活行動援助: 気管カニューレの管理		金丸 綾子	
	第 5 回 : 在宅における日常生活行動援助: 吸引		金丸 綾子	
	第 6 回 : 在宅における日常生活行動援助: 酸素吸入		金丸 綾子	
	第 7 回 : 在宅における日常生活行動援助: 人工呼吸器の管理		金丸 綾子	
	第 8 回 : 在宅における日常生活行動援助: 中心静脈栄養管理		金丸 綾子	
	第 9 回 : 在宅における日常生活行動援助: 褥瘡処置		金丸 綾子	
	第 10 回 : 在宅における日常生活行動援助: 災害時の対応、準備		金丸 綾子	
	第 11 回 : 家庭訪問の基本的技術: 家庭訪問の技術		金丸 綾子	
	第 12 回 : 事例演習 ①グループワークによる事例分析		金丸 綾子	
	第 13 回 : 事例演習 ②グループワークによる事例分析・演習		金丸 綾子	
	第 14 回 : 事例演習 ③グループワークによる事例発表		金丸 綾子	
	第 15 回 : 終講試験・まとめ		金丸 綾子	
評価方法	終講試験 80% 事例演習 20% (事前学習 10%・課題提出 10%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 2. よくわかる在宅看護 学研			
参考書	対象者は、生活背景や個人因子がさまざま状況にある。医療体制や社会保障制度についても各専門分野や看護学分野の教科書、副読本等を参考に活用すること。			
事前・事後学修	事例演習は、予め配布されたワークシートに沿い、学生各自が事前学習を行う。そのうえで科学的根拠を基に、生活の場に即した日常生活行動援助についてグループワークを行い活発な意見交換を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえて講義を行う。			

統合分野 在宅看護論

科目名	在宅看護方法論Ⅱ	単位 1	時間 15	開校年次 2年次後期
科目責任者	西田 香織			
科目概要	訪問看護を開始するまでの準備や、マナー及び訪問の心構えを学ぶ。対象と家族との円滑な関係を深めるための基本技術を修得する。在宅看護における対象の理解を深め、アセスメントできる能力を養う。そして、相手を尊重した倫理的な看護について考える機会とする。合わせて在宅看護を結ぶ診療機関との確認や調整についても学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 訪問看護に必要な準備が理解できる。 2. 訪問看護のマナーについて理解できる。 			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉</p> <p>第1回：訪問看護の準備 訪問看護の役割と利用者、訪問看護ステーションの規定</p> <p>第2回：訪問看護までの手順、サービス提供、社会資源の活用</p> <p>第3回：地域における多職種連携</p> <p>第4回：在宅で看護を展開するにあたって</p> <p>第5回：在宅看護過程展開ポイント</p> <p>第6回：在宅看護過程展開方法</p> <p>第7回：訪問看護の実際 事例展開</p> <p>第8回：終講試験・まとめ</p>	<p>〈担当教員名〉</p> <p>西田 香織</p>		
評価方法	<p>終講試験:70%</p> <p>演習:30%(事前学習 10%・グループワーク取り組み 10%・課題提出 10%)総合的に評価する</p>			
指定図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 2. よくわかる在宅看護 改訂第3版 学研 			
参考書	<p>医療体制や社会保障制度についても各専門分野や、看護学分野の教科書、副読本等を参考に活用する。また、ICF(国際生活機能分類)に関わる教本も参考に用いる。</p>			
事前・事後学修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書を参考に事前学習を行い、授業に臨む 2. 教科書、配布資料、ワークシートに沿って事後学修を行い、知識の習得につとめる 3. 授業には積極的に参加し、活発な質疑応答、意見交換を行う 4. 日頃からマナーを意識した行動を心掛ける 			
実務経験のある教員による実践的授業	<p>看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。</p>			

統合分野 在宅看護論

科目名	在宅看護方法論Ⅲ	単位 1	時間 30	開校年次 3年次 通年
科目責任者	川畑 孝美 植屋 よしの 三ツ野 佐代子 西田 香織			
科目概要	在宅という生活の場において実践される在宅看護の特性を理解するために、事例演習を通して、在宅看護過程の展開を理解する。また、在宅看護の対象である療養者と家族のセルフケア機能が発揮される看護援助の在り方を学習する。			
到達目標	1.在宅で療養している対象の状態に応じた看護の展開ができる			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回：在宅看護の理念 1)病棟看護と在宅看護の比較 第2回・3回：脳卒中後遺症のある高齢者の生活支援・事例展開 1)食の援助 2)移動の援助 3)清潔の援助 第4回：感染症が疑われる療養者の生活支援 1)呼吸の援助 第5回・6回：認知症高齢者に状態に応じた看護展開 1)認知機能のアセスメント 2)自立支援とQOLの維持 3)服薬管理 第7回・8回・9回：ターミナル患者の事例展開 1)在宅ターミナル期の療養者とその家族への支援 2)夜間の緊急訪問依頼とケア 3)死別後の家族への対応 4)ターミナル期の援助 5)エンゼルケア 第10回・11回・12回：24時間ケアを要する難病患者(ALS)の事例展開 1)在宅難病療養を支援する社会資源 2)難病在宅ケアシステム 第13回・14回・15回：在宅看護の実際(実習終了後) 1)在宅療養者及び家族のニーズを理解した在宅看護 2)地域看護について グループワークによる個々の事例紹介・学びの発表 参加活動について		〈担当教員名〉 三ツ野佐代子 川畑孝美 植屋よしの 西田香織	
評価方法	下記、課題学習を総合的に評価する 1. 脳卒中後遺症の看護:15点 2. エンゼルケア(手順書、エンゼルケア):15点 3. 在宅看護体験学習ノートの課題:20点 4. ALS療養者の事例展開:20点 5. 在宅看護のまとめ・発表(第13～15回):20点 6. 学習態度(参加・提出状況):10点			
指定図書	1.系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 2.よくわかる在宅看護 学研 3.在宅看護体験学習ノート 医歯薬出版株式会社			
参考書	対象者は、生活背景や個人因子がさまざま状況にあります。医療体制や社会保障制度についても各専門分野や看護学分野の教科書、副読本等を参考に活用してください。			
事前・事後学修	在宅看護論実習終了後、第13回～第15回の演習時間に、あらかじめ配布されたワークシートに沿って、学生各自が事前学習を行う。そのうえで科学的根拠を基に、生活の場に即した日常生活行動援助についてグループワークを行い学びの統合を図る。そのうえで、これからの地域参加に向けた看護活動を考える。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえて講義を行う。			

統合分野 看護の統合と実践

科目名	看護管理と研究	単位 1	時間 30	開校年次 3年次前期																																						
科目責任者	植屋 よしの																																									
科目概要	看護組織のなかで重要な看護管理とは何かについて基礎を学ぶ。組織における看護サービス・看護の質の保証、安全管理、情報管理の中で看護師の役割を理解し多職種との協働について学ぶ。看護研究では、研究の意義と方法、研究のプロセスについて教授する。学生は、体験した看護を振り返り、ケーススタディをまとめるなかで、研究の意義と方法を理解し、問題解決への科学的思考力を養い、研究的態度を身につける。																																									
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護管理の概念とマネジメントの基礎が理解できる。 2. 組織の中での看護師の役割を理解できる。 3. 看護体験を通して、問題解決への科学的思考力を養い、研究的態度を身につけることができる。 																																									
授業計画	<table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉</th> <th style="text-align: center;">〈担当教員名〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">【看護管理:15時間】</td> </tr> <tr> <td>第1回 : 看護におけるマネジメント:看護の役割、看護管理とは</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> <tr> <td>第2回 : 主な組織論と組織におけるマネジメント:看護管理過程</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> <tr> <td>第3回 : 組織の構造と管理の諸原則:看護業務の管理、チーム医療</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> <tr> <td>第4回 : 事例演習 看護提供システム:看護単位、看護方式、看護必要度</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> <tr> <td>第5回 : 看護管理と倫理: 医療安全を推進する組織的取組み(危機管理)</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> <tr> <td>第6回 : ヒト、モノ、情報、コストなどの資源とその活用:継続教育、労働管理</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> <tr> <td>第7回 : 医療提供体制と医療制度:診療報酬制度、看護の質の保証</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> <tr> <td>第8回 : 終講試験・まとめ</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【看護研究:15時間】</td> </tr> <tr> <td>第1回 : 研究とは 序章:看護研究を学ぶ前に</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> <tr> <td>第2回 看護研究とは</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> <tr> <td>第3回 情報の探索と吟味・研究における倫理的配慮</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> <tr> <td>第4回 研究デザイン(質的研究と量的研究)</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> <tr> <td>第5回 筆記試験</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> <tr> <td>第6回 ケーススタディについて①研究計画書について</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> <tr> <td>第7回 ケーススタディについて②レポート作成について</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> <tr> <td>第8回 ケーススタディ発表</td> <td>植屋 よしの</td> </tr> </tbody> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	【看護管理:15時間】		第1回 : 看護におけるマネジメント:看護の役割、看護管理とは	植屋 よしの	第2回 : 主な組織論と組織におけるマネジメント:看護管理過程	植屋 よしの	第3回 : 組織の構造と管理の諸原則:看護業務の管理、チーム医療	植屋 よしの	第4回 : 事例演習 看護提供システム:看護単位、看護方式、看護必要度	植屋 よしの	第5回 : 看護管理と倫理: 医療安全を推進する組織的取組み(危機管理)	植屋 よしの	第6回 : ヒト、モノ、情報、コストなどの資源とその活用:継続教育、労働管理	植屋 よしの	第7回 : 医療提供体制と医療制度:診療報酬制度、看護の質の保証	植屋 よしの	第8回 : 終講試験・まとめ	植屋 よしの	【看護研究:15時間】		第1回 : 研究とは 序章:看護研究を学ぶ前に	植屋 よしの	第2回 看護研究とは	植屋 よしの	第3回 情報の探索と吟味・研究における倫理的配慮	植屋 よしの	第4回 研究デザイン(質的研究と量的研究)	植屋 よしの	第5回 筆記試験	植屋 よしの	第6回 ケーススタディについて①研究計画書について	植屋 よしの	第7回 ケーススタディについて②レポート作成について	植屋 よしの	第8回 ケーススタディ発表	植屋 よしの
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																									
【看護管理:15時間】																																										
第1回 : 看護におけるマネジメント:看護の役割、看護管理とは	植屋 よしの																																									
第2回 : 主な組織論と組織におけるマネジメント:看護管理過程	植屋 よしの																																									
第3回 : 組織の構造と管理の諸原則:看護業務の管理、チーム医療	植屋 よしの																																									
第4回 : 事例演習 看護提供システム:看護単位、看護方式、看護必要度	植屋 よしの																																									
第5回 : 看護管理と倫理: 医療安全を推進する組織的取組み(危機管理)	植屋 よしの																																									
第6回 : ヒト、モノ、情報、コストなどの資源とその活用:継続教育、労働管理	植屋 よしの																																									
第7回 : 医療提供体制と医療制度:診療報酬制度、看護の質の保証	植屋 よしの																																									
第8回 : 終講試験・まとめ	植屋 よしの																																									
【看護研究:15時間】																																										
第1回 : 研究とは 序章:看護研究を学ぶ前に	植屋 よしの																																									
第2回 看護研究とは	植屋 よしの																																									
第3回 情報の探索と吟味・研究における倫理的配慮	植屋 よしの																																									
第4回 研究デザイン(質的研究と量的研究)	植屋 よしの																																									
第5回 筆記試験	植屋 よしの																																									
第6回 ケーススタディについて①研究計画書について	植屋 よしの																																									
第7回 ケーススタディについて②レポート作成について	植屋 よしの																																									
第8回 ケーススタディ発表	植屋 よしの																																									
評価方法	看護管理:終講試験 80点、演習 10点、学習態度 10点 総合的に評価する。 看護研究:筆記試験 40点、ケーススタディ発表 60点(ルーブリック評価に基準を示す)																																									
指定図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. ナーシング・グラフィカ 看護管理 看護の統合と実践 2. 系統看護学講座 看護研究 医学書院 																																									
参考書	1. 看護課題とクイズで学ぶ看護マネジメント入門 日本看護協会出版社																																									
事前・事後学修	毎回の授業テーマに対する指定図書を熟読し、自身の考えをまとめて発言できるようにする。これまでの学修や臨地実習体験を通して、関心を持ったことが文献検索や研究のテーマになりますので、何について追及していくのか自分の考えを整理しておく。																																									
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえて講義を行う。																																									

統合分野 看護の統合と実践

科目名	診療の補助技術における安全	単位 1	時間 30	開校年次 3年次前期
科目責任者	川畑晶子・西田香織			
科目概要	看護師は医療事故を未然に防ぐ重要性を認識し、対象者への説明力と、正確性・安全性・安楽性を考えた看護の提供が求められる。そのため、看護技術の原理原則を踏まえた基礎知識を活用し安全を考えた援助を学ぶ。			
到達目標	臨床で起こった事故事例をもとに、対象の生命を守るための「安全に看護を提供する方法」を学び、「看護師としての責任」があることを認識し、責任ある行動をとることができる。			
授業計画	<p>〈授業内容・テーマ等〉</p> <p>第1回:医療安全を学ぶことの大切さ 1.医療事故の発生のメカニズムと防止策 1)事故発生のメカニズム(医療事故と看護業務) 2)事故分析と防止策を考える</p> <p>第2回:医療安全を学ぶことの大切さ 1.医療事故の発生のメカニズムと防止策 3)医療安全とコミュニケーション</p> <p>第3回:医療安全を学ぶことの大切さ 1.医療事故の発生のメカニズムと防止策 4)間違いを誘発させる多重課題、タイムプレッシャー</p> <p>第4回:医療安全を学ぶことの大切さ 2.継続中の危険な医療行為の観察・管理における事故防止 (チューブ管理と事故防止、療養上の世話の事故防止)</p> <p>第5回:注射業務と事故防止 1.安全で確実な点滴静脈内注射の実施</p> <p>第6回:注射業務と事故防止 2.輸液ポンプ・シリンジポンプの正しい取り扱い</p> <p>第7回:注射業務と事故防止 3:与薬のエラーと危険性への認識</p> <p>第8回:注射業務と事故防止 4:注射業務プロセスからみた事故防止</p> <p>第9回:注射業務と事故防止 5:薬剤からみた事故防止</p> <p>第10回:注射業務と事故防止 6:輸血時の事故防止</p> <p>第11回:負荷状況での点滴静脈内注射 1.業務プロセスでの演習とタイムプレッシャー下の演習</p> <p>第12回:負荷状況での点滴静脈内注射 2.注射の指示受けー準備ー実施ー実施後の観察 3.事故発生時の対処</p> <p>第13回:グループ討議</p> <p>第14回:安全に関する知識の確認(筆記試験)</p> <p>第15回:安全に関する対処の実際(技術試験)</p>			<p>〈担当教員名〉</p> <p>西田香織</p> <p>川畑晶子</p> <p>川畑晶子 西田香織</p>
評価方法	筆記試験:50%、技術試験:50%			
指定図書	1. 系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践② 医学書院 2. 医療安全ワークブック 第4版 医学書院			
参考書	1.医療安全とリスクマネジメント ニューヴェルヒロカワ			
事前・事後学修	1. 看護技術は、反復することで修得へ繋がる。学んだことをしっかりと復習する。 2. 看護技術を行うなかで根拠を踏まえた学習を行う。 3. 演習にも積極的に参加し、知識と共に技術を修得するよう吟味的視点を持つ。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。			

統合分野 看護の統合と実践

科目名	災害看護	単位 1	時間 15	開校年次 3年次前期																																										
科目責任者	金丸 綾子																																													
科目概要	近年頻発する災害に対応できる看護の基礎的知識を養うために、災害サイクルに応じた看護の役割を学ぶ。また、災害看護における特殊な技術として、トリアージの方法、救命救急時の看護や応急処置、こころのケアについて演習を通し学習する。																																													
到達目標	1、災害医療・災害看護の概念を理解できる 2、災害発生時の社会の活動やしきみを知り、看護活動を理解できる 3、災害時に必要なケアの実際を理解できる																																													
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">〈授業内容・テーマ等〉</td> <td style="text-align: right;">〈担当教員名〉</td> </tr> <tr> <td>第1回:災害看護学・国際看護学を学ぶにあたって</td> <td style="text-align: right;">金丸 綾子</td> </tr> <tr> <td>1、看護とグローバル化した社会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2、看護職者に求められるグローバルな視点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3、災害看護学と国際看護学を学ぶ意義</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4、災害看護の定義・役割・対象・特徴</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5、災害看護・国際看護の原則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6、看護行為の判断の基盤になるもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2回:災害医療の基礎知識</td> <td style="text-align: right;">金丸 綾子</td> </tr> <tr> <td>1、災害看護のあゆみ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2、災害の定義、種類と健康障害</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3回:災害医療の基礎知識</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3、災害の種類と健康被害</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4、災害看護の特徴と法律</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4回:災害サイクルとその看護</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1、災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護</td> <td style="text-align: right;">金丸 綾子</td> </tr> <tr> <td>2、被災者特性に応じた災害看護の展開</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第5回:災害とこころのケア</td> <td style="text-align: right;">金丸 綾子</td> </tr> <tr> <td>第6回:国際看護学</td> <td style="text-align: right;">金丸 綾子</td> </tr> <tr> <td>第7回:災害時に必要なケアの実際(演習)</td> <td style="text-align: right;">金丸 綾子</td> </tr> <tr> <td>第8回:終講試験</td> <td style="text-align: right;">金丸 綾子</td> </tr> </table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回:災害看護学・国際看護学を学ぶにあたって	金丸 綾子	1、看護とグローバル化した社会		2、看護職者に求められるグローバルな視点		3、災害看護学と国際看護学を学ぶ意義		4、災害看護の定義・役割・対象・特徴		5、災害看護・国際看護の原則		6、看護行為の判断の基盤になるもの		第2回:災害医療の基礎知識	金丸 綾子	1、災害看護のあゆみ		2、災害の定義、種類と健康障害		第3回:災害医療の基礎知識		3、災害の種類と健康被害		4、災害看護の特徴と法律		第4回:災害サイクルとその看護		1、災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護	金丸 綾子	2、被災者特性に応じた災害看護の展開		第5回:災害とこころのケア	金丸 綾子	第6回:国際看護学	金丸 綾子	第7回:災害時に必要なケアの実際(演習)	金丸 綾子	第8回:終講試験	金丸 綾子
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																													
第1回:災害看護学・国際看護学を学ぶにあたって	金丸 綾子																																													
1、看護とグローバル化した社会																																														
2、看護職者に求められるグローバルな視点																																														
3、災害看護学と国際看護学を学ぶ意義																																														
4、災害看護の定義・役割・対象・特徴																																														
5、災害看護・国際看護の原則																																														
6、看護行為の判断の基盤になるもの																																														
第2回:災害医療の基礎知識	金丸 綾子																																													
1、災害看護のあゆみ																																														
2、災害の定義、種類と健康障害																																														
第3回:災害医療の基礎知識																																														
3、災害の種類と健康被害																																														
4、災害看護の特徴と法律																																														
第4回:災害サイクルとその看護																																														
1、災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護	金丸 綾子																																													
2、被災者特性に応じた災害看護の展開																																														
第5回:災害とこころのケア	金丸 綾子																																													
第6回:国際看護学	金丸 綾子																																													
第7回:災害時に必要なケアの実際(演習)	金丸 綾子																																													
第8回:終講試験	金丸 綾子																																													
評価方法	終講試験 90%、授業・演習態度(出席状況) 10%																																													
指定図書	1、医学書院 系統別看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学																																													
参考書	1、いのちとこころを救う災害看護 学研 2、災害看護 心得ておきたい基本的な知識 南山堂 3、演習で学ぶ災害看護 南山堂																																													
事前・事後学修	日頃より、「災害看護」・「国際看護」を意識し、マスメディアを活用し情報収集を行う。																																													
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。																																													

統合分野 看護の統合と実践

科目名	臨床看護の実際	単位 1	時間 30	開校年次 3年次通年									
科目責任者	三ツ野 佐代子 川畑 晶子 西崎 愛美												
科目概要	様々な事例を基に患者の状態や危険の予測・安全・安楽・自立を考慮し援助計画の立案を行う。 看護実践を通して振り返り、評価を行い看護実践能力の向上につなげる。												
到達目標	事例をもとに、既習の知識・技術を統合し複数の対象への看護を実践する能力を養う。そのうえ、リスクマネジメント能力、倫理的判断能力を養うとともに、卒業時に求められる能力を習得し、対象の状態に応じた総合的な判断や対応する看護実践能力を養う。												
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉		〈担当教員名〉										
	第1回:客観的臨床能力試験(OSCE)オリエンテーション 状況に応じた看護の実際:視床出血のある対象の看護		三ツ野 佐代子										
	第2回:シナリオ看護のための学力試験		三ツ野 佐代子										
	第3回:看護の実際(OSCE 演習)・振り返り(リフレクション)・評価		三ツ野 佐代子										
	第4回:状況に応じた看護の実際: 切迫早産のある褥婦の看護		川畑 晶子										
	第5回:シナリオ看護のための学力試験		川畑 晶子										
	第6回:看護の実際(OSCE 演習)振り返り(リフレクション)・評価		川畑 晶子										
	第7回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(課題提示)		西崎 愛美										
	第8回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(計画立案)		西崎 愛美										
	第9回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(計画立案)		西崎 愛美										
	第10回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(計画実践)		西崎 愛美										
	第11回:看護の実際(OSCE 演習)・振り返り(リフレクション)・評価		西崎 愛美										
	第12回:看護の実際・評価後改善計画立案		西崎 愛美										
	第13回:看護技術の総合評価:脳梗塞・イレイスのある患者の看護		三ツ野 佐代子										
	第14回:シナリオ看護のための学力試験		三ツ野 佐代子										
	第15回:看護の実際(OSCE 演習)・振り返り(リフレクション)・評価		三ツ野 佐代子										
評価方法	<p>評価の基準は、以下のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題およびレポートの提出とその内容 2. 筆記試験・技術試験 <table border="1" data-bbox="395 1496 986 1637"> <tr> <td>認知領域(シナリオ看護のため学力試験)</td> <td>50点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">精神運動領域</td> <td>実践能力</td> <td>35点</td> </tr> <tr> <td>リフレクション</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>情意領域</td> <td>10点</td> </tr> </table> 3.協同学習の参加状況、文献検索など学習状況 4.講義・演習に取り組む態度 				認知領域(シナリオ看護のため学力試験)	50点	精神運動領域	実践能力	35点	リフレクション	5点	情意領域	10点
認知領域(シナリオ看護のため学力試験)	50点												
精神運動領域	実践能力	35点											
	リフレクション	5点											
情意領域	10点												
指定図書	教科書・参考書は適宜紹介します。												
参考書	ナーシングキャンパスなどの雑誌も参考にしましょう。												
事前・事後学修	全ての対象に共通する看護実践の基礎的知識を統合した技術を学習します。個人学習や協同学習は計画的・積極的に臨みましょう。レポート等は提出期日を守りましょう。倫理的配慮や医療安全について実践の場をふまえて臨みましょう。また、演習は事前学習を行い、知識・技術・態度の専門的な向上を目指し臨みましょう。												
実務経験のある教員による実践的授業	訪問看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。												

統合分野 在宅看護論

科目名	在宅看護論実習	単位 2	時間 90	開講年次 3年次
科目責任者	西田香織他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	<p>【在宅看護論実習Ⅰ】</p> <p>1. 地域で生活しているあらゆる発達段階の対象理解と生活を支えている人々の取り組みの実際を理解できる。</p> <p>【在宅看護論実習Ⅱ】</p> <p>1. 在宅で生活しているあらゆる発達段階の対象を理解し、保健・医療・福祉活動相互の連携の重要性および看護の役割を学ぶ。</p>			
授業方法	<p>1. 実習時間 90時間</p> <p>1) 在宅看護論実習Ⅰ 30時間(月～木)4日間</p> <p>2) 在宅看護論実習Ⅱ 60時間(月～木)8日間</p> <p>2. 実習施設</p> <p>1) 在宅看護論実習Ⅰ</p> <p>(1) 認知症対応型共同生活介護 グループホーム燦々(さんさん)</p> <p>(2) 認知症対応型共同生活介護 グループホーム永利</p> <p>(3) 認知症対応型共同生活介護グループホームふるさとの家「すずらん」</p> <p>(4) 地域包括支援センター いちき串木野市地域包括支援センター</p> <p>2) 在宅看護論実習Ⅱ</p> <p>(1) 訪問看護ステーションたにやま (2) 訪問看護ステーションかもいけ</p> <p>(3) なでしこ訪問看護ステーション (4) 訪問看護ステーション真砂本町</p> <p>(5) 訪問看護ステーションファースト (6) 日置市医師会訪問看護ステーション</p> <p>(7) 訪問看護ステーションさくら (8) 訪問看護ステーションせんだい</p> <p>(9) びっぐすまいる訪問看護ステーション</p> <p>3. 詳細は、実習要領参照のこと</p>			
実習計画	<p>1. 実習期間 *個々の実習進度は実習計画に従うこと</p> <p>1) 在宅看護論実習Ⅰ 30時間(4日間)</p> <p>2) 在宅看護論実習Ⅱ 60時間(8日間)</p>			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	<p>1. 守秘義務の遵守につとめる。</p> <p>2. 健康管理をする。</p> <p>3. 挨拶はきちんとし、明るく積極的な態度で実習に臨む。</p> <p>4. 各施設内で指導された約束事は遵守する。</p> <p>5. 曖昧な受け答えはせず、指導者に確認する。</p> <p>6. 貴重品は自己管理する。</p> <p>7. 良識と責任を持って行動する。</p>			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ実習指導を行う。			

統合分野 看護の統合と実践

科目名	精神看護学実習	単位 2	時間 90	開講年次 3年次
科目責任者	植屋よしの他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	1. 病棟管理や看護専門職としての役割を理解し、看護チームの一員として看護を実践することで、知識・技術・態度を統合した看護実践能力を養う。			
授業方法	1. 実習時間 90 時間 2. 実習施設 鹿児島生協病院 鹿児島厚生連病院 いまきいれ総合病院 済生会川内病院 川内市医師会立市民病院 3. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	1. 実習期間 12 日間(臨地 10 日、学内2日) *実習計画に準じて進める			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	1. 守秘義務の遵守につとめる。 2. 時間管理、健康管理をする。 3. 挨拶はきちんとし、明るく積極的な態度で実習に臨む。 4. 各施設内で指導された約束事は遵守する。 5. 曖昧な受け答えはせず、指導者に確認する。 6. 良識と責任を持って行動する。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ実習指導を行う。			